



**Tivoli**

# **Tivoli Business System Manager**

クライアント / サーバー  
インストール・ガイド



— ご注意 —

本書の情報およびそれによってサポートされる製品を使用する前に、5ページの「特記事項」に記載する一般情報をお読みください。

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。  
<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは  
<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

原 典 : GC32-0639-00  
Tivoli  
Tivoli Business System Manager  
Client/Server Installation Guide

発 行 : 日本アイ・ビー・エム株式会社  
担 当 : ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2000.11

Entire contents (C)1991 - 2000 by Tivoli Systems Inc. All rights reserved.  
Translation: (C) Copyright IBM Japan 2000



## 目次

特記事項 .....	5
商標 .....	5
<b>TIVOLI BUSINESS SYSTEMS MANAGER の説明</b> .....	<b>7</b>
<b>TIVOLI BUSINESS SYSTEMS MANAGER クライアント/サーバーのインストール</b> .....	<b>8</b>
セットアップ .....	9
前提条件 .....	9
<b>SQL SERVER コンポーネントのインストール</b> .....	<b>10</b>
SQL SERVER 7.0 SERVICE PACK 1 のインストール .....	26
<b>TIVOLI BUSINESS SYSTEMS MANAGER SQL SERVER コンポーネントのインストール</b> ...	<b>34</b>
データベース・セットアップ・パラメーターのカスタマイズ .....	51
アプリケーション・サーバーのインストール .....	52
インストール手順 .....	52
伝搬エージェント・サーバーのインストール .....	66
インストール手順 .....	66
<b>EVENT HANDLER</b> .....	<b>82</b>
インストール手順 .....	82
<b>TIVOLI BUSINESS SYSTEMS MANAGER クライアント・ワークステーション</b> .....	<b>94</b>
インストール手順 .....	94
<b>TIVOLI BUSINESS SYSTEMS MANAGER NT サービス・リスト</b> .....	<b>108</b>
表示される内容 .....	108
<b>TIVOLI BUSINESS SYSTEMS MANAGER の構成</b> .....	<b>111</b>
<b>TIVOLI BUSINESS SYSTEMS MANAGER アイコン</b> .....	<b>112</b>
アラート・アイコン .....	112
リソース・アイコン .....	113



## 特記事項

本書の情報は、予告なしに変更される場合があります。このマニュアルで例として使用されている企業、名称、および日付は、特に注釈がない限り、架空のものです。本書のいかなる部分も、Tivoli Systems Inc. の事前の書面による許可がない限り、いかなる形式または手段(電子的にも機械的にも)であっても、いかなる目的においても、複製または送信することはできません。

## 商標

Tivoli Systems Inc.、Tivoli Systems ロゴ、Tivoli Business Systems Manager、および Tivoli Business Systems Manager 製品は、Tivoli Systems Inc. の登録商標または商標です。

AIX および MVS は、IBM Corporation の商標です。

UNIX は、The Open Group がライセンスしている米国およびその他の国における商標です。

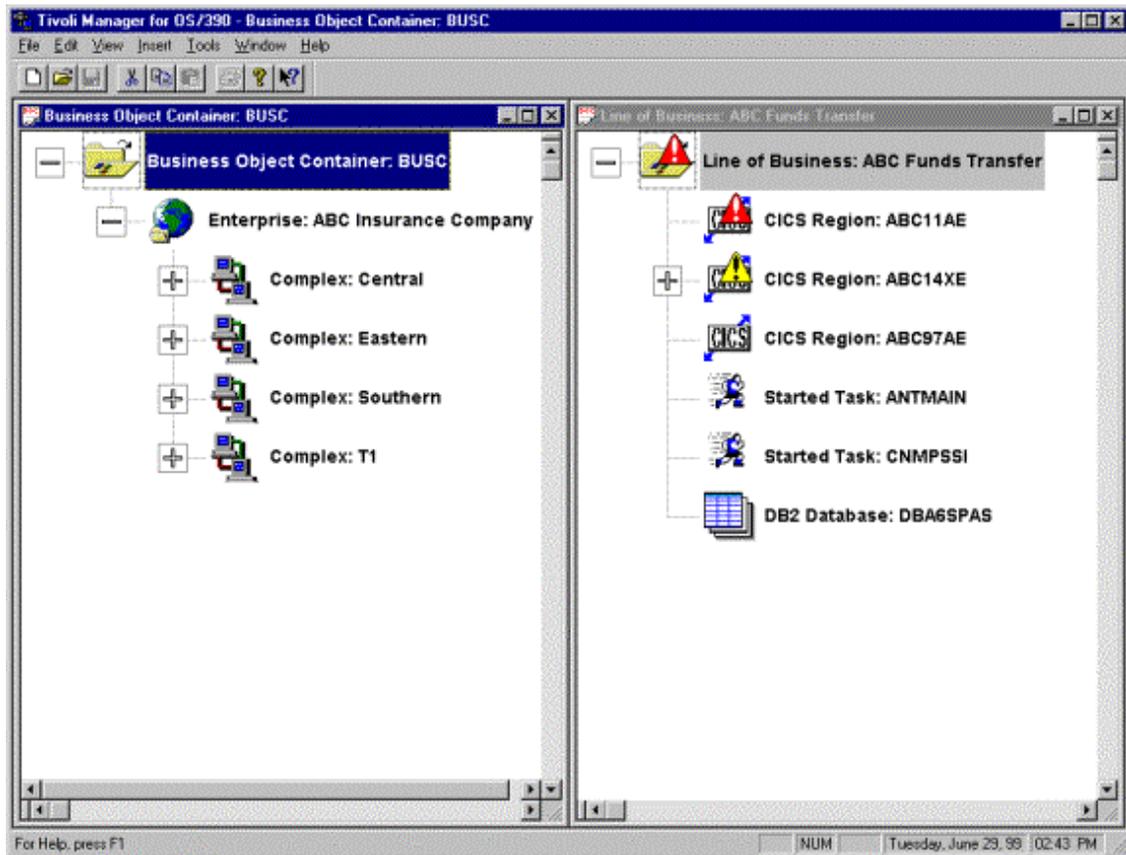
Windows、Windows NT、および Windows 95 は Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標または登録商標です。



## Tivoli Business Systems Manager の説明

Tivoli Business Systems Manager はオブジェクト指向のシステム管理アプリケーションであり、恒常的な可用性を保証するために、企業内のテクニカル・リソース、アプリケーション、およびサブシステムの、ステータス管理およびイベント管理のモニターを行います。Tivoli Business Systems Manager は、MVS 環境内のさまざまなソースから、情報を収集し関連させます。これらのソースには、MVS マスター・コンソール、サブシステム・パフォーマンス・モニター、スケジューリング・システムおよびサブシステム自体があります。これらの情報を使用して、Tivoli Business Systems Manager は、タスクがスケジュール通りに実行されているか、管理対象のオブジェクトの現行状態が変化していないか、あるいはパフォーマンス・カウンターのしきい値が超過していないかどうかを知ることができます。こうした情報のすべてが、Microsoft Windows NT ベースの Tivoli Business Systems Manager ワークステーション上で収集、保管され、そして明瞭かつ簡潔にグラフィカル表示されます。



Tivoli Business Systems Manager ワークステーション

## Tivoli Business Systems Manager クライアント / サーバーのインストール

クライアントの場合でもサーバーの場合でも、Tivoli Business Systems Manager アプリケーションのすべてのインストール手順で、InstallShield を使用します。

インストール処理は、Tivoli Business Systems Manager の「Setup.exe」アイコンをクリックすることで行うことができます。これにより一連のステップが通して行われ、インストール処理が完了します。インストール処理の管理担当者は、プロンプトが出された際に正確な情報を提供する必要があります。

## セットアップ

セットアップ・プログラムを開始する前に、必ずすべての Windows プログラムを終了させてください。

**Setup.exe** アイコンをクリックすると、Tivoli Business Systems Manager は直ちに InstallShield ウィザードを作成します。このウィザードは、その後続くインストール処理を実行する際にユーザーをガイドするためのもので、InstallShield ウィザードが作成されると、「**Welcome to the Tivoli Business Systems Manager Setup Program**」というダイアログが表示されます。

インストールが完了する前に**セットアップ**・プログラムを**終了**する場合は、「**Cancel**」をクリックします。次のインストールのステップに進む場合は、「**Next>**」をクリックします。

## 前提条件

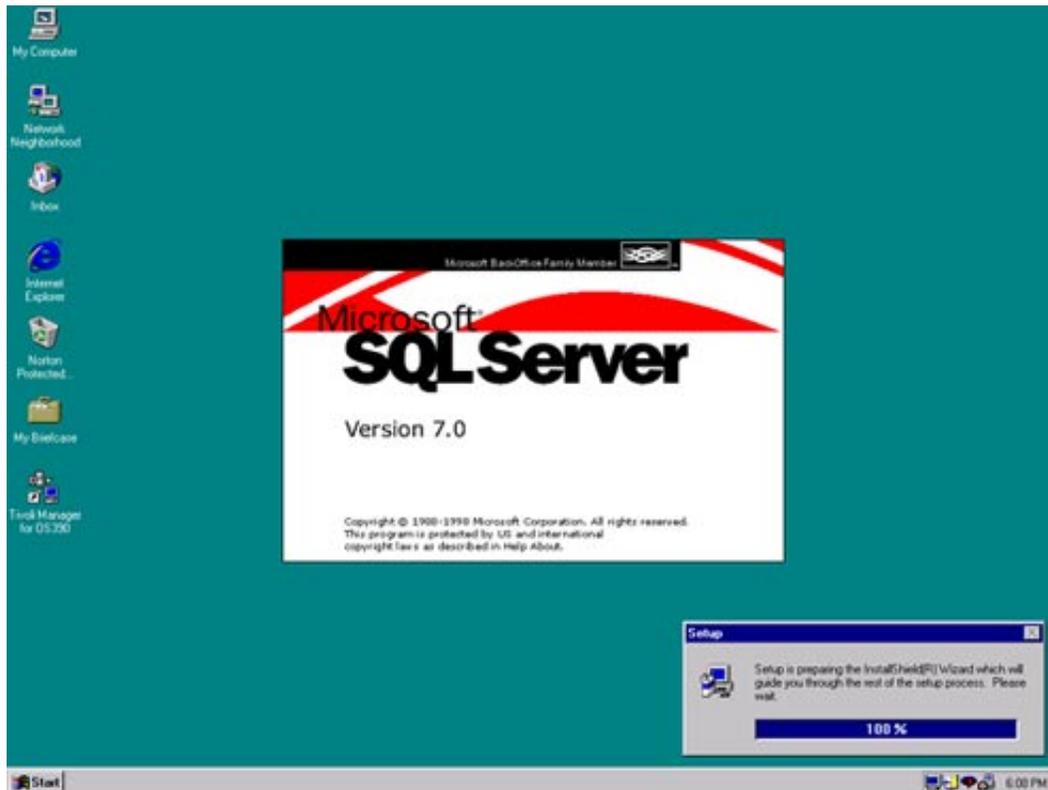
以下のソフトウェアのリストは、すべてのサーバーのインストールに必要な要件です。

- **NT Service Pack** - 最低でも **Service Pack 4** が必要、できれば **Service Pack 5** が望ましい。
- **MKS Toolkit 6.2**
- **NT 4.0 Resource Kit Supplement #3**
- **Internet Information Server** - 最低でもバージョン **4.0** が必要 (ヒストリー・サーバーのインストール用)
- **Microsoft SNA Server 4.0 Service Pack 2** (SNA Server のインストール用)
- **SQL サーバー 7.0**

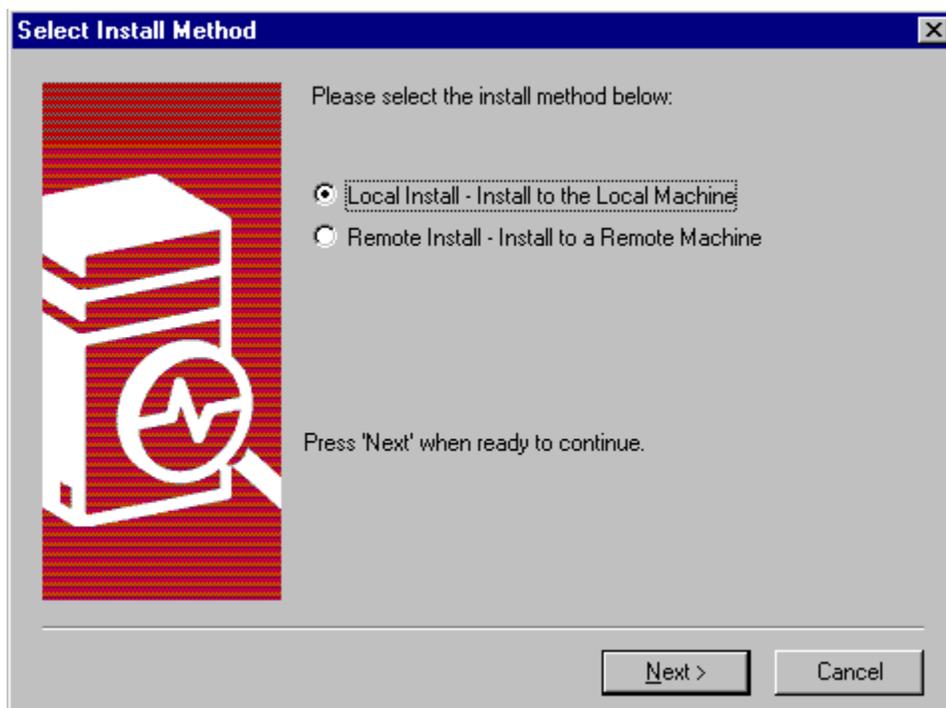
ハードウェアおよびソフトウェア要件の完全なリストについては、本書後半の『**Tivoli Business Systems Manager の構成**』を参照してください。

## SQL Server コンポーネントのインストール

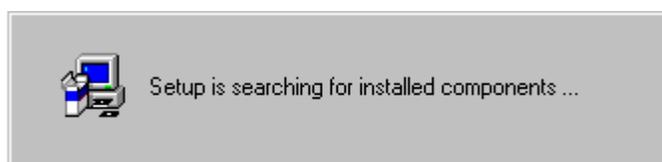
1. Microsoft SQL Server 7.0 の CD を挿入してください。「Setup.bat」を選択します。  
Microsoft SQL Server Version 7.0 のセットアップ・ダイアログが初期化を開始します。



2. 「**Select Install Method**」ダイアログが表示されます。適切なメソッドを選択します。「**Next**」をクリックします。



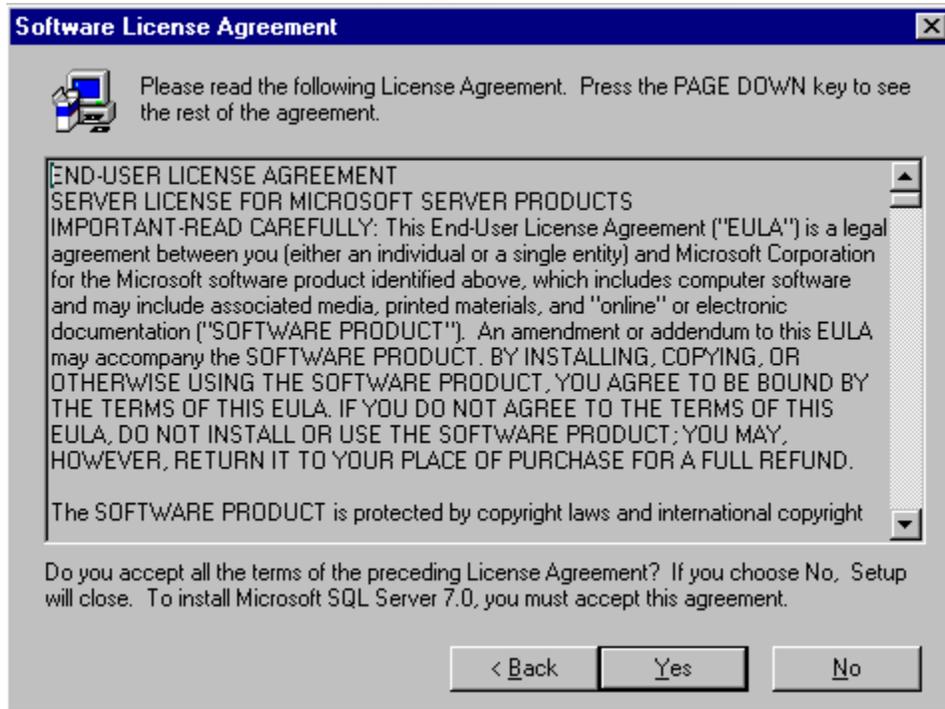
セットアップがインストール済みのコンポーネントを検索している間、お待ちください。



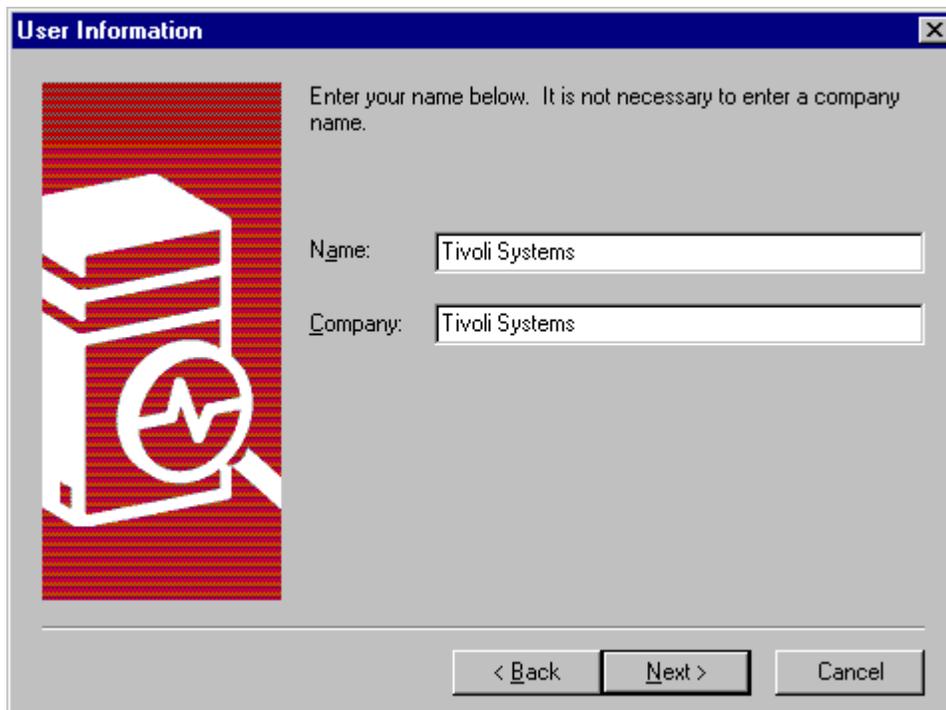
3. 「**W**elcome」ダイアログが表示されます。ダイアログ・ボックスの内容を読んでください。「**N**ext」をクリックします。



4. 「**Software License Agreement**」ダイアログが表示されます。内容全体を表示するには、スクロール・バーを使用します。「**N**ext」をクリックします。

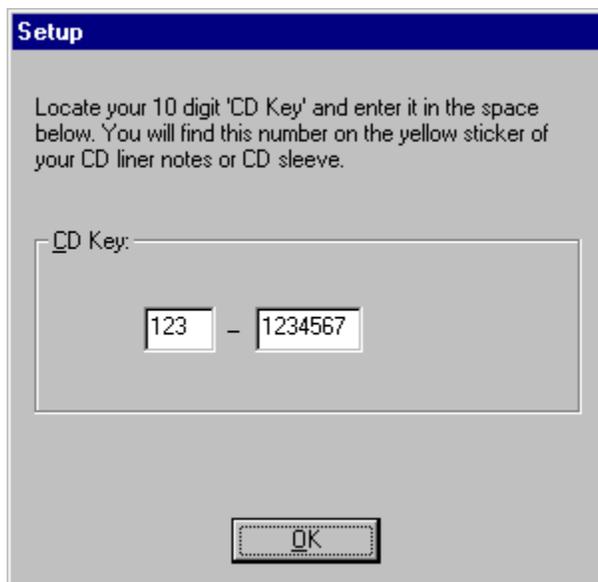


5. 「**User Information**」ダイアログが表示されます。ユーザーの**個人名**および**企業名**を入力します。「**Next**」をクリックします。



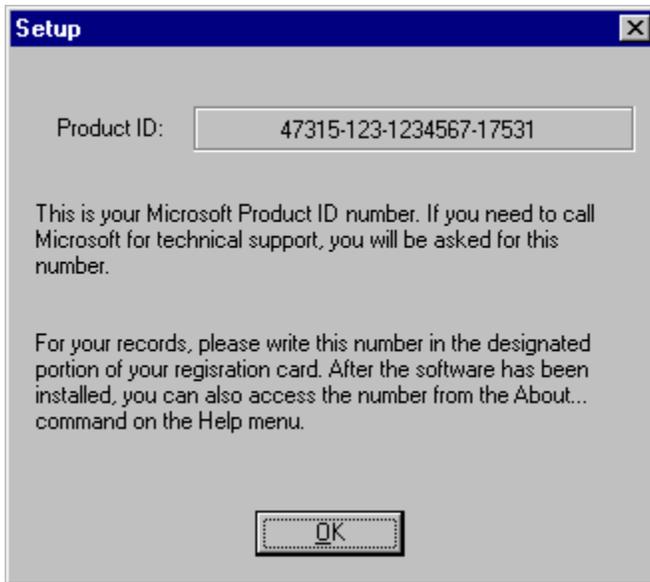
The image shows a Windows-style dialog box titled "User Information". On the left side, there is a red vertical bar with a white icon of a server rack and a magnifying glass over a pulse line. To the right of the icon, the text reads: "Enter your name below. It is not necessary to enter a company name." Below this text are two text input fields. The first is labeled "Name:" and contains the text "Tivoli Systems". The second is labeled "Company:" and also contains "Tivoli Systems". At the bottom of the dialog box, there are three buttons: "< Back", "Next >", and "Cancel".

6. 「**Setup**」ダイアログが表示されます。10桁の**CD キー**を入力してから、「**OK**」をクリックして次のステップに進みます。

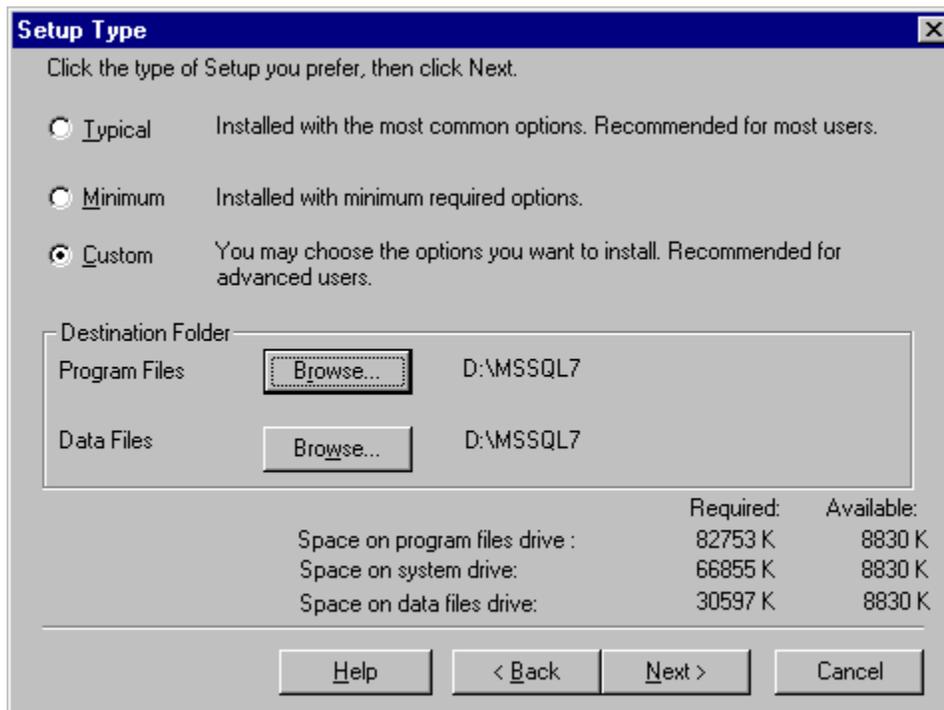


The image shows a Windows-style dialog box titled "Setup". The text inside reads: "Locate your 10 digit 'CD Key' and enter it in the space below. You will find this number on the yellow sticker of your CD liner notes or CD sleeve." Below the text is a large rectangular input area. Inside this area, there are two smaller input boxes. The first contains "123" and the second contains "1234567", with a hyphen "-" between them. At the bottom center of the dialog box, there is an "OK" button.

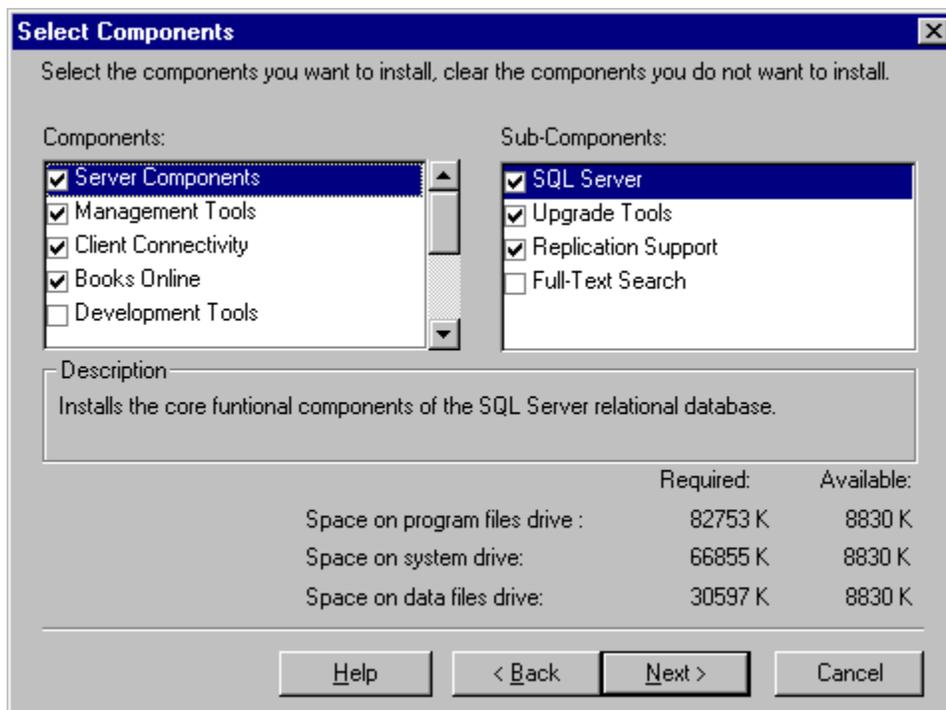
7. 2番目の「Setup」ダイアログが表示されます。このダイアログには、ユーザーの「Product ID」番号が含まれます。後で参照することができるように、このIDを書き留めておくことをお勧めします。「OK」をクリックします。



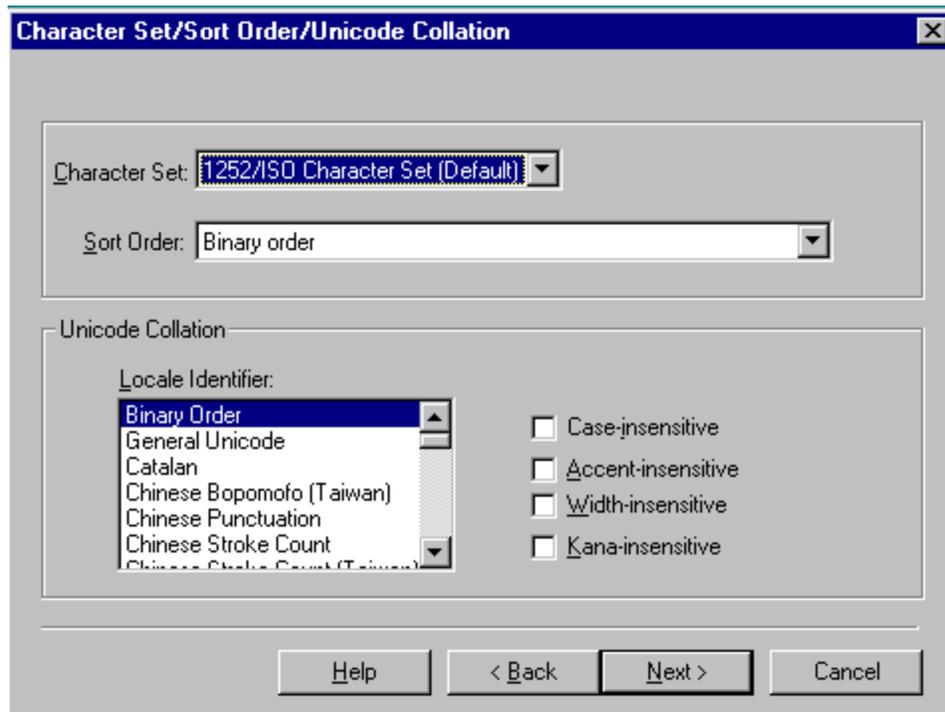
8. 「**Setup Type**」ダイアログが表示されます。「**Custom**」を選択します。「**Program Files**」用、および「**Data Files**」用に「**Destination Folders**」を選択します。これらのファイルを、DドライブのMSSQL7ディレクトリーにインストールすることをお勧めします。このタスクが完了したら、「**Next**」をクリックします。



9. 「**Select Components**」ダイアログが表示されます。デフォルトを選択します。「**Next**」をクリックします。



10. 「**Character Set/Sort Order/Unicode Collation**」ダイアログが表示されます。「**Character Set**」はデフォルトのまま使用します。ソート順序として「**Binary Order**」を選択します。「**Next**」をクリックします。



11. 「**Network Libraries**」ダイアログが表示されます。「**Named Pipe**」名および「**TCP/IP Sockets**」はデフォルトのまま使用します。「**Multi-Protocol**」および「**Enable Multi-Protocol encryption**」を選択します。「**Next**」をクリックします。

**Network Libraries**

**N**amed **P**ipes  
Named Pipe name:  
\\.\pipe\sql\query

**T**CP/IP Sockets  
Port number:  
1433  
Remote Winsock proxy address:

**M**ulti-Protocol  
 **E**nable Multi-Protocol encryption

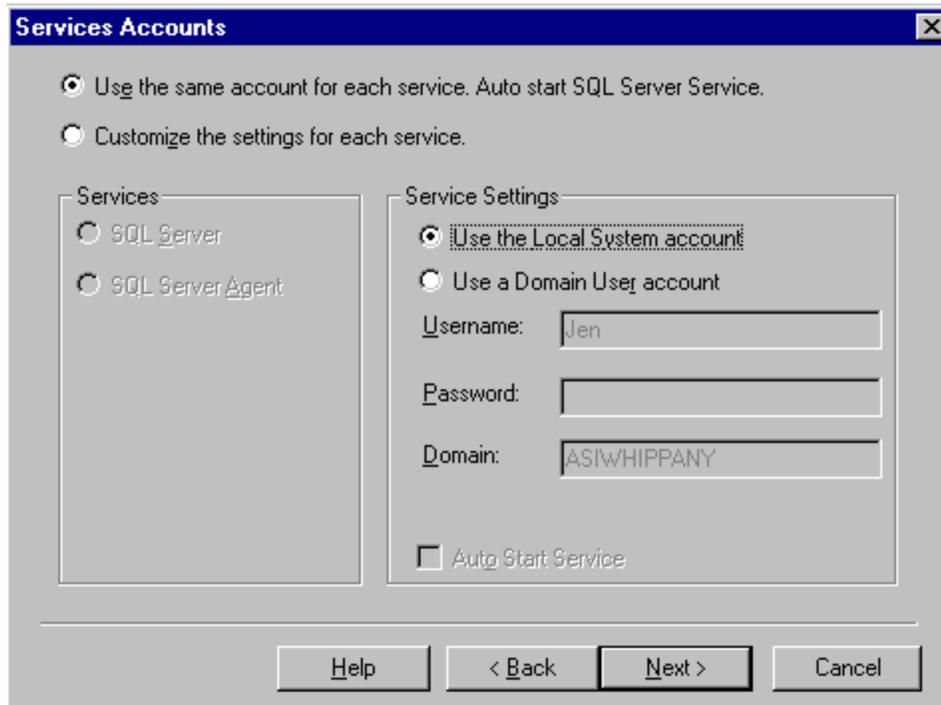
**N**WLink IPX/SPX  
Novell Bindery service name:

**A**ppleTalk ADSP  
AppleTalk service object:

**B**anyan **V**INES  
SteetTalk service name:

Help < Back Next > Cancel

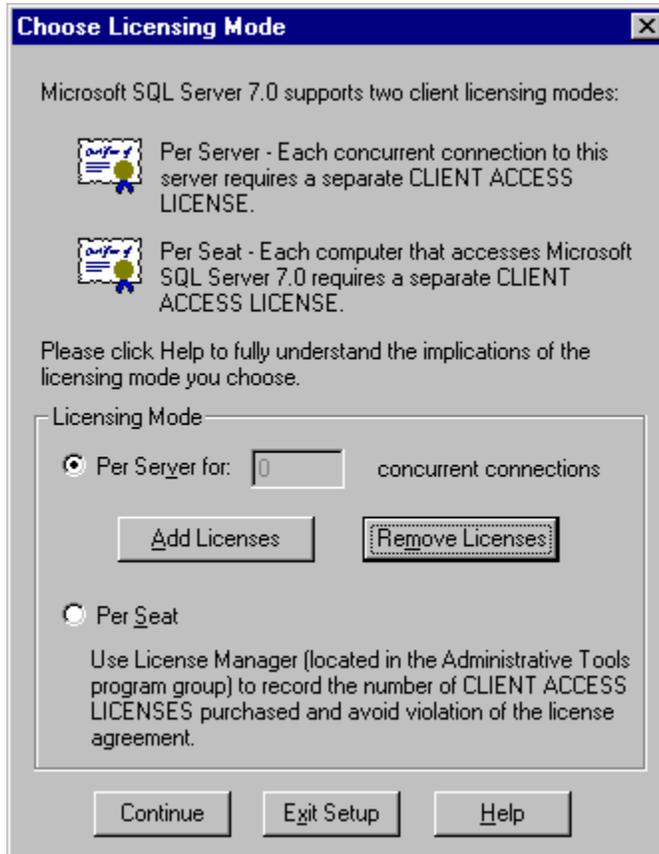
12. 「**Services Accounts**」ダイアログが表示されます。デフォルトの「**Use the same account for each service**」をそのまま使用します。「**Service Settings:Use the Local System account**」を選択します。「**N**ext」をクリックします。



13. 「**Start Copying Files**」ダイアログが表示されます。「**N**ext」をクリックして、SQL Server のインストールに進んでください。いずれかのパラメーターを変更するには、「**B**ack」をクリックしてください。



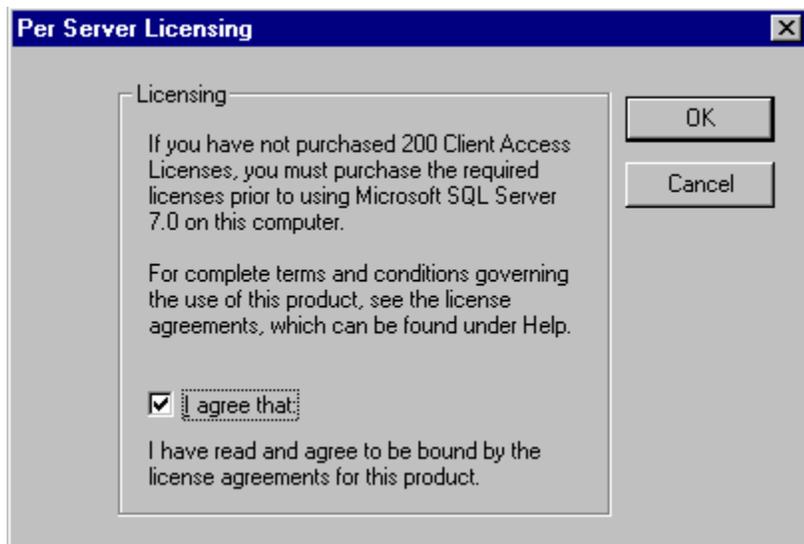
14. 「**Choose Licensing Mode**」ダイアログが表示されます。「**Per Server**」を選択します。「**Add Licenses**」をクリックします。



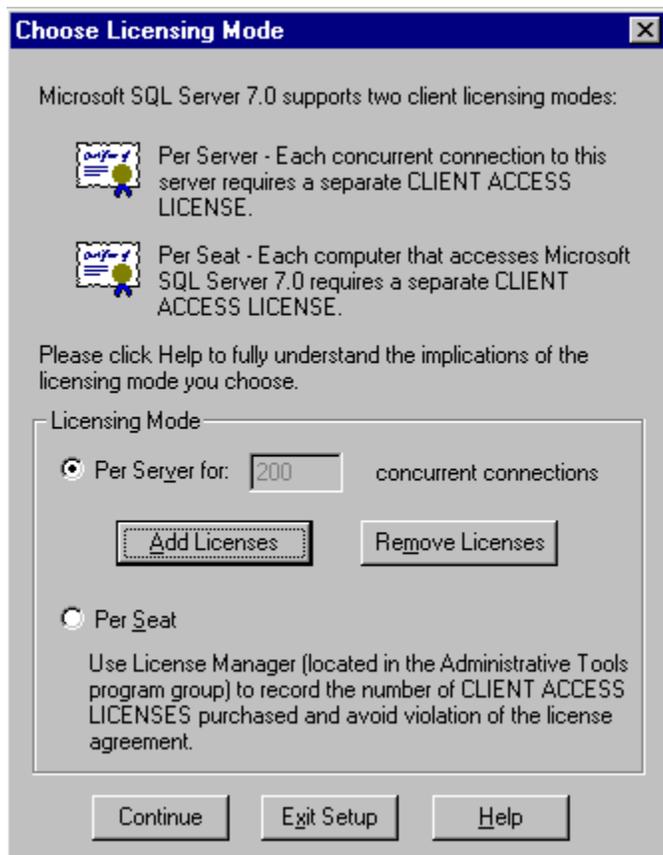
15. 「**New Client Access License**」ダイアログが表示されます。「**Quantity**」フィールドに、**200**を入力して、「**OK**」をクリックします。



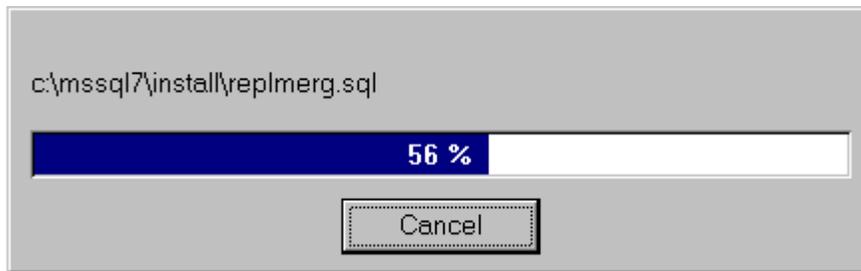
16. 「**Per Server Licensing**」ダイアログが表示されます。ダイアログの内容はすべて読んでください。これらの条件に合意する場合は、「**I agree that**」の横にチェックを入れて、「**OK**」をクリックします。



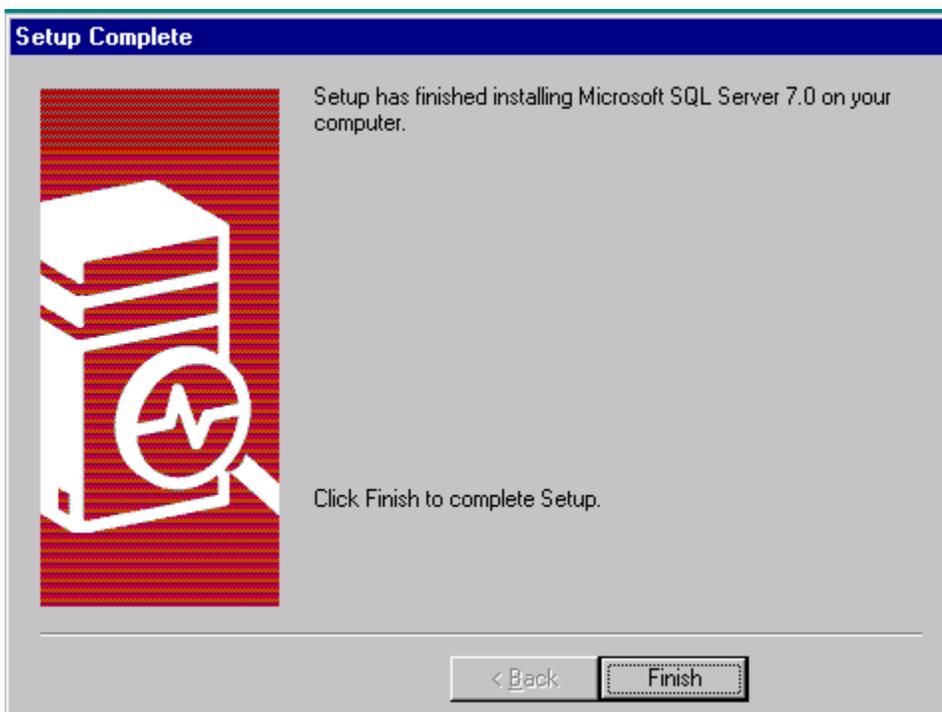
17. 「**Choose Licensing Mode**」ダイアログが表示されます。「**Continue**」をクリックしてインストールを完了します。



現在 SQL Server をインストール中です。

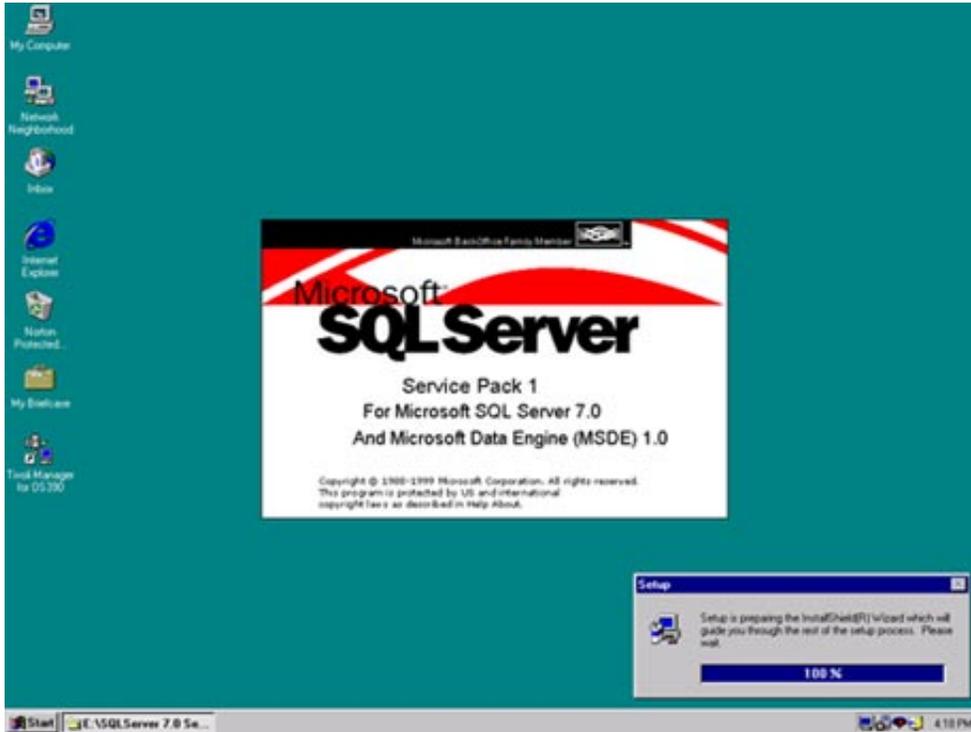


18. 「The Setup Complete」ダイアログが表示されます。「Finish」をクリックします。

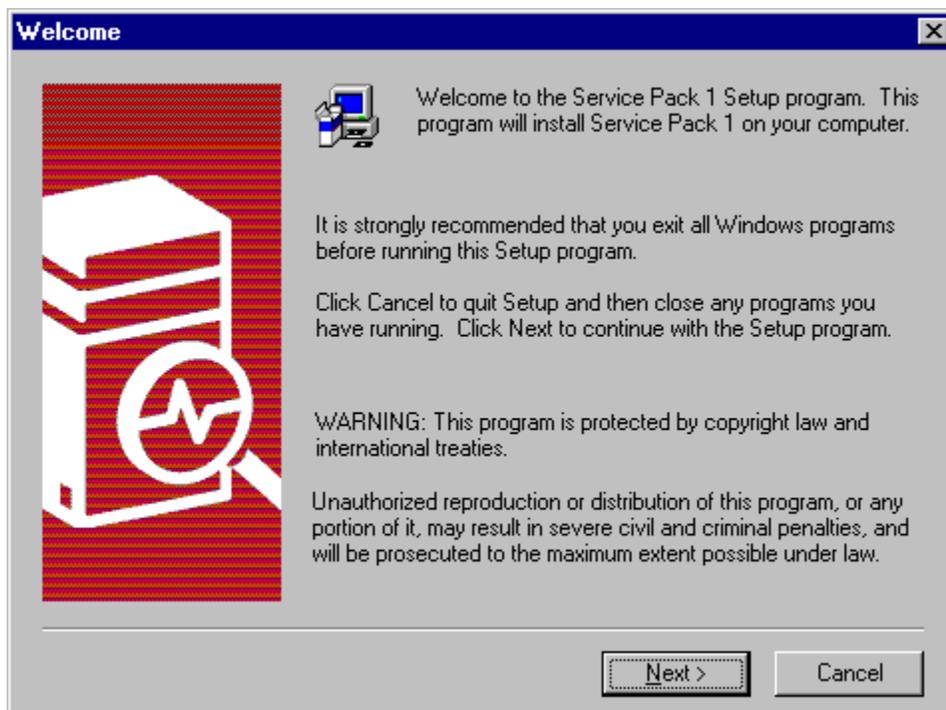


## SQL Server 7.0 Service Pack 1 のインストール

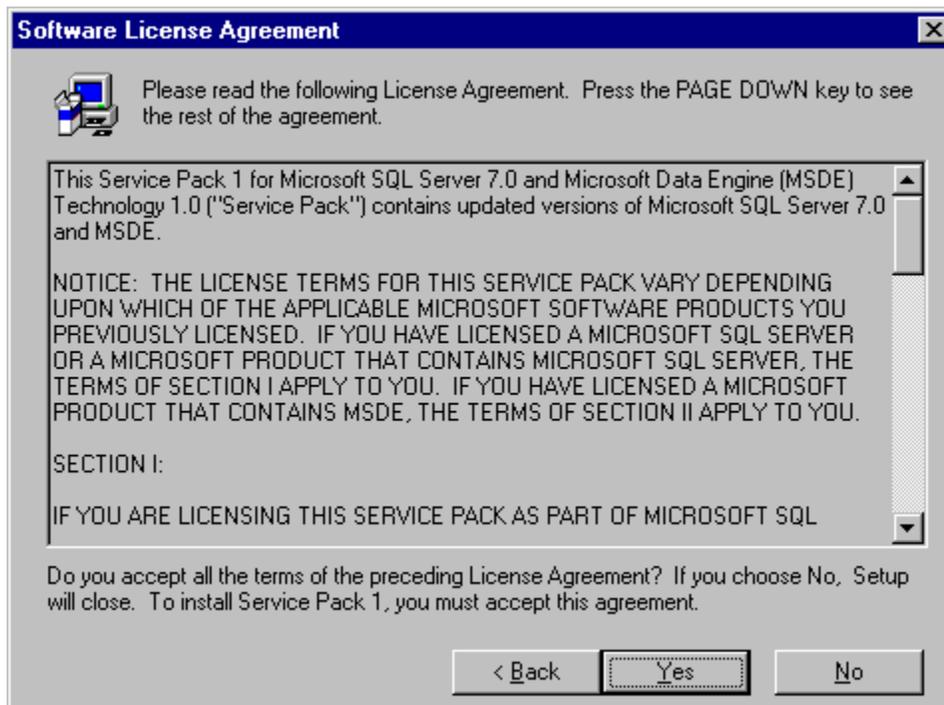
1. X86/Setup ディレクトリーから、**setupsql.exe** を実行します。



2. 「Welcome」ダイアログが表示されます。「Next」をクリックします。



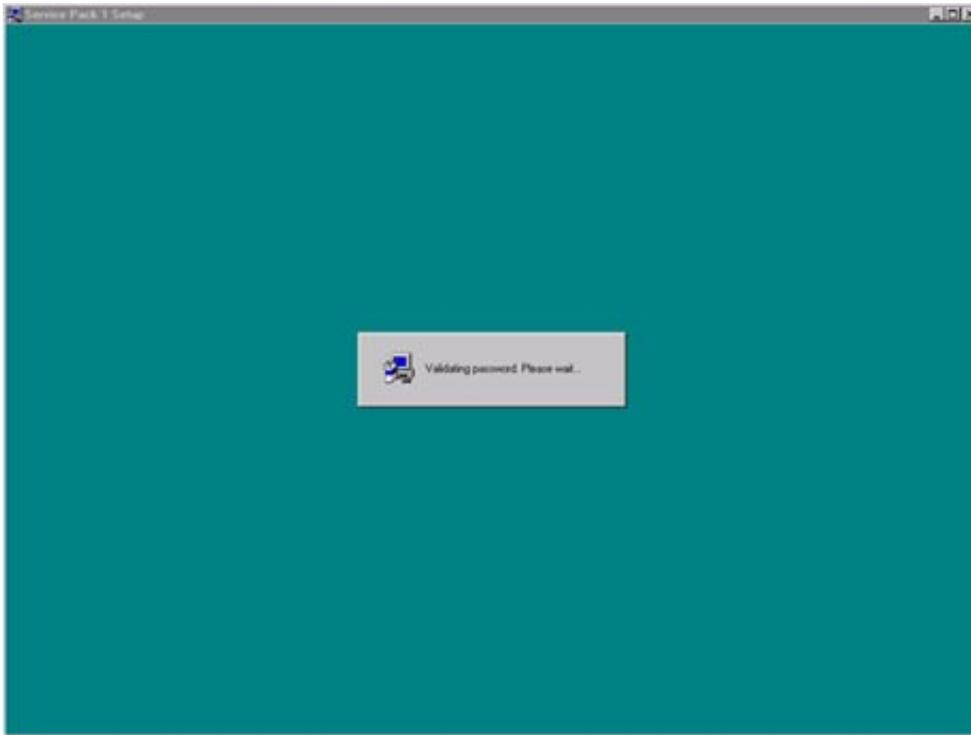
3. 「**Software License Agreement**」が表示されます。スクロールダウンして、このご使用条件の全文をお読みください。条件に合意する場合は、「**Yes**」をクリックします。合意しない場合は、「**No**」をクリックしてインストールを取り消してください。



4. 「**Connect to Server**」ダイアログが表示されます。SQL Server へ接続するために使用する、「**authentication mode**」を選択します。「**Next**」をクリックします。



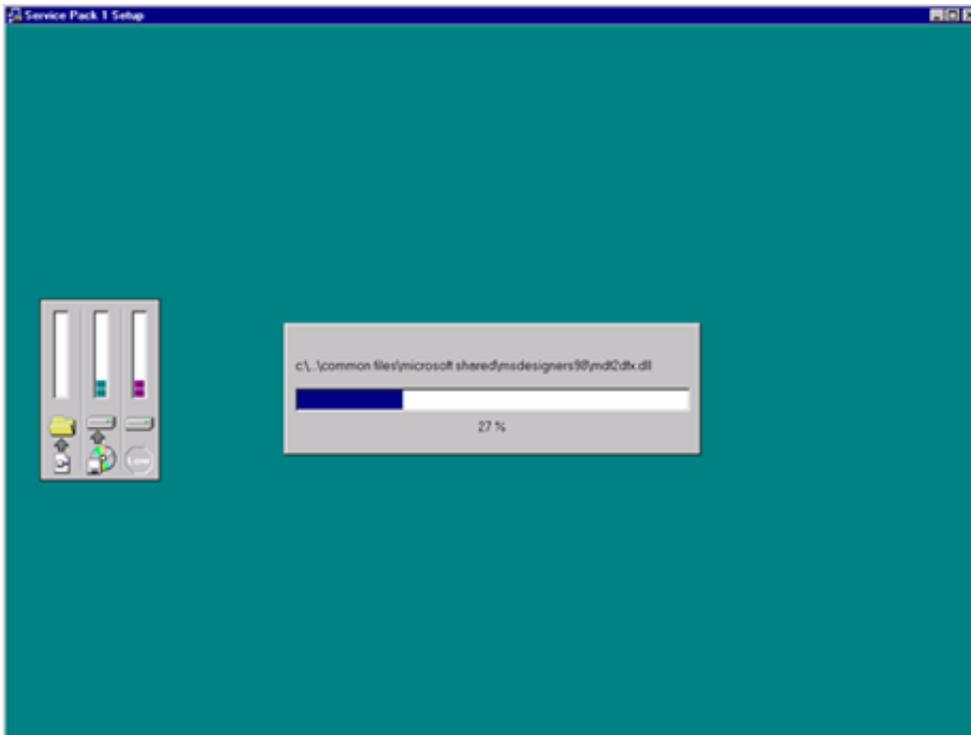
セットアップがパスワードの妥当性検査をしている間、お待ちください。



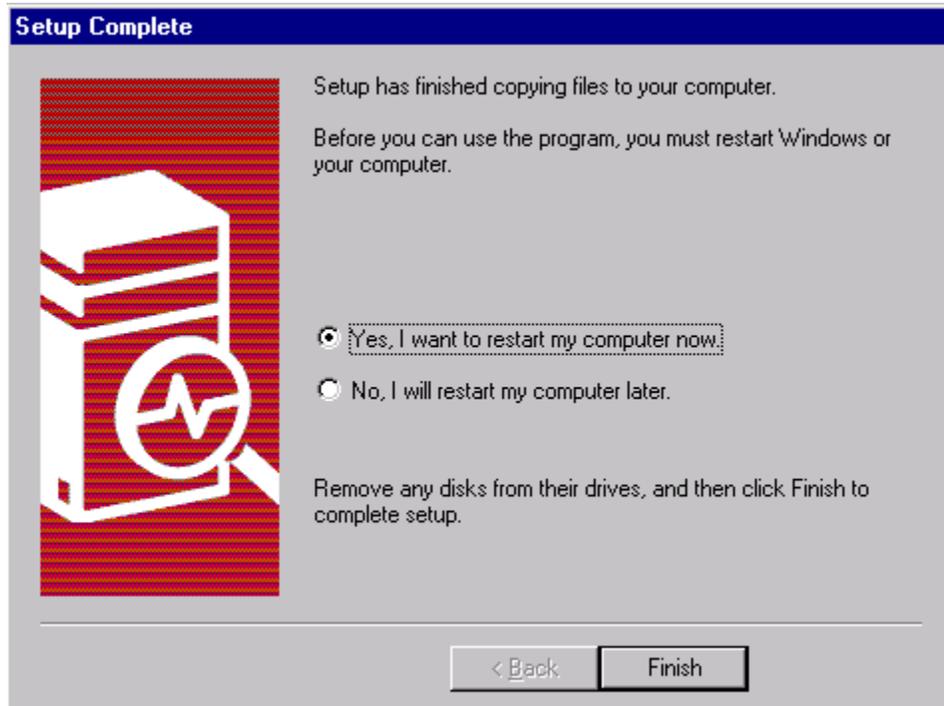
5. 「**Start Copying Files**」ダイアログが表示されます。「**N**ext」をクリックしてインストールへ進みます。



現在、Service Pack 1 をインストール中です。



6. 「Setup Complete」ダイアログが表示されます。「Yes, I want to restart my computer now」を選択してください。「Finish」をクリックして、このインストールを終了します。



SQL Server 7.0 および Service Pack 1 のインストールが完了したら、必ず以下のことを行ってください。

添付の資料、「*Query Analyzer Setup Changes for SQL 7.0*」の指示に従って、SQL Server 7.0 の Query Analyzer Tool (ISQLW) 内のオプション「*Use ANSI NULLs, padding and warnings*」(メニュー内に 2 箇所あります) をオフにしてください。

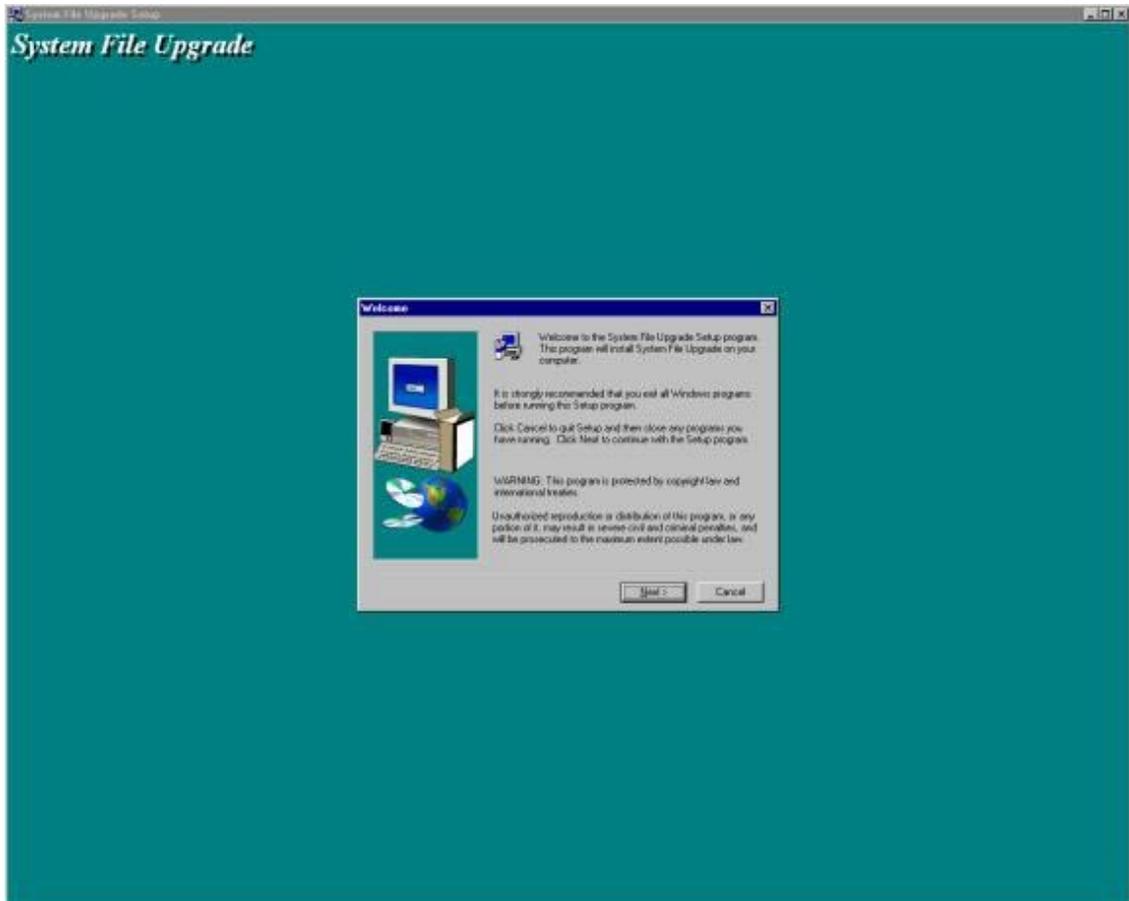
## Tivoli Business Systems Manager SQL Server コンポーネントのインストール

注: すべての Tivoli Business Systems Manager と、SQL Executive および MS SQL Server を含む SQL Server サービスを停止してください。さらに、インストール処理を開始する前に、デスクトップ上の他のすべてのプログラムをクローズしてください。

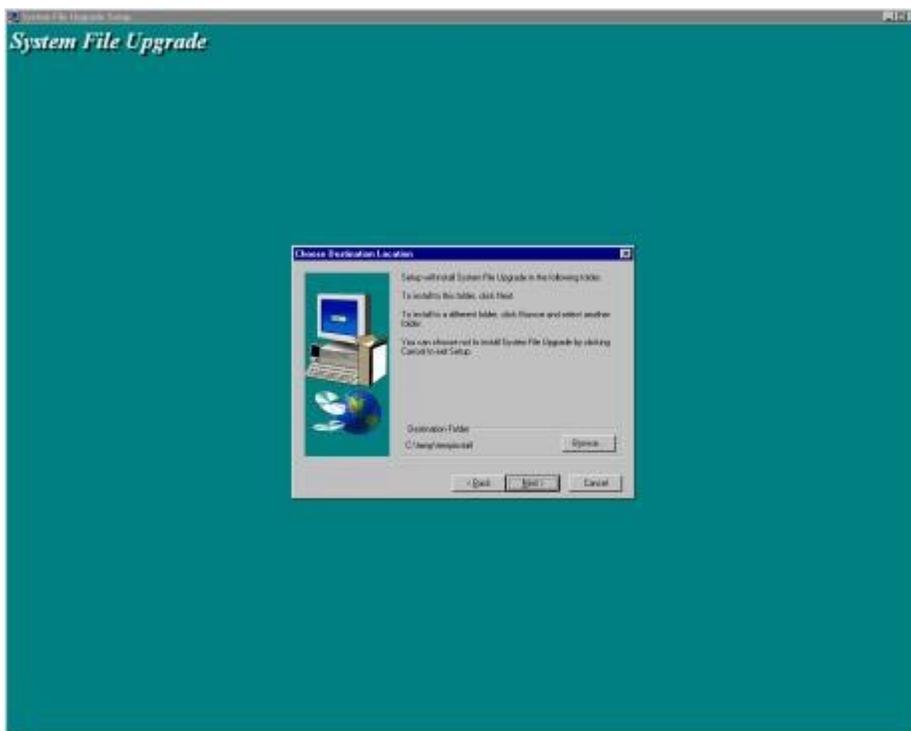
1. Tivoli Business Systems Manager インストール用 CD を挿入してください。
2. 「Setup.exe」アイコンをダブルクリックします。



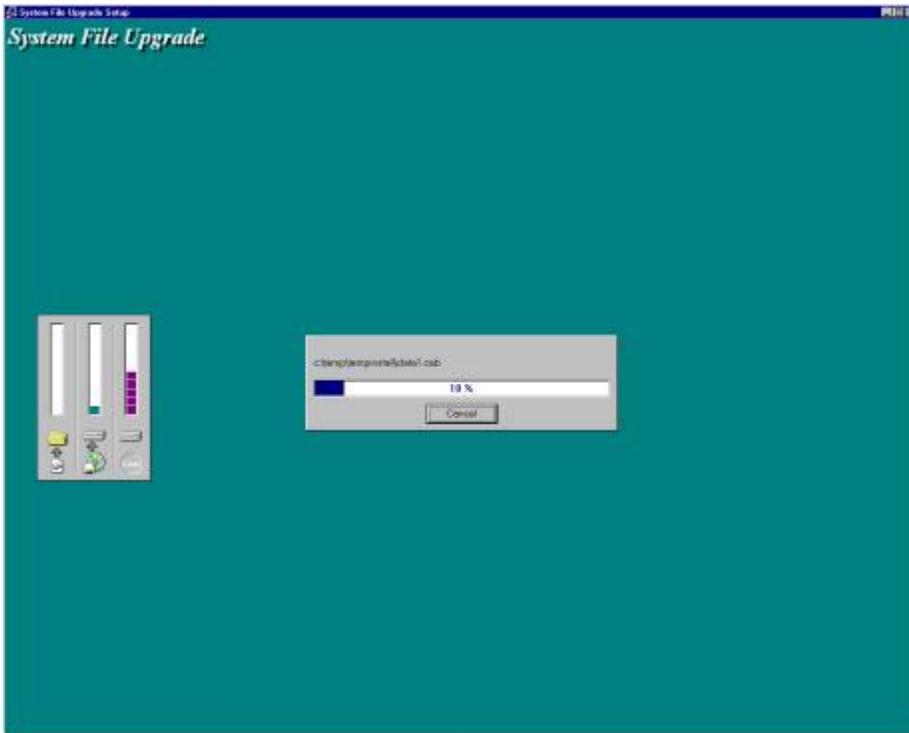
3. 「System File Upgrade dialog」ダイアログが表示されます。「Next>」をクリックします。



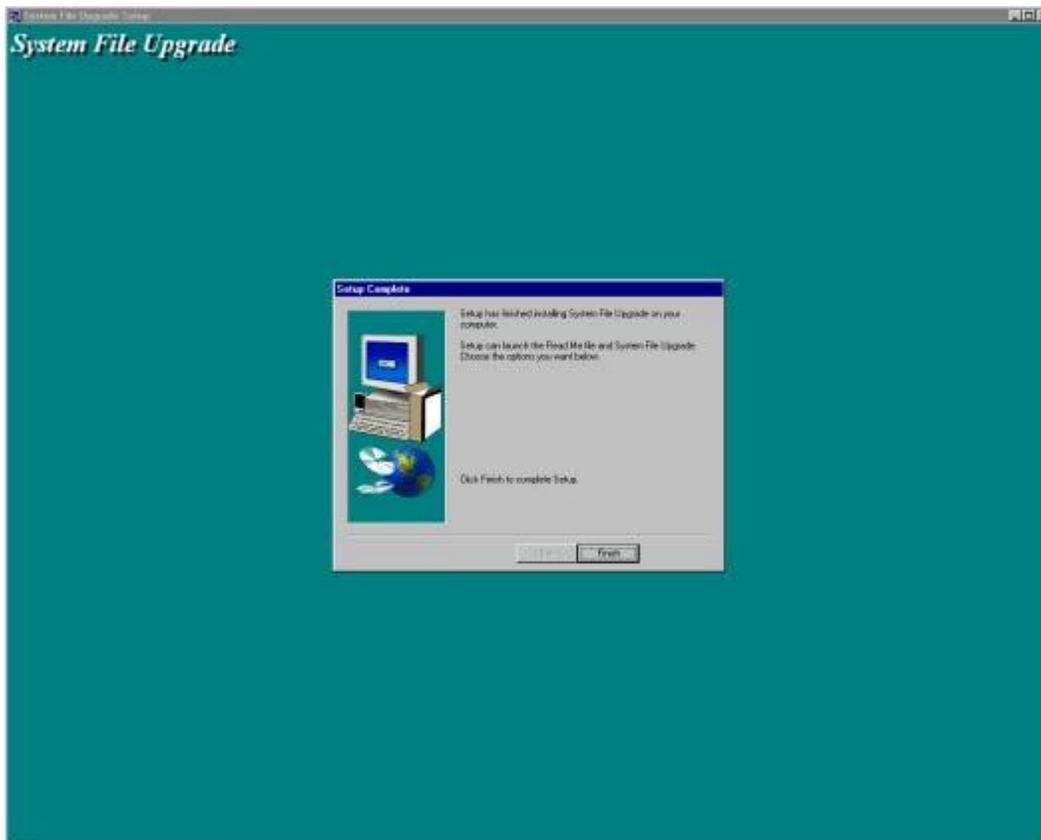
4. 「**Choose Destination Location**」ダイアログが表示されます。これらのファイルを、一時的なディレクトリーに入れることをお勧めします。「**Browse**」ボタンを選んで、ユーザーのディレクトリーを選択します。適切なディレクトリーを選択してから、「**Next>**」をクリックします。



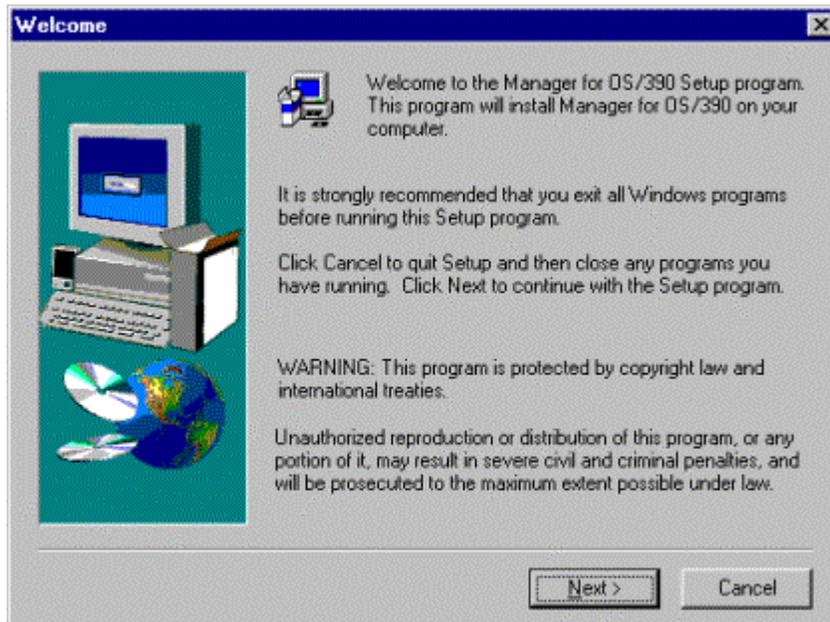
5. 「System File Upgrade」処理が進行します。



6. 「System File Upgrade」が完了しました。「**Finish**」をクリックします。



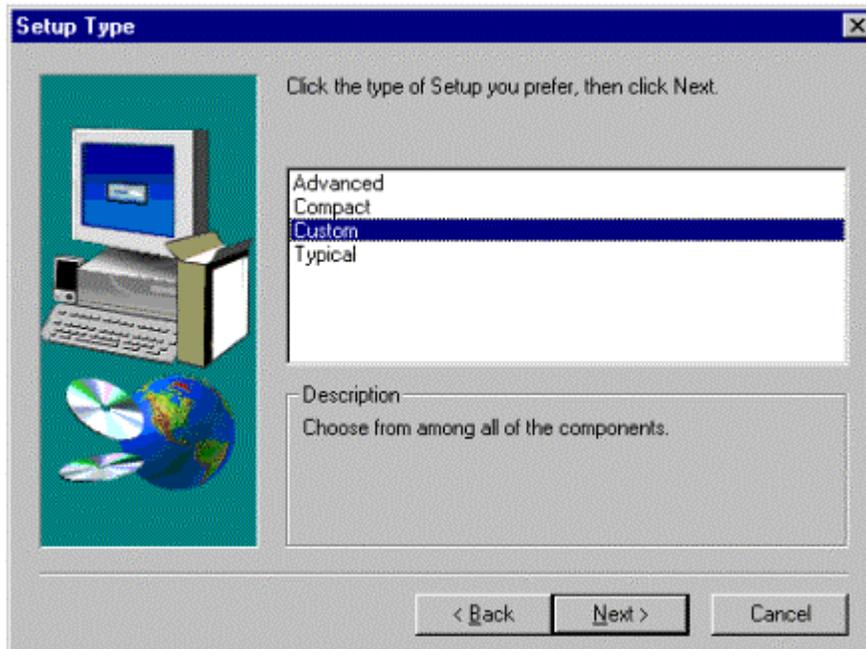
7. 「**Welcome to Tivoli Business Systems Manager Setup**」プログラムのダイアログが表示されます。このボックスには、インストールを停止する方法を含む、セットアップ・プログラムの基本情報が入っています。  
「**Next>**」をクリックします。



8. 「**Choose Destination Location**」ダイアログが表示されます。Tivoli Business Systems Manager アプリケーションのインストール先となるディレクトリーを選択します。選択されたパスは、「**Destination Folder**」に表示されます。適切なパスを選択してから、「**Next>**」をクリックします。

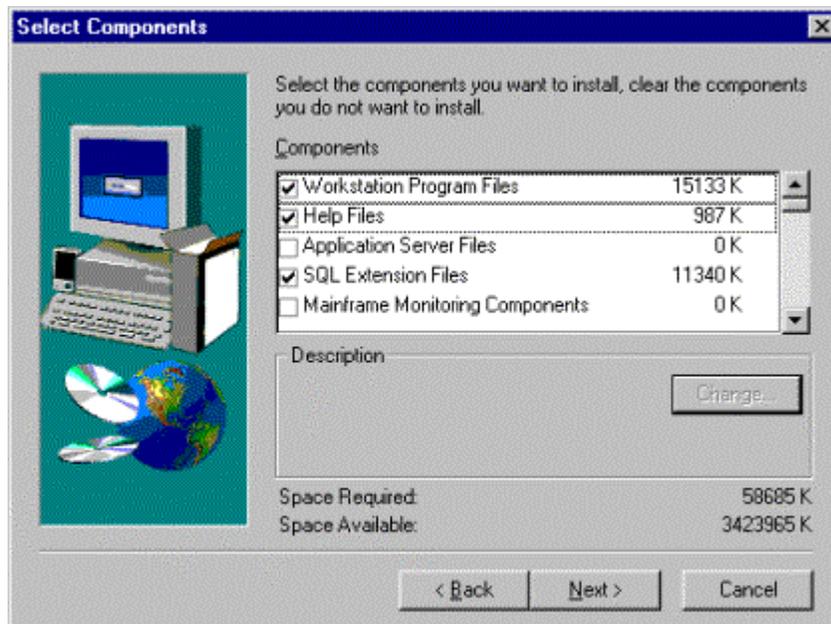


9. 「**Setup Type**」ダイアログが表示されます。「**C**ustom」を選択してください。「**N**ext>」をクリックします。



10. 「**Select Components**」ダイアログが表示されます。**SQL Extensions** のインストールに必要なコンポーネントを選択します。必要なファイルには、以下のものがあります。

- **Workstation Program Files**
- **Help Files**
- **SQL Extension Files**
- **Tools and Utilities**
- **Staged Event Loader**



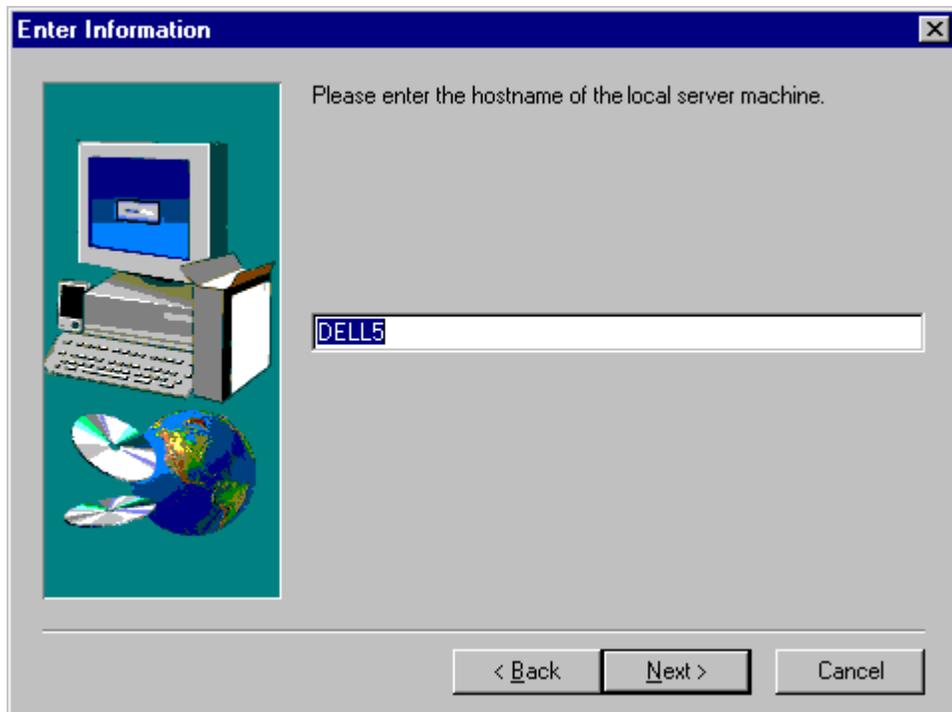
11. 「**Next >**」をクリックします。

---

**注:** データの量によって、**Staged Event Loader** は1つ以上のサーバーにインストールすることができます。

---

- ローカル・サーバー・マシンのホスト名を入力してください。「Next>」をクリックします。



13. SQL サーバマシンのホスト名、SQL アドミニストレーターのユーザー名および SQL アドミニストレーターのパスワードを入力してください。「Next>」をクリックします。

Database Parameters

Enter the parameters for the SQL Server machine.

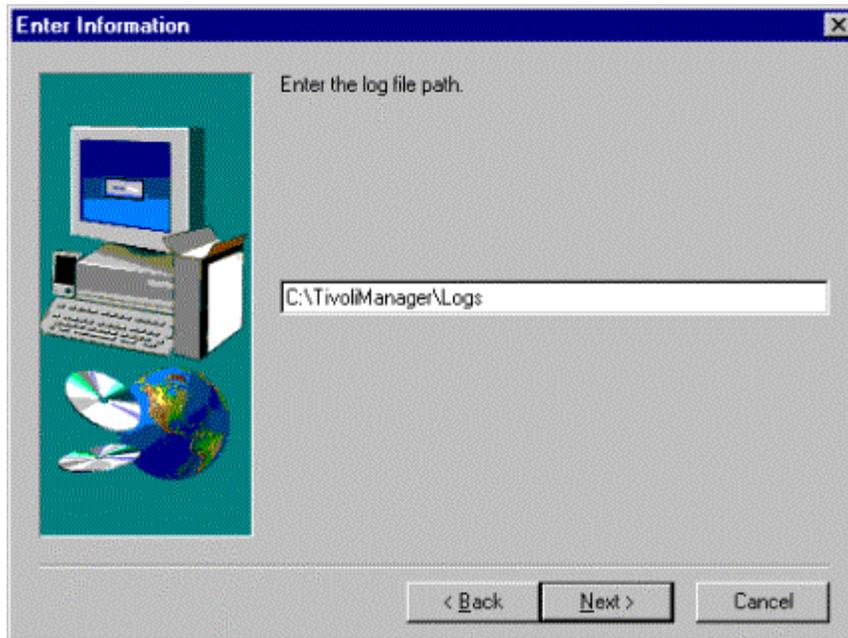
Server: Dell5

Username: sa

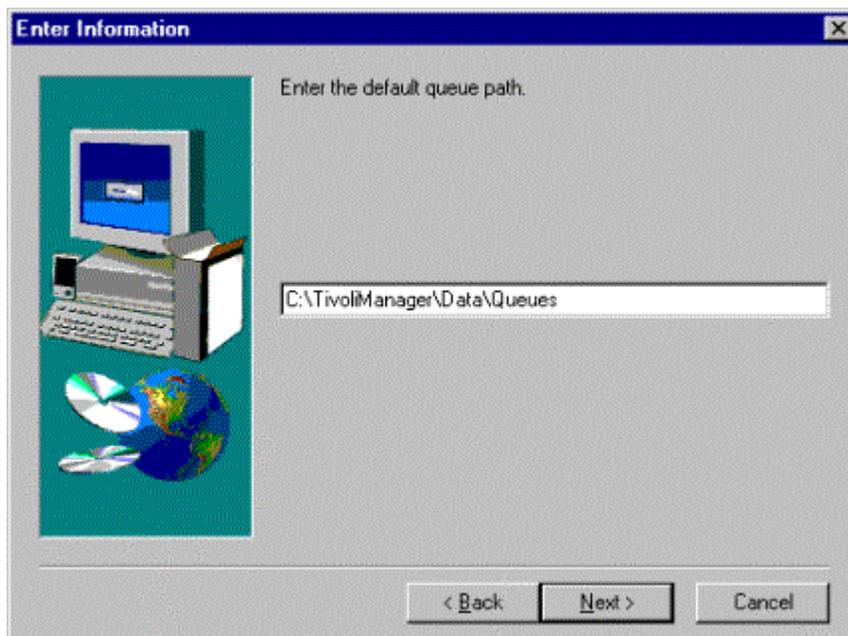
Password: sa\_dell5

< Back    Next >    Cancel

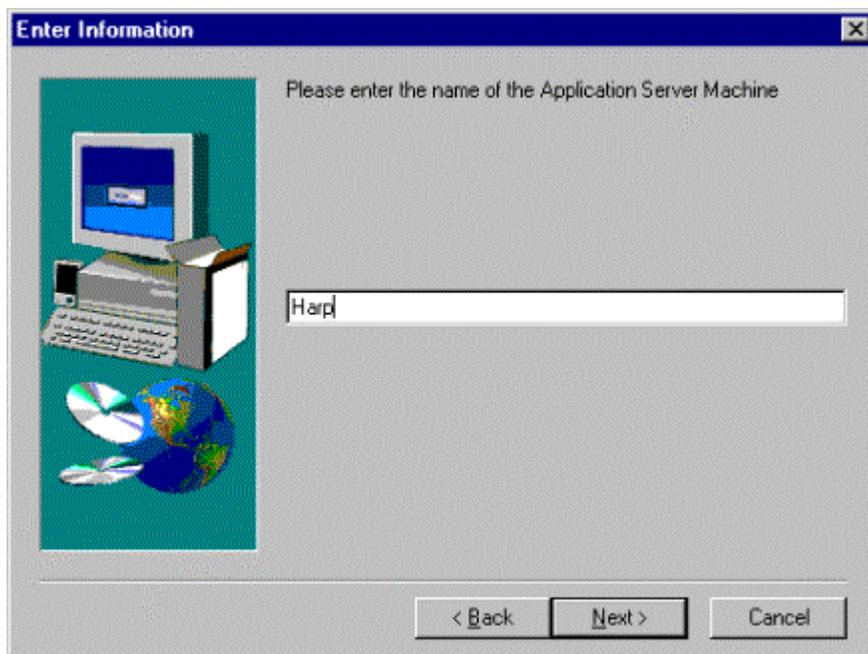
14. ログ・ファイル・パスを入力します。「Next >」をクリックします。



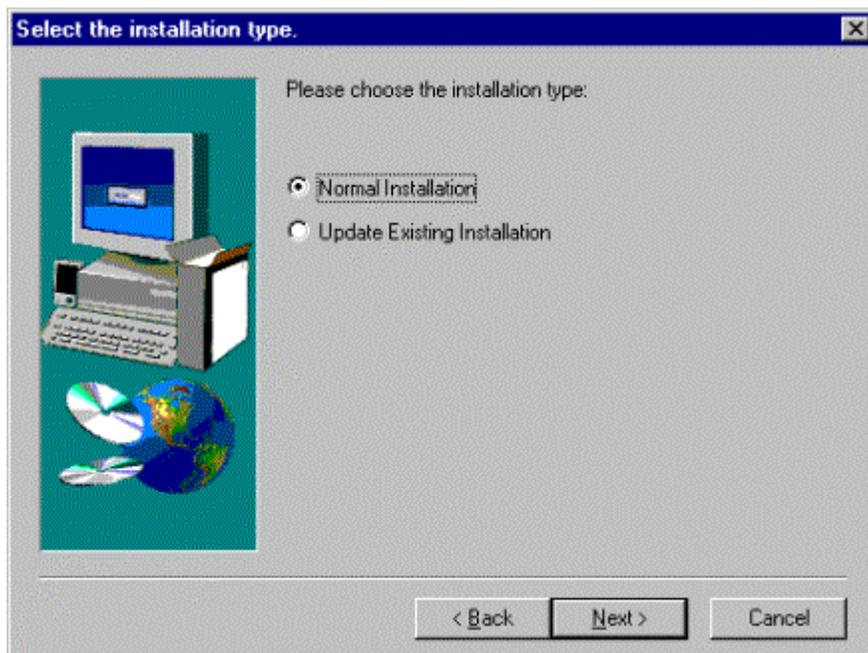
15. デフォルト・キュー・パスを入力します。「Next >」をクリックします。



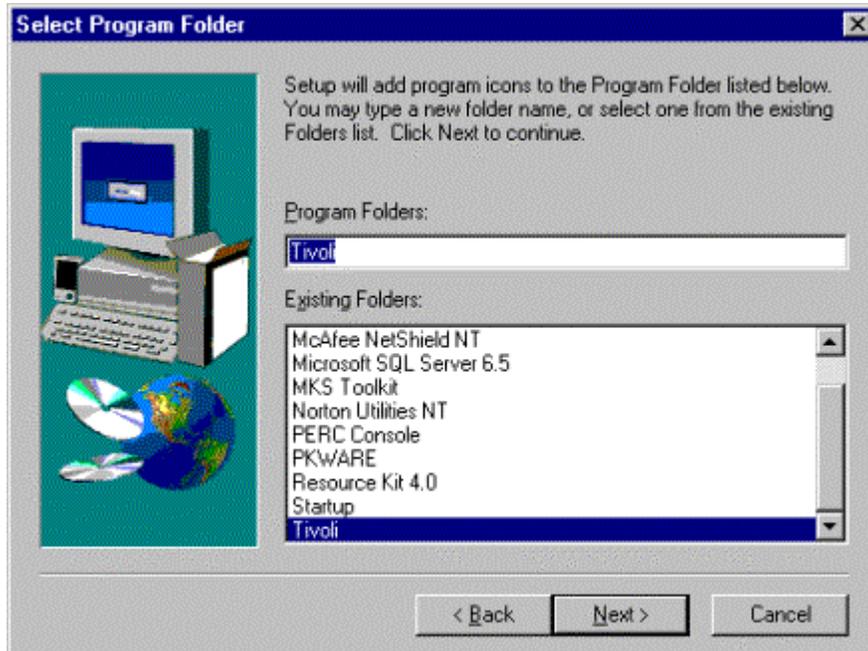
16. アプリケーション・サーバー・マシンの名前を入力してください。「Next >」をクリックします。



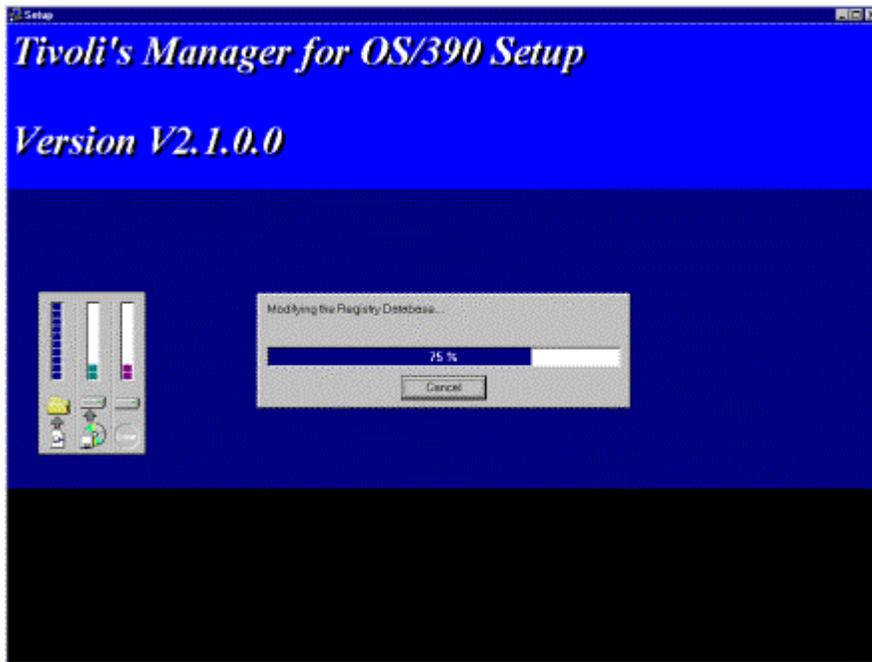
17. インストール・タイプは「Normal Installation」を選択します。(注: Update Existing Installation)は選択しないでください。)「Next >」をクリックします。



18. 「**Select Program Folder**」ダイアログ・ボックスが表示されます。すべてのアプリケーション・ファイルを入れるための「**Program Folder**」を選択します。「**Next >**」をクリックします。

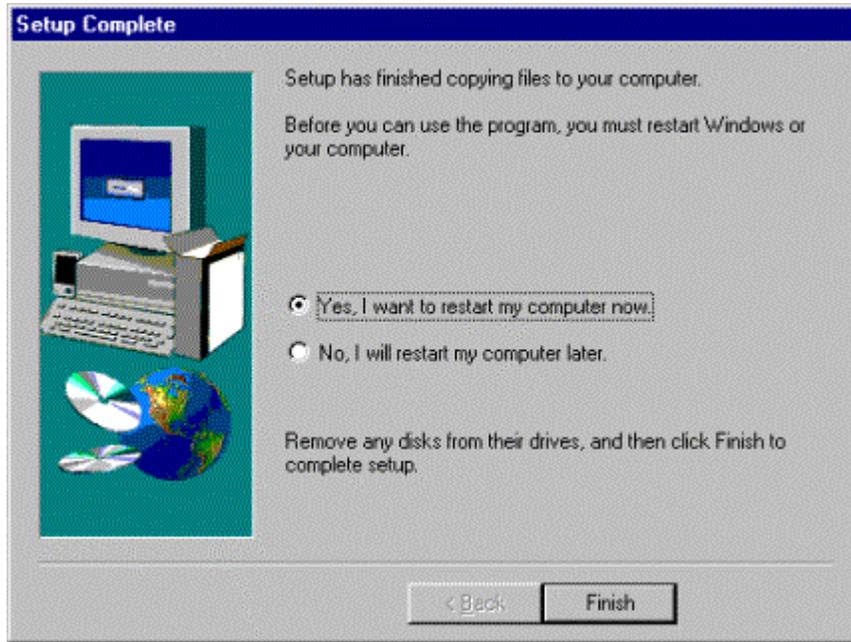


19. インストールが進行中です。この時点でセットアップを終了したい場合は、「Cancel」をクリックしてください。



ユーザーのマシンに、Microsoft Data Access Component の最新バージョンがインストール済みでない場合は、この時点でセットアップするようにプロンプトが出されます。

20. 「**Setup Complete**」ダイアログ・ボックスが表示されます。再始動を促すプロンプトが表示された場合は、「**No**」を選択してください。「**Finish**」を、クリックします。



**注:** 次に進む前に、すべての **Tivoli Business Systems Manager** サービスが「**停止**」していることを確認してください。バージョン番号は、build ごとに異なっています。

21. **SQL** サーバーの **NT Service** のみを始動します。
22. `./<install_dir>/SQL/DetachDatabases.sql` をユーザーのデータベース・サーバーに適用させます。  
**注:** \*.LDF ファイルは、この手順の後半で `AttachDatabases.sql` を実行するまでユーザーのドライブに入ったままになっています。
23. `DBDevices_V2.1.4.X.exe` を以下のディレクトリーにコピーします。

**D:\MSSQL\data**

24. データベース・デバイスを **D:\MSSQL7\Data/** サブディレクトリーに展開します。これらがデータベース・デバイスであることに注意してください。これらのデバイスは、データベース・デバイスを作成することなく、サーバーに接続することができます。`DB_Devices_V2.1.4.X.exe` は、ZIP 形式の自己解凍ファイルです。ユーザーは、ターゲット・ディレクトリーに移動して、実行可能ファイルを実行することによって、これらのファイルを解凍することができます。

D:\MSSQL7\Data>E:\DBDevices\DBDevices\_V2.1.4.X.exe

PKSFEX(R) Version 2.50 FAST! Self Extract Utility for Windows 95/NT 4-15-1998  
Copyright 1989-1998 PKWARE Inc. All Rights Reserved. Registered Version  
PKZIP Reg. U.S. Pat. and Tm. Off.

Extracting files from .ZIP: E:\DBDevices\DBDevices\_V2.1.4.10.exe

Inflating: ASIRuleSvc\_Data.mdf  
Inflating: WebServer\_Data.mdf  
Inflating: Meta\_Data.mdf  
Inflating: ObjectEvents\_Data.mdf  
Inflating: ObjectQueues\_Data.mdf  
Inflating: Object\_Data.mdf  
Inflating: msbdbdata.mdf

25. ./<install\_dir>/SQL/AttachDatabases.sql のコピーを編集し、必要に応じて以下を変更します。
  - SQL Server 7.0 インストール・ディレクトリー (D:\MSSQL7\ がデフォルト)。
  - ユーザーのデータベース・マシンのホスト名 (SQL コードの XXXX と置き換える)
  - ユーザーの伝搬エージェント・マシンのホスト名 (SQL コードの YYYY と置き換える)
  - ユーザーの Web サーバー・マシンのホスト名 (SQL コードの ZZZZ と置き換える)
26. 編集後の ./<install\_dir>/SQL/AttachDatabases.sql をユーザーのデータベース・サーバーに適用させます。この手順によって、.LDF ファイルは (存在していれば)、新規のデータベースが付加される前に削除される点に注意してください。
27. ./<install\_dir>/SQL/SchemaTypes.sql を master、model、および tempdb の各データベースに適用させます。
28. ./<install\_dir>/SQL/MasterDBChanges.sql をユーザーのデータベース・サーバーに適用させます。
29. ./<install\_dir>/SQL/SchemaMessages.sql をユーザーのデータベース・サーバーに適用させます。
30. コンピューターを再始動してください。

## データベース・セットアップ・パラメーターのカスタマイズ

Tivoli Business Systems Manager データベースの構成に使用される、テーブルの内容のデフォルトは以下のとおりです。

- デフォルト・パス

名前	値
DevicePath	D:¥MSSQL¥DATA
SQLFilePath	C:¥TivoliManager¥sql

以下の4つのテーブルには、Tivoli Business Systems Manager 用データベースに必要なすべての情報が入っています。

- *asidbdefaults*            セットアップのデフォルト
  - *asidbnames*            これからインストールするデータベースの名前
  - *asidbdevices*          作成されるデバイスの名前およびサイズ
  - *asidbfiles*             データベースの作成後にロードされた、すべての sql ファイルの名前
- すべてのテーブルは、ほとんどのインストール作業で使用できるデフォルト値で作成されています。

### デフォルト設定のカスタマイズ

- すべてのバックアップ・デバイス・パスの変更  
update asidbdefaults set value = 'path for backup devices' where name = 'BackupPath'
- すべてのデータベース・デバイス・パスの変更  
update asidbdefaults set value = 'path for database devices' where name = 'DevicePath'
- すべての SQL ファイル・パスの変更  
update asidbdefaults set value = 'path for SQL files' where name = 'SQLFilePath'

### 個々のデータベース・デバイスのカスタマイズ

- データベース・デバイス・パスの変更  
update asidbdevices set path = 'path for database devices' where name = 'database device name'
- データベース・デバイス・サイズの変更  
update asidbdevices set mb = 'size of database device in mb' where name = 'database device name'

## アプリケーション・サーバーのインストール

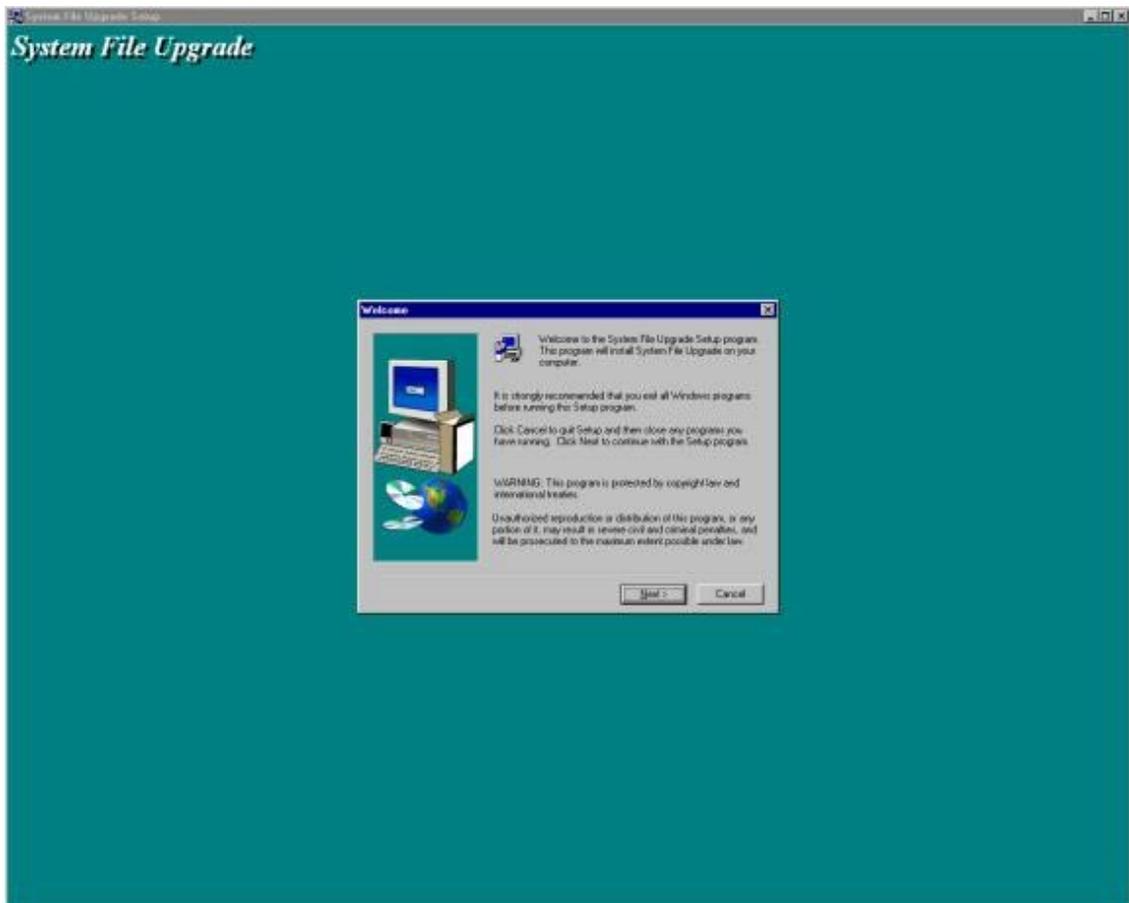
### インストール手順

**注:** すべての **Tivoli Business Systems Manager** と、**SQL Executive** および **MS SQL Server** を含む **SQL Server** サービスを停止してください。さらに、インストール処理を開始する前に、デスクトップ上の他のすべてのプログラムをクローズしてください。

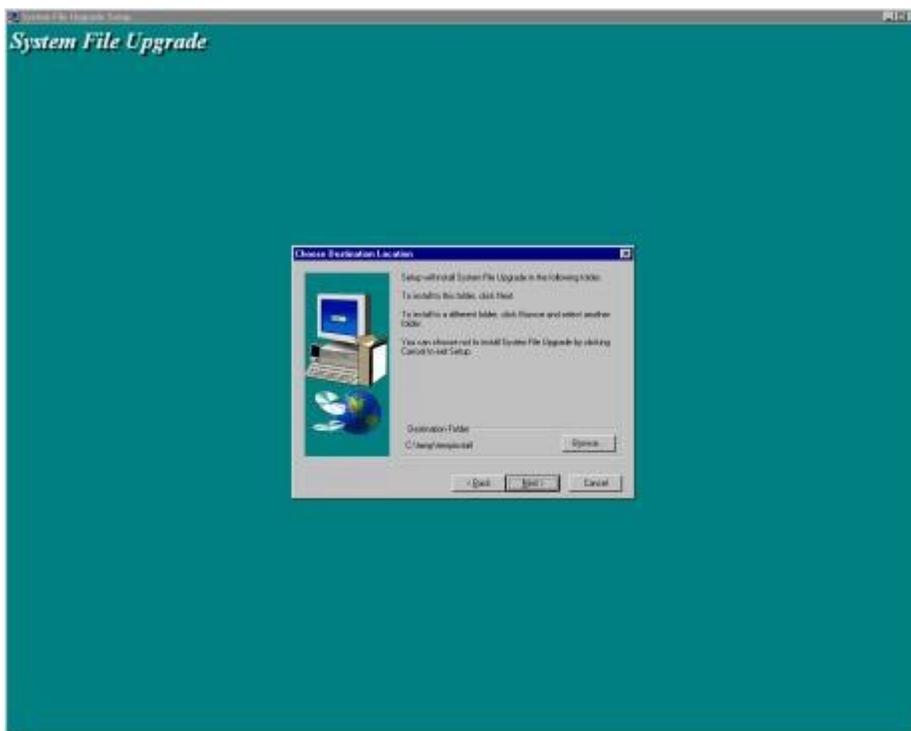
1. **Tivoli Business Systems Manager** インストール用 CD を挿入してください。
2. 「**Setup.exe**」アイコンをダブルクリックします。



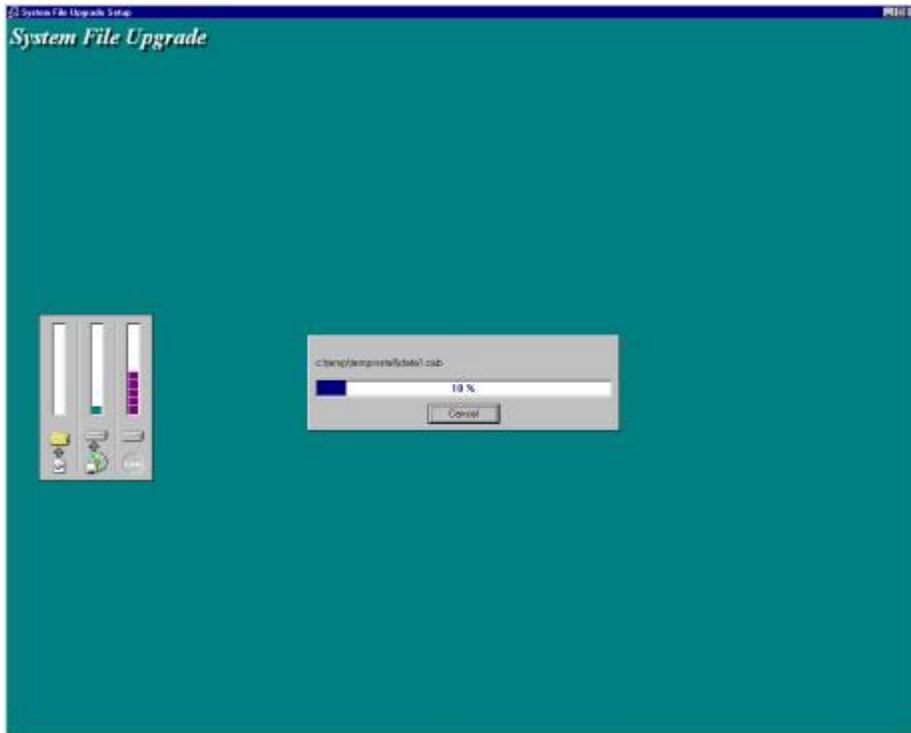
3. 「System File Upgrade」ダイアログが表示されます。「Next>」をクリックします。



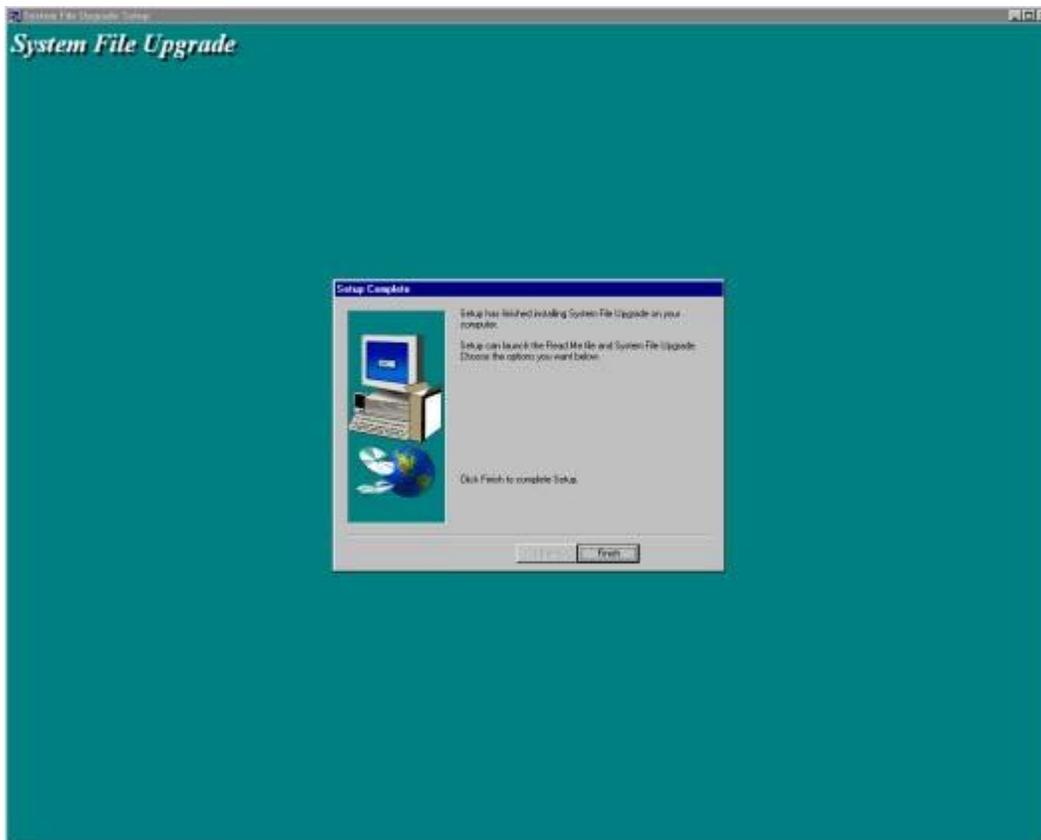
4. 「**Choose Destination Location**」ダイアログが表示されます。これらのファイルを、一時的なディレクトリーに入れることをお勧めします。「**Browse**」ボタンを選んで、ユーザーのディレクトリーを選択します。適切なディレクトリーを選択してから、「**Next>**」をクリックします。



5. 「System File Upgrade」処理が進行します。



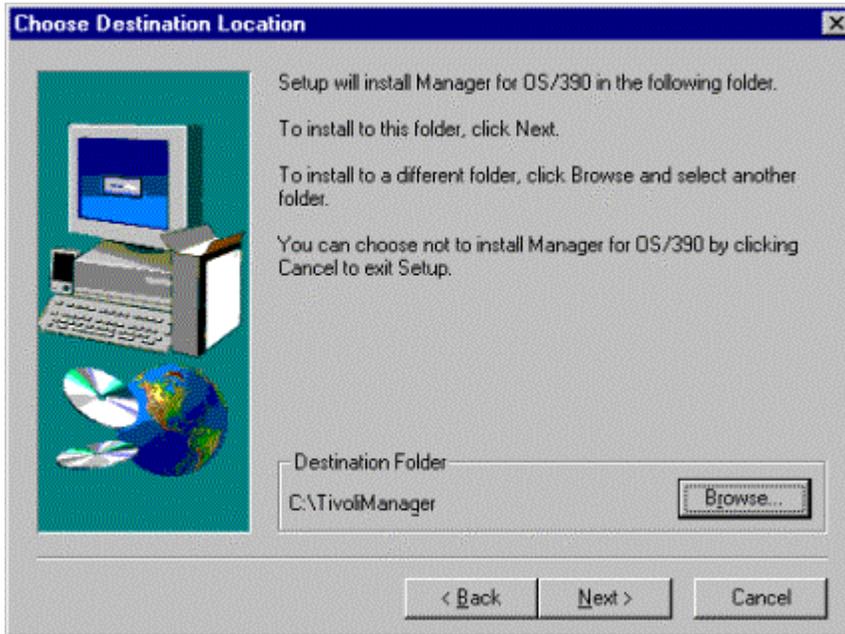
6. 「System File Upgrade」が完了しました。「**Finish**」をクリックします。



7. 「Welcome to Tivoli Business Systems Manager Setup」プログラムのダイアログが表示されます。このボックスには、インストールを停止する方法を含む、セットアップ・プログラムの基本情報が入っています。「Next」をクリックします。



8. 「**Choose Destination Location**」ダイアログが表示されます。Tivoli Business Systems Manager アプリケーションのインストール先となるディレクトリーを選択します。選択されたパスは、「**Destination Folder**」に表示されます。適切なパスを選択してから、「**Next >**」をクリックします。



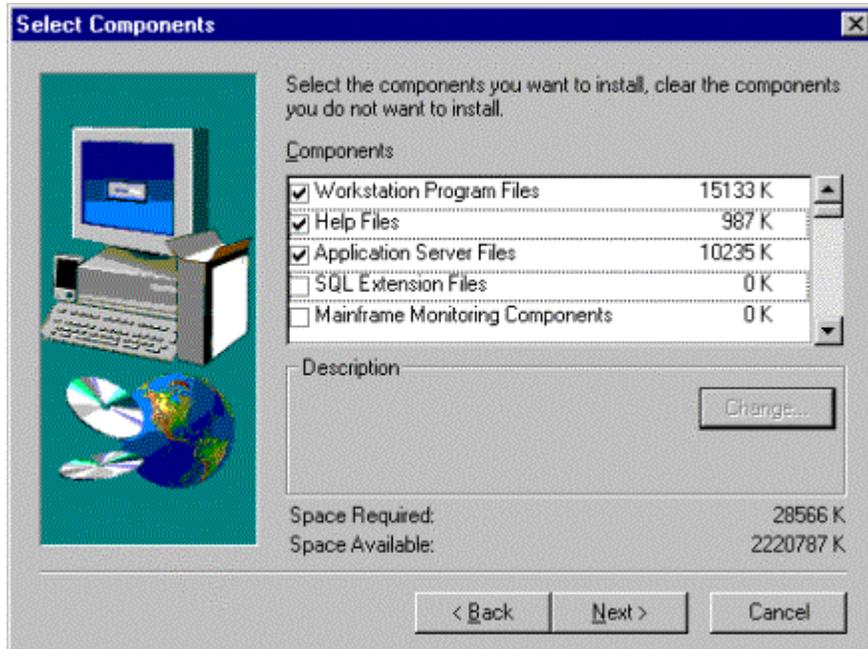
9. 「**Setup Type**」ダイアログ・ボックスが表示されます。「**Custom**」を選択してください。「**Next >**」をクリックします。



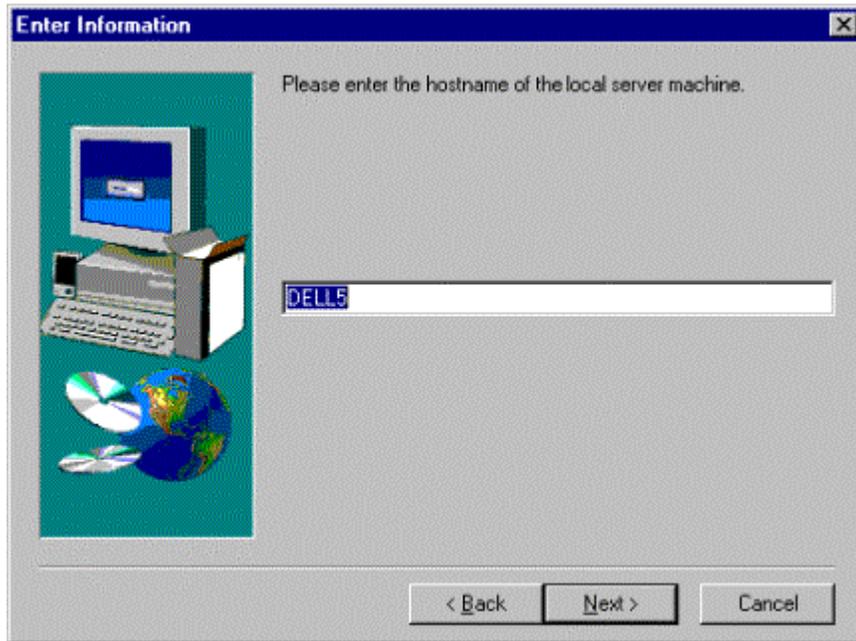
10. 「**Select Components**」ダイアログが表示されます。アプリケーション・サーバーのインストールに必要なコンポーネントを選択します。必要なコンポーネントには、以下のものがあります。

- **Workstation Program Files**
- **Help Files**
- **Application Server Files**
- **Tools and Utilities**

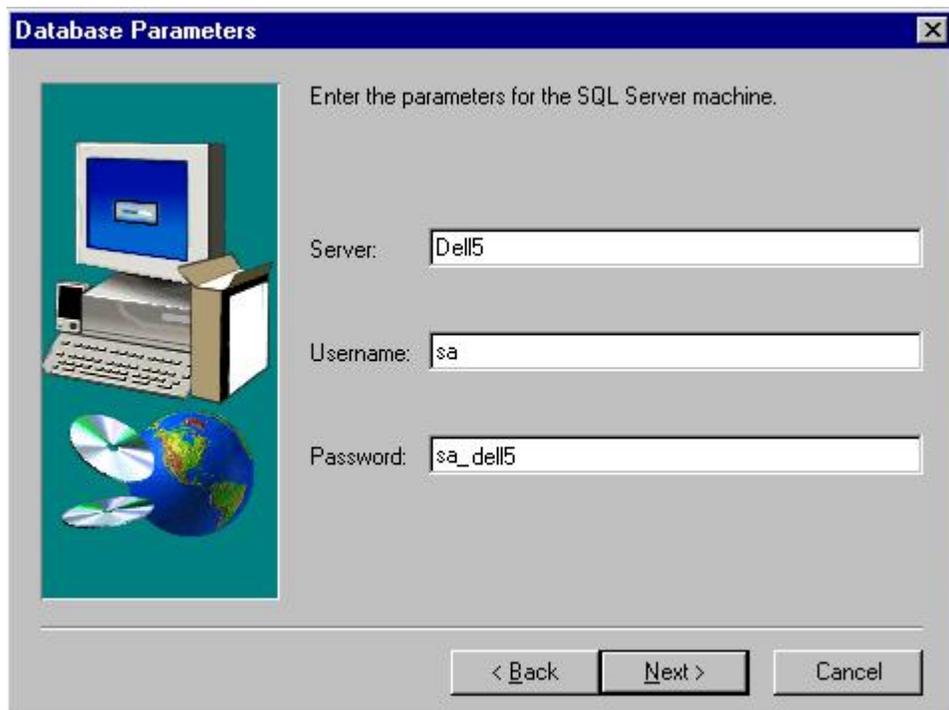
「**Next >**」をクリックします。



11. ローカル・サーバー・マシンのホスト名を入力してください。「**N**ext>」をクリックします。



12. SQL マシンのホスト名、SQL アドミニストレーターのユーザー名および SQL アドミニストレーターのパスワードを入力してください。「**Next >**」をクリックします。



**Database Parameters**

Enter the parameters for the SQL Server machine.

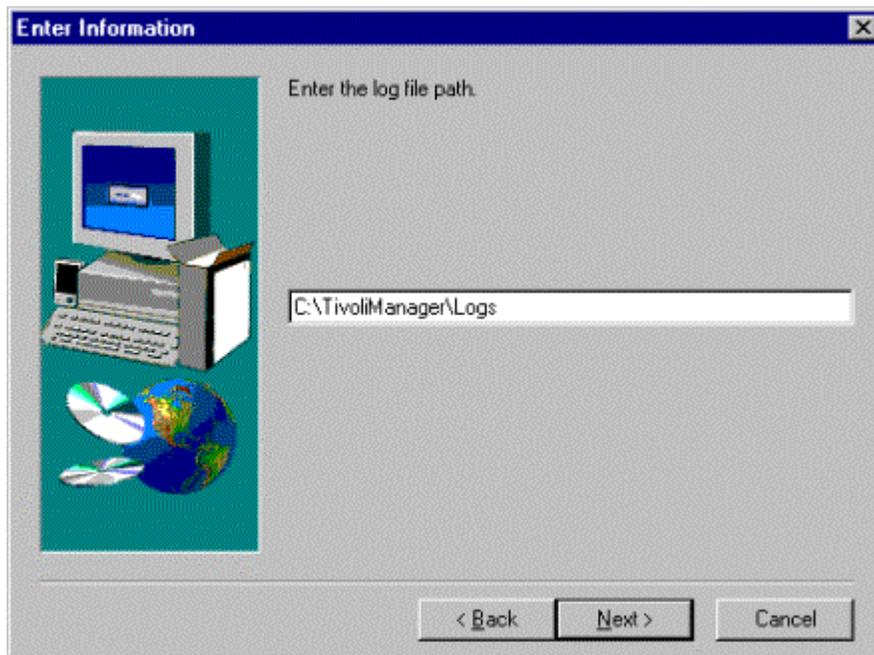
Server: Dell5

Username: sa

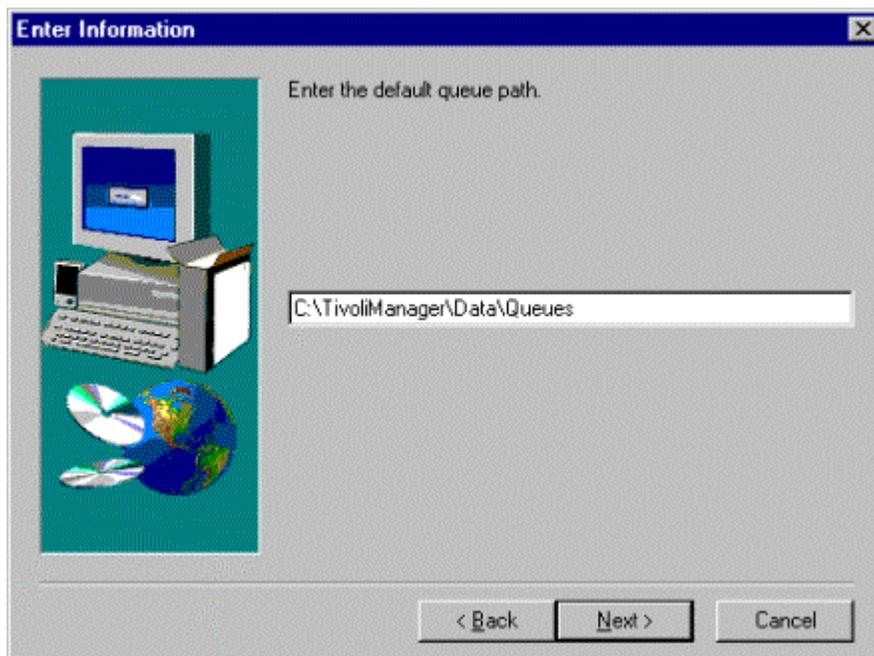
Password: sa\_dell5

< Back   Next >   Cancel

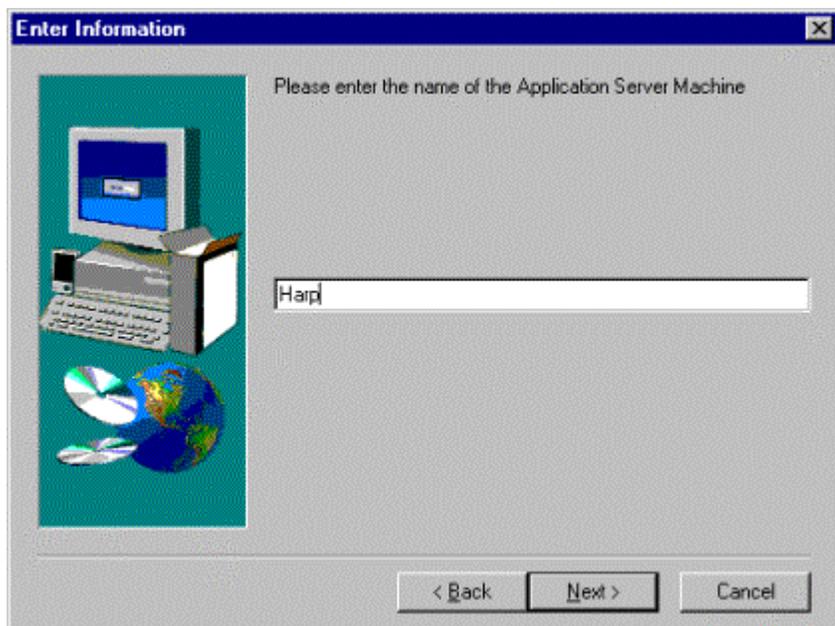
13. ログ・ファイル・パスを入力してください。「Next >」をクリックします。



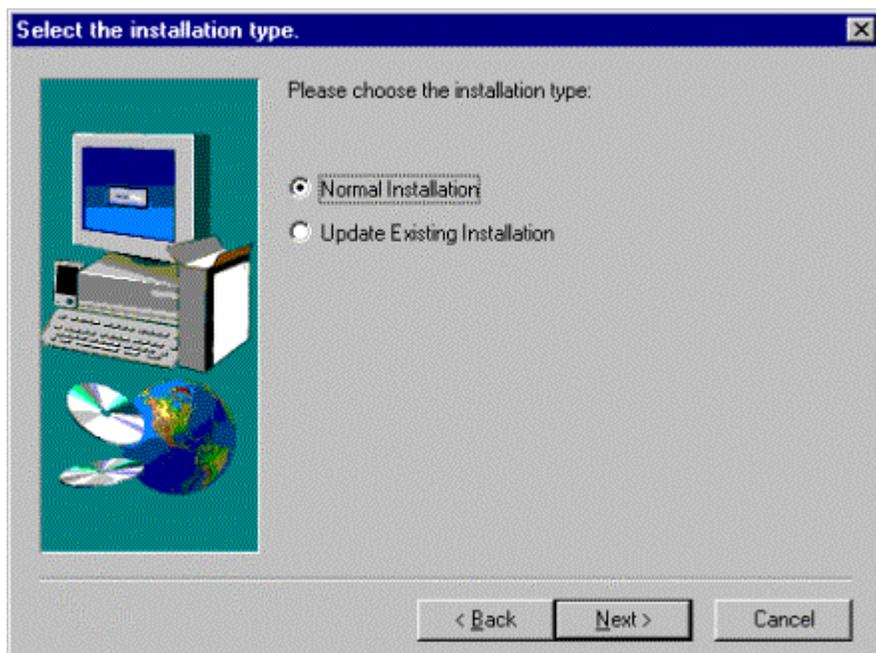
14. デフォルト・キュー・パスを入力してください。「Next >」をクリックしてください。



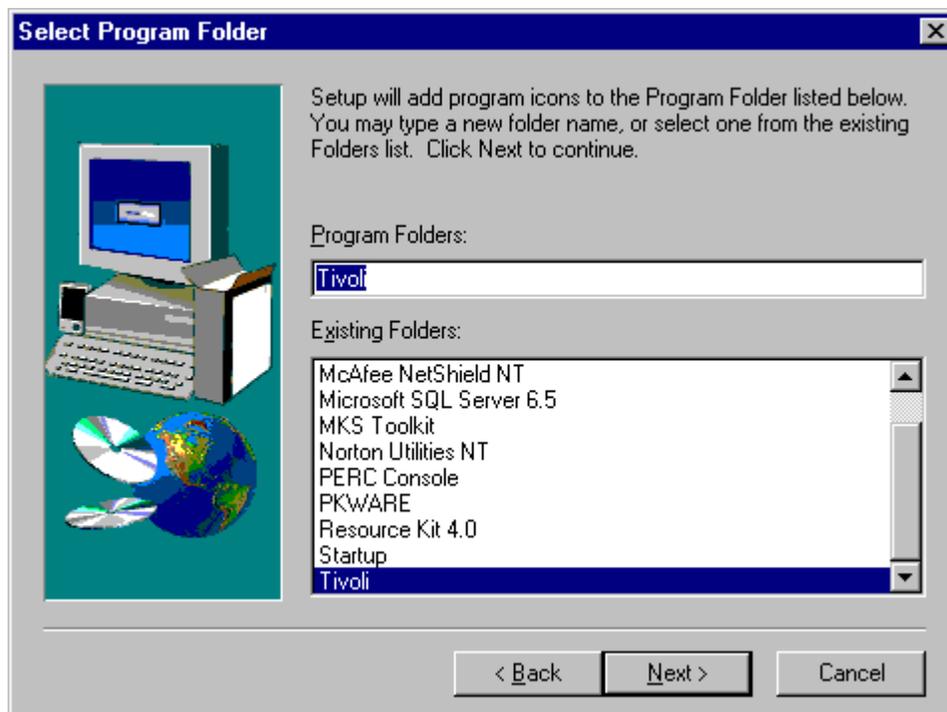
15. アプリケーション・サーバー・マシンの名前を入力してください。「Next>」をクリックします。



16. インストール・タイプは、「Normal Installation」を選択します。(注: 「Update Existing Installation」は選択しないでください。)「Next>」をクリックします。



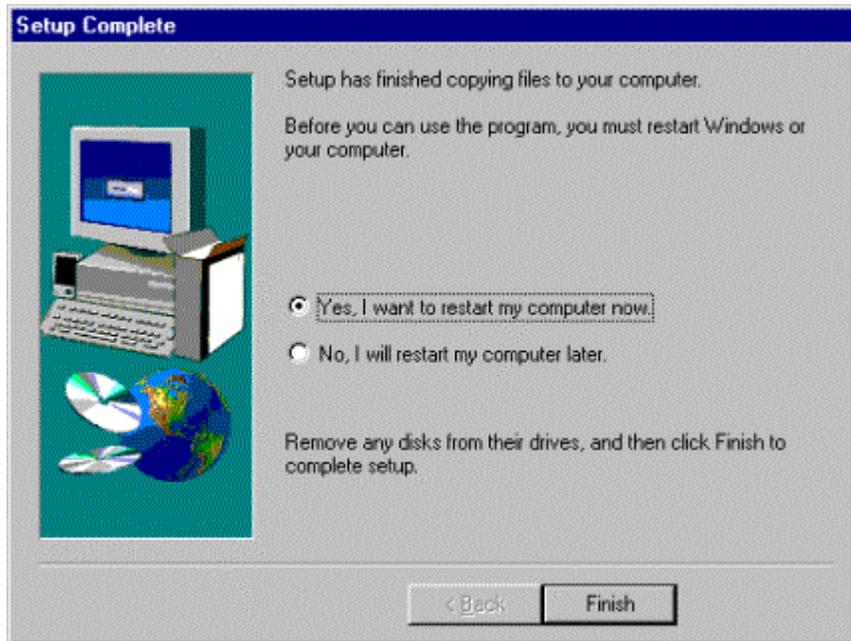
17. 「**Select Program Folder**」ダイアログ・ボックスが表示されます。すべてのアプリケーション・ファイルを入れるための「**Program Folder**」を選択します。「**Next >**」をクリックします。



18. インストール処理が進行します。この時点でセットアップを終了したい場合は、「**Cancel**」をクリックしてください。

ユーザーのマシンに、*Microsoft Data Access Component* の最新バージョンがインストール済みでない場合は、この時点でセットアップするようにプロンプトが出されます。

19. 「**Setup Complete**」 ダイアログ・ボックスが表示されます。



20. 「**Finish**」 をクリックします。

21. マシンを再始動するようプロンプトが出されます。「**Yes**」 をクリックします。

## 伝搬エージェント・サーバーのインストール

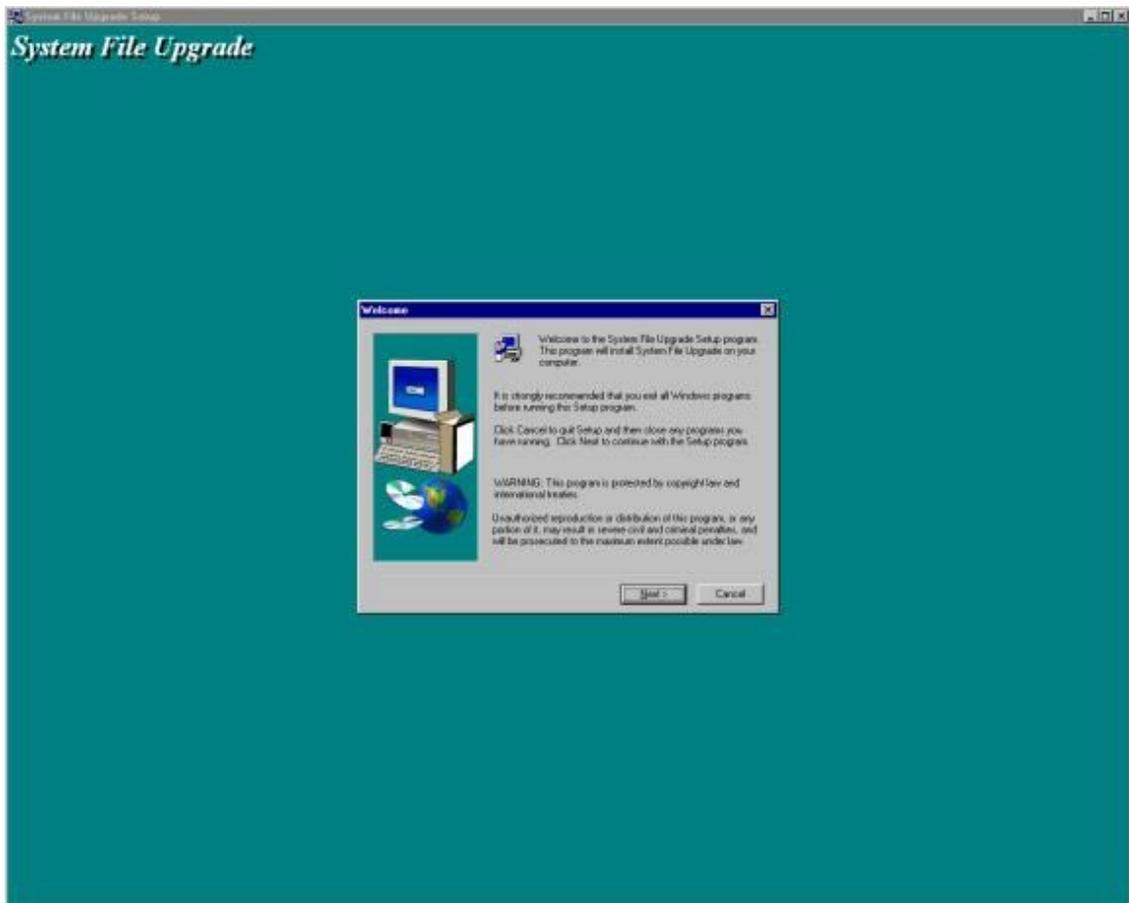
### インストール手順

**注:** すべての Tivoli Business Systems Manager と、SQL Executive および MS SQL Server を含む SQL Server サービスを停止してください。さらに、インストール処理を開始する前に、デスクトップ上の他のすべてのプログラムをクローズしてください。

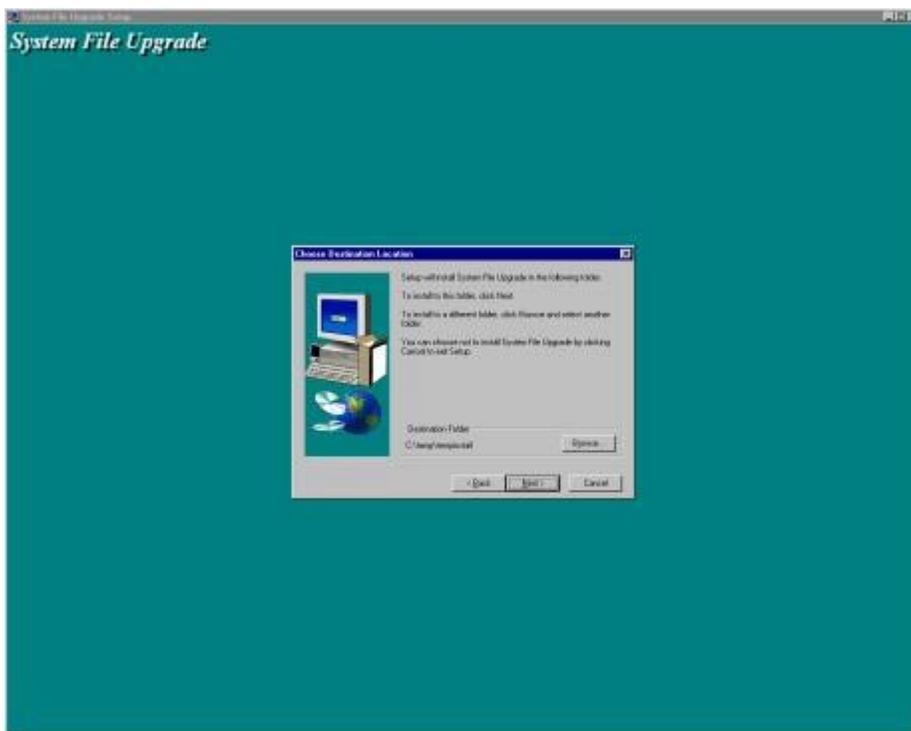
1. Tivoli Business Systems Manager インストール用 CD を挿入してください。
2. 「Setup.exe」アイコンをダブルクリックします。



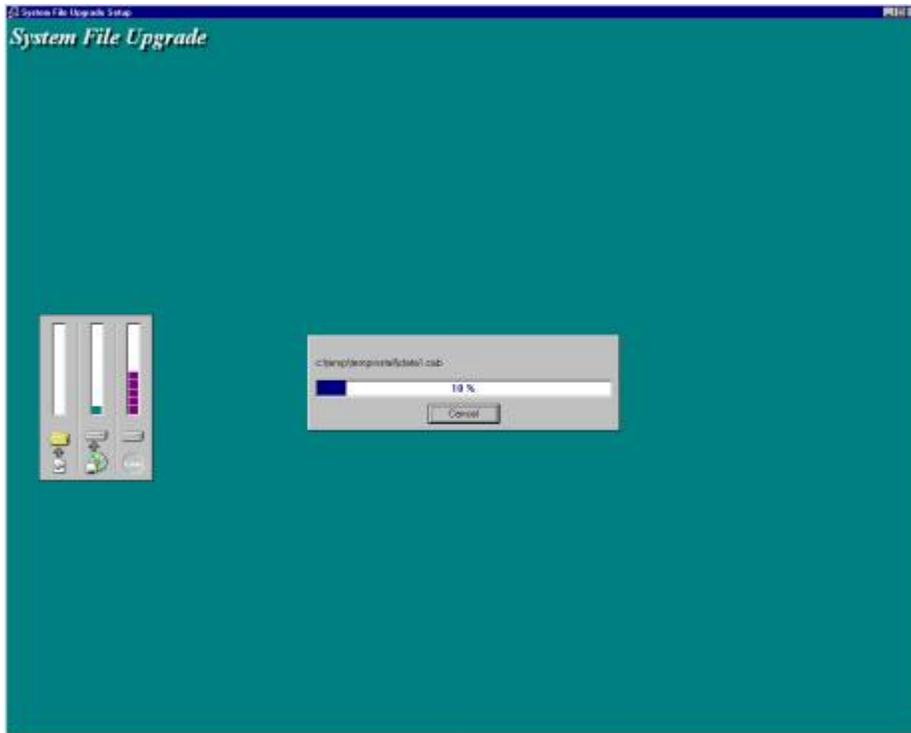
3. 「System File Upgrade」ダイアログが表示されます。「Next>」をクリックします。



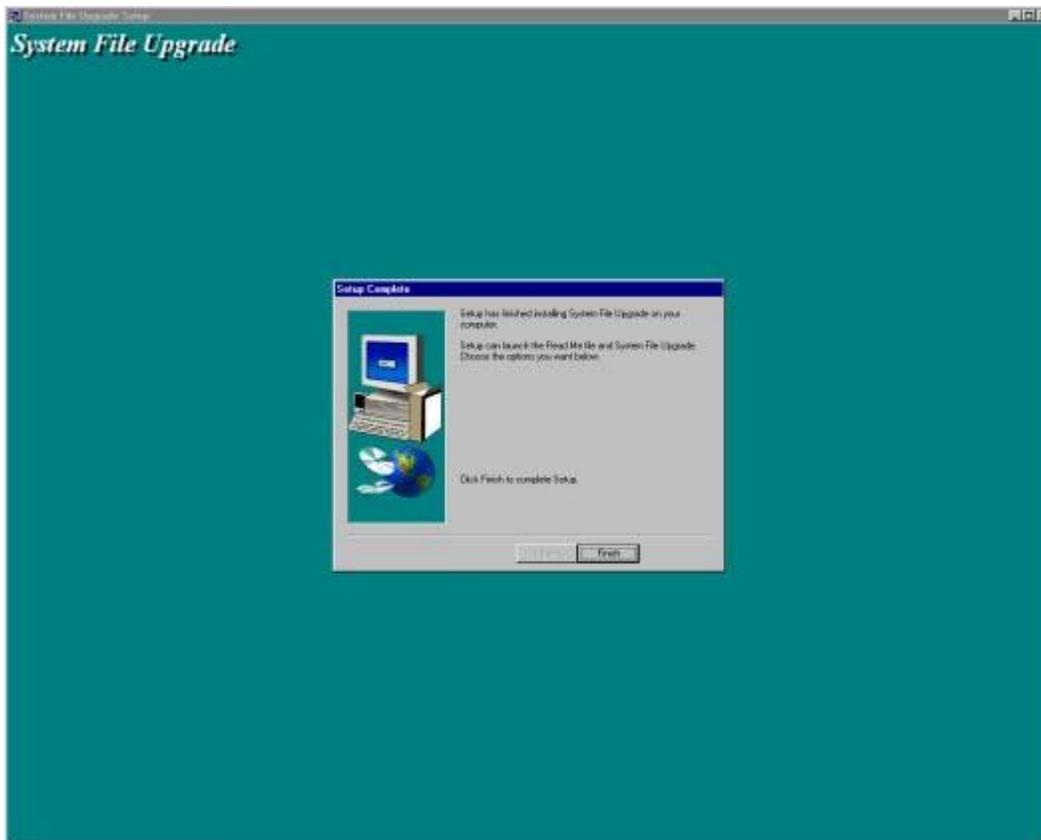
4. 「**Choose Destination Location**」ダイアログが表示されます。これらのファイルを、一時的なディレクトリに入れることをお勧めします。「**Browse**」ボタンを選んで、ユーザーのディレクトリを選択します。適切なディレクトリを選択してから、「**Next>**」をクリックします。



5. 「System File Upgrade」処理が進行します。



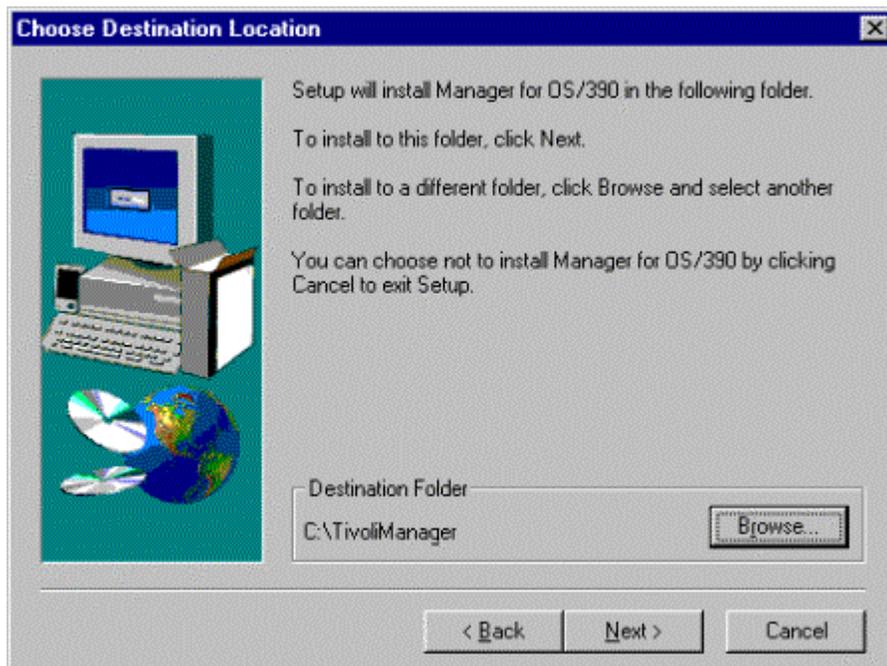
6. 「System File Upgrade」が完了しました。「**Finish**」をクリックします。



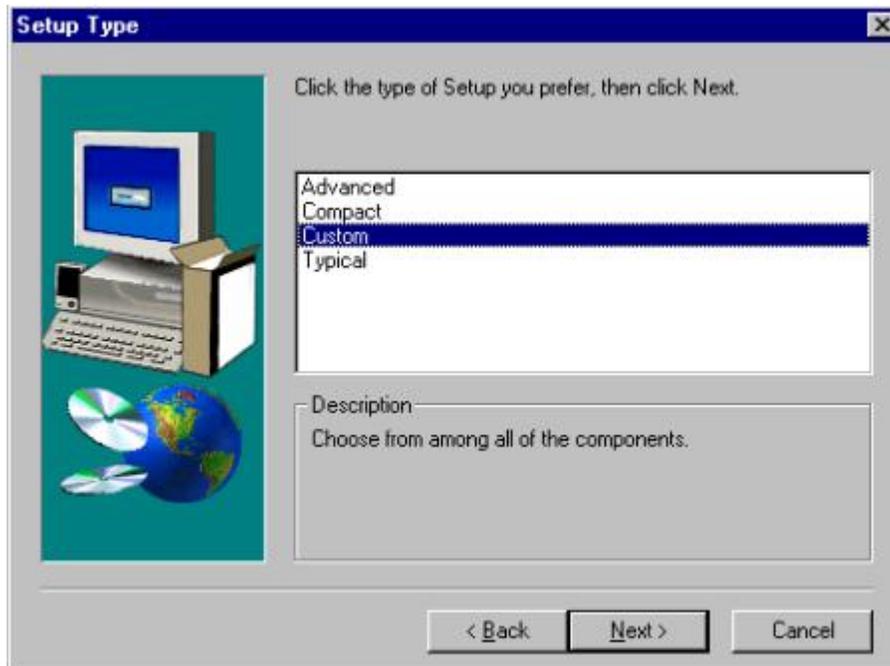
7. 「Welcome to Tivoli Business Systems Manager Setup」プログラムのダイアログ・ボックスが表示されます。このボックスには、インストールを停止する方法を含む、セットアップ・プログラムの基本情報が入っています。「Next >」をクリックします。



8. 「**Choose Destination Location**」ダイアログ・ボックスが表示されます。Tivoli Business Systems Manager アプリケーションのインストール先となるディレクトリーを選択します。選択されたパスは、「**Destination Folder**」に表示されます。適切なパスを選択してから、「**Next >**」をクリックします。



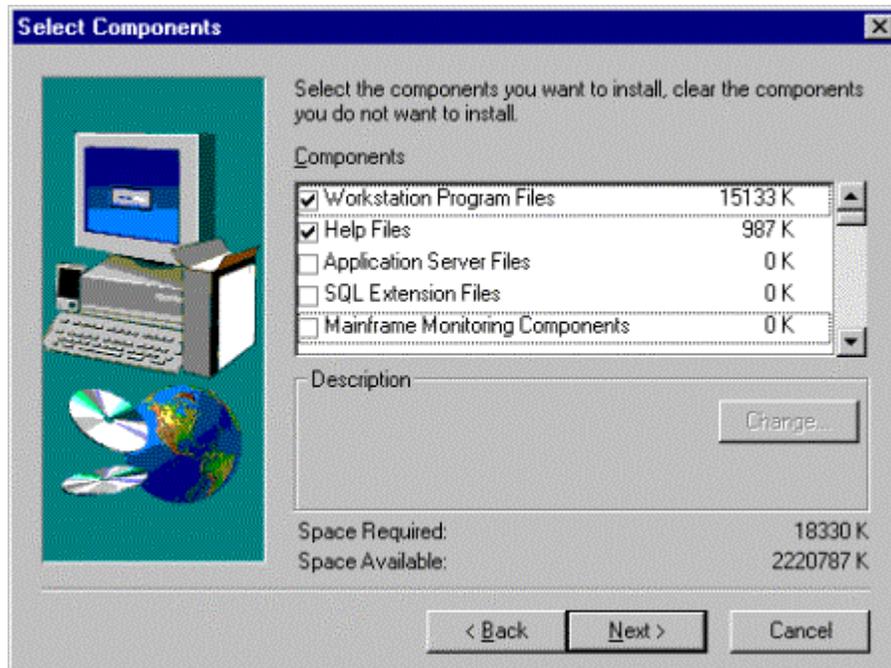
9. 「**Setup Type**」ダイアログ・ボックスが表示されます。「**C**ustom」を選択してください。「**N**ext >」をクリックします。



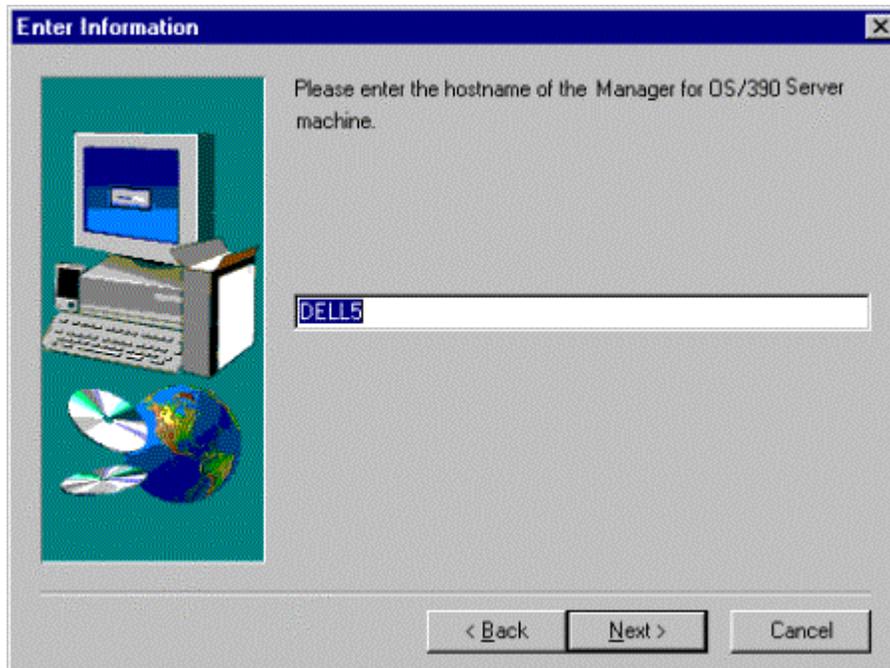
10. 「**Select Components**」ダイアログが表示されます。**伝搬サーバー**のインストールに必要なコンポーネントを選択してください。必要なコンポーネントには、以下のものがあります。

- **Workstation Program Files**
- **Help Files**
- **Tools and Utilities**
- **Propagation Agent Components**

「**Next >**」をクリックします。



11. ローカル・サーバー・マシンの**ホスト名**を入力してください。この値はすでに取り込まれているはずです。「**N**ext>」をクリックします。



12. SQL サーバー/マシンのホスト名、SQL アドミネストレーターのユーザー名および SQL アドミネストレーターのパスワードを入力してください。「**Next >**」をクリックします。

**Database Parameters** [X]

Enter the parameters for the SQL Server machine.

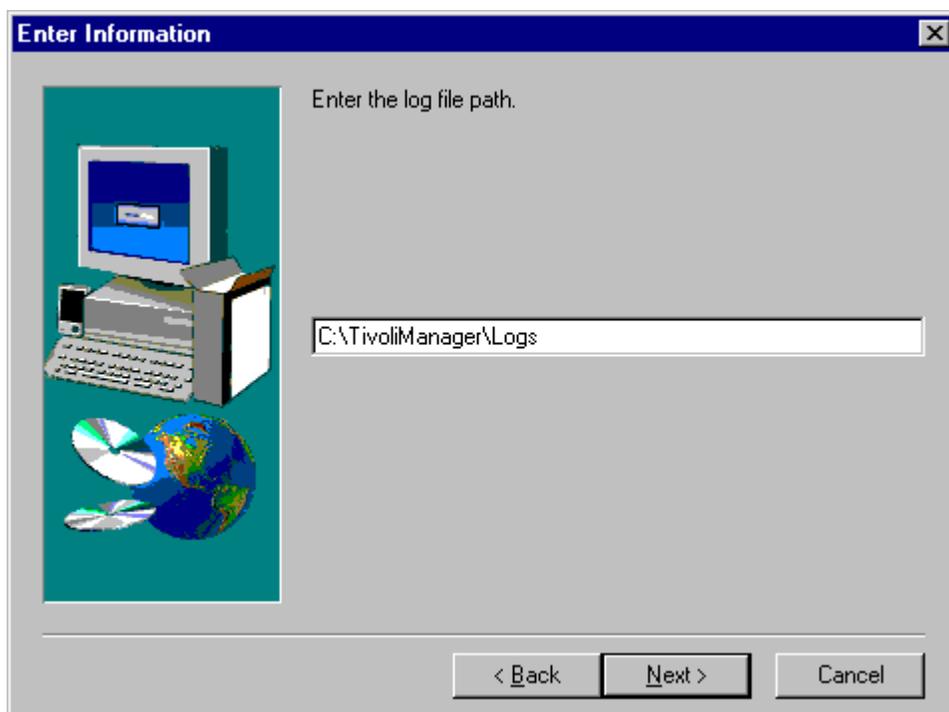
Server:

Username:

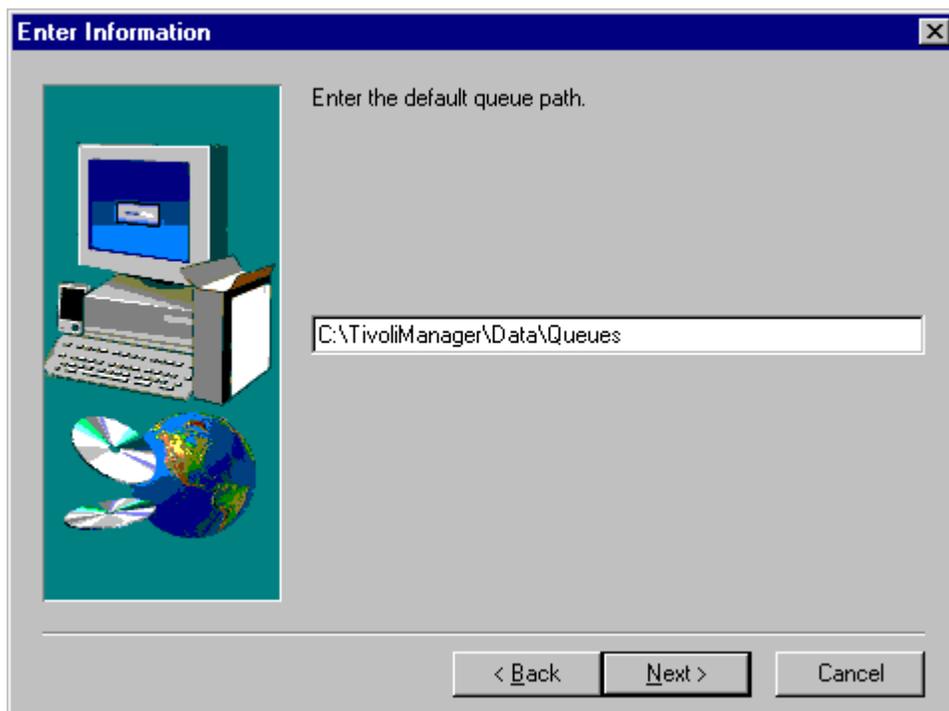
Password:

< Back    Next >    Cancel

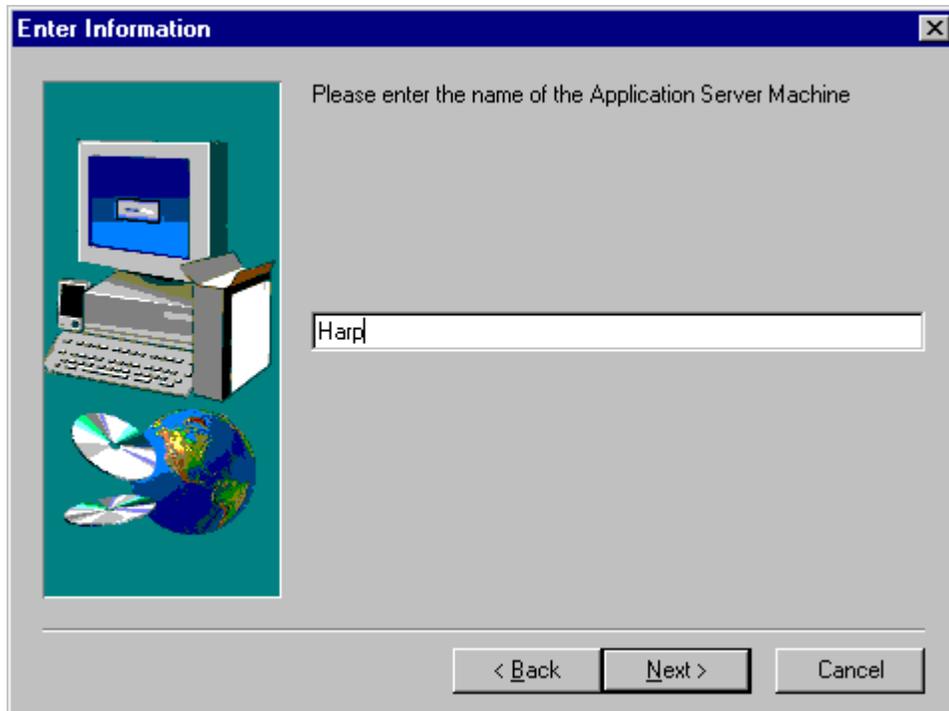
13. ログ・ファイル・パスを入力してください。「**N**ext >」をクリックします。



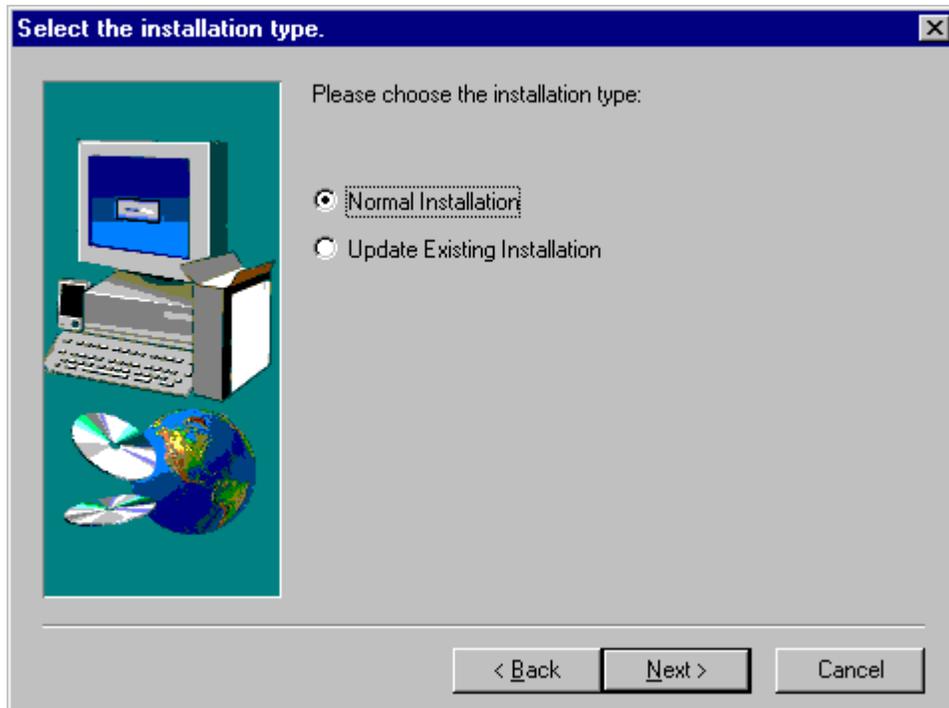
14. デフォルト・キュー・パスを入力してください。「**N**ext >」をクリックします。



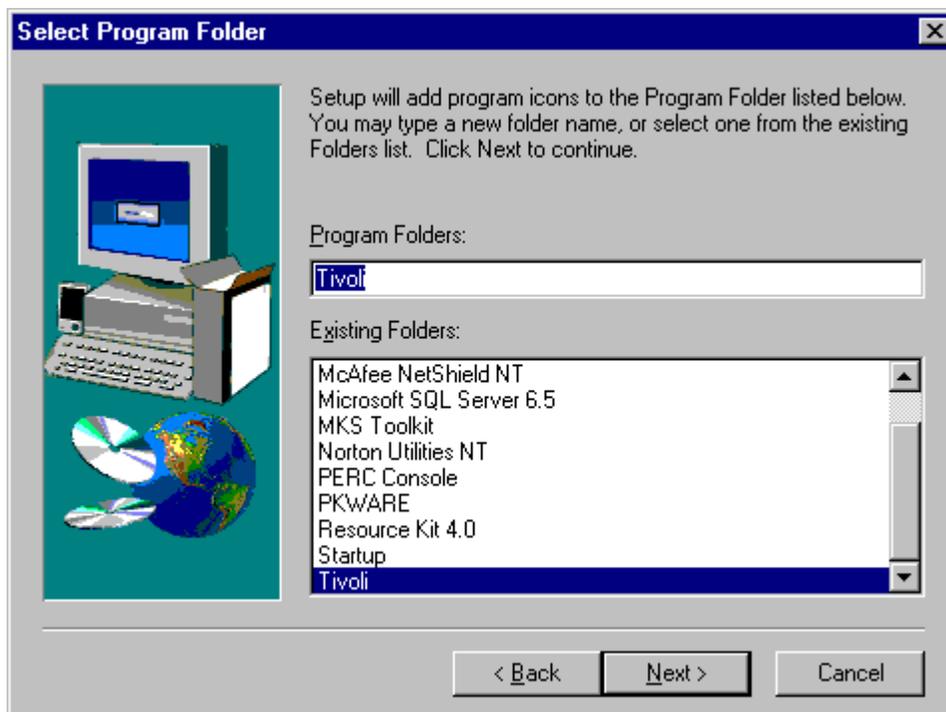
15. アプリケーション・サーバー・マシンの名前を入力してください。「**N**ext >」をクリックします。



16. インストール・タイプは、「**Normal Installation**」を選択します。(注:「**Update Existing Installation**」は選択しないでください。)「**Next >**」をクリックします。



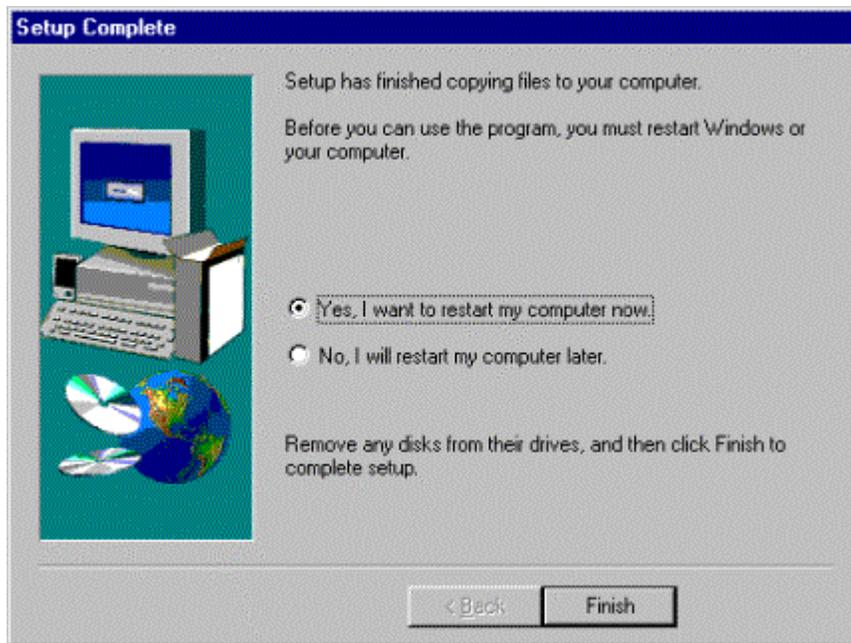
17. 「**Select Program Folder**」ダイアログ・ボックスが表示されます。すべてのアプリケーション・ファイルを入れるための「**Program Folder**」を選択します。「**Next >**」をクリックします。



18. インストール処理が進行します。この時点でセットアップを終了したい場合は、「**Cancel**」をクリックしてください。

ユーザーのマシンに、*Microsoft Data Access Component* の最新バージョンがインストール済みでない場合は、この時点でセットアップするようにプロンプトが出されます。

19. 「**Setup Complete**」 ダイアログ・ボックスが表示されます。



20. 「**Finish**」 をクリックします。
21. マシンを再始動するようにプロンプトが出されます。「**Yes**」 をクリックします。

## Event Handler

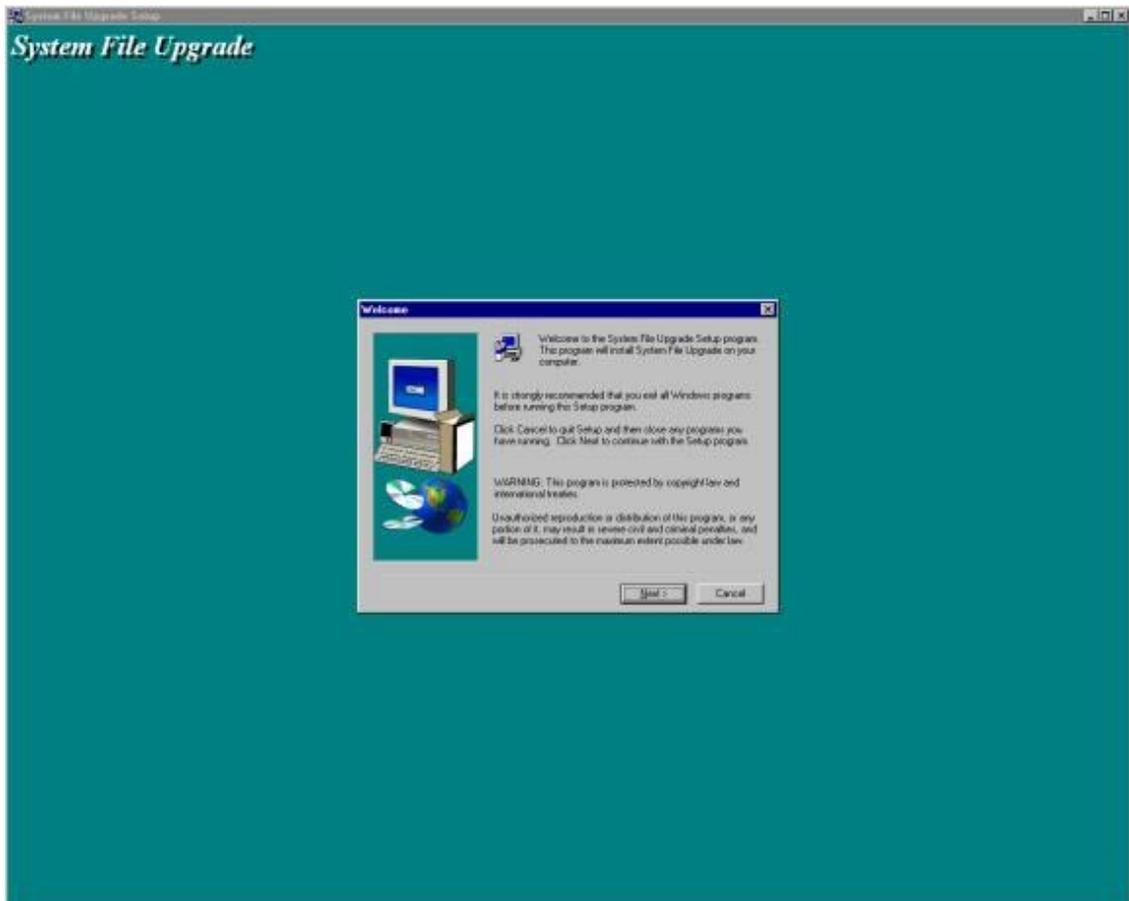
### インストール手順

注: すべての Tivoli Business Systems Manager と、SQL Executive および MS SQL Server を含む SQL Server サービスを停止してください。さらに、インストール処理を開始する前に、デスクトップ上の他のすべてのプログラムをクローズしてください。

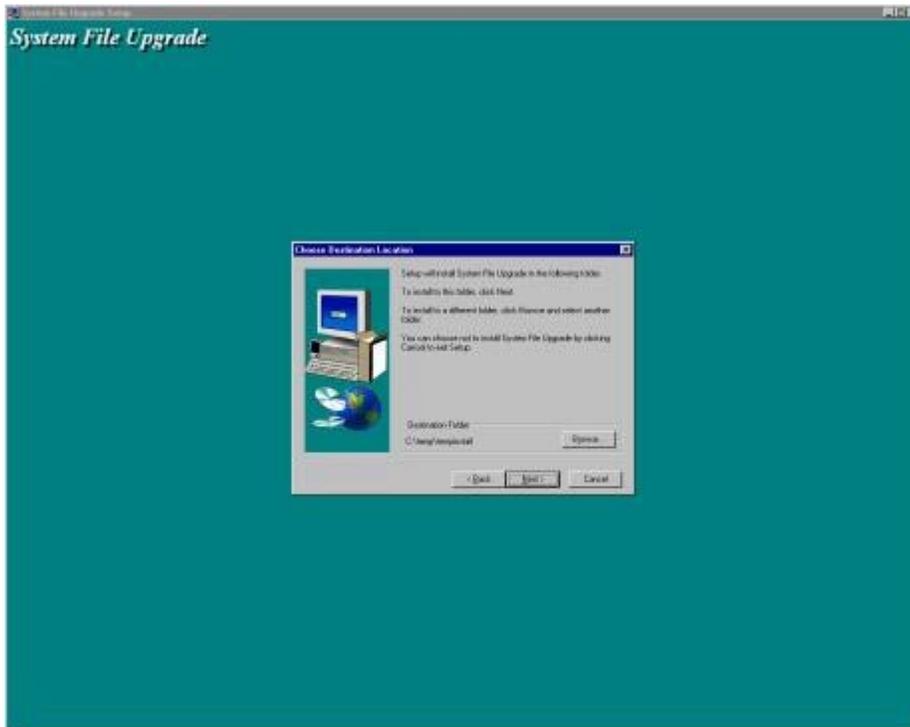
1. Tivoli Business Systems Manager インストール用 CD を挿入してください。
2. 「Setup.exe」アイコンをクリックします。



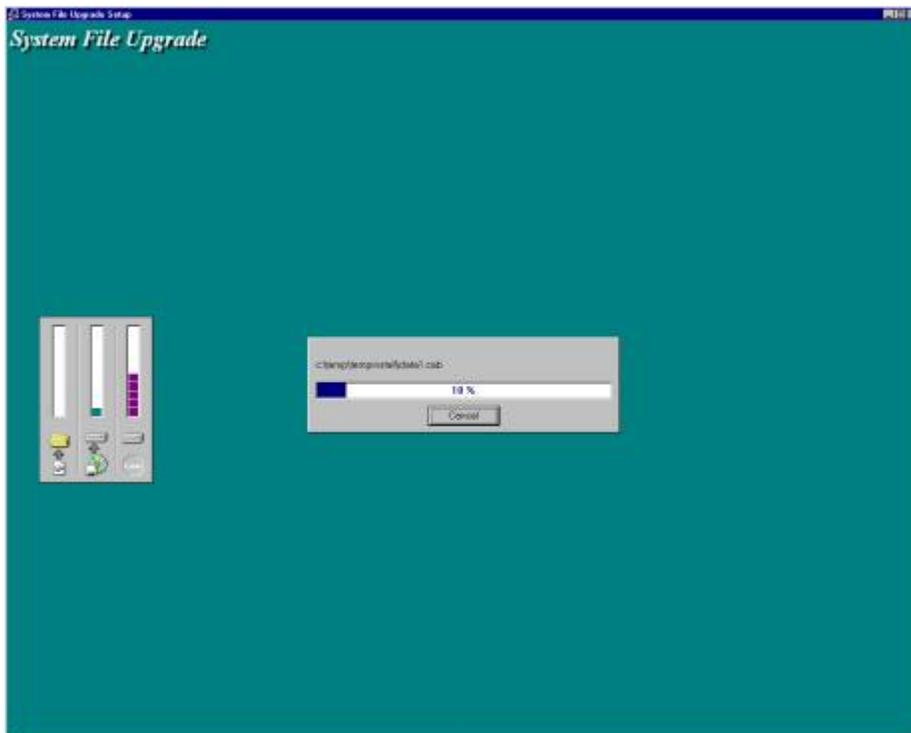
3. 「System File Upgrade」ダイアログが表示されます。「Next>」をクリックします。



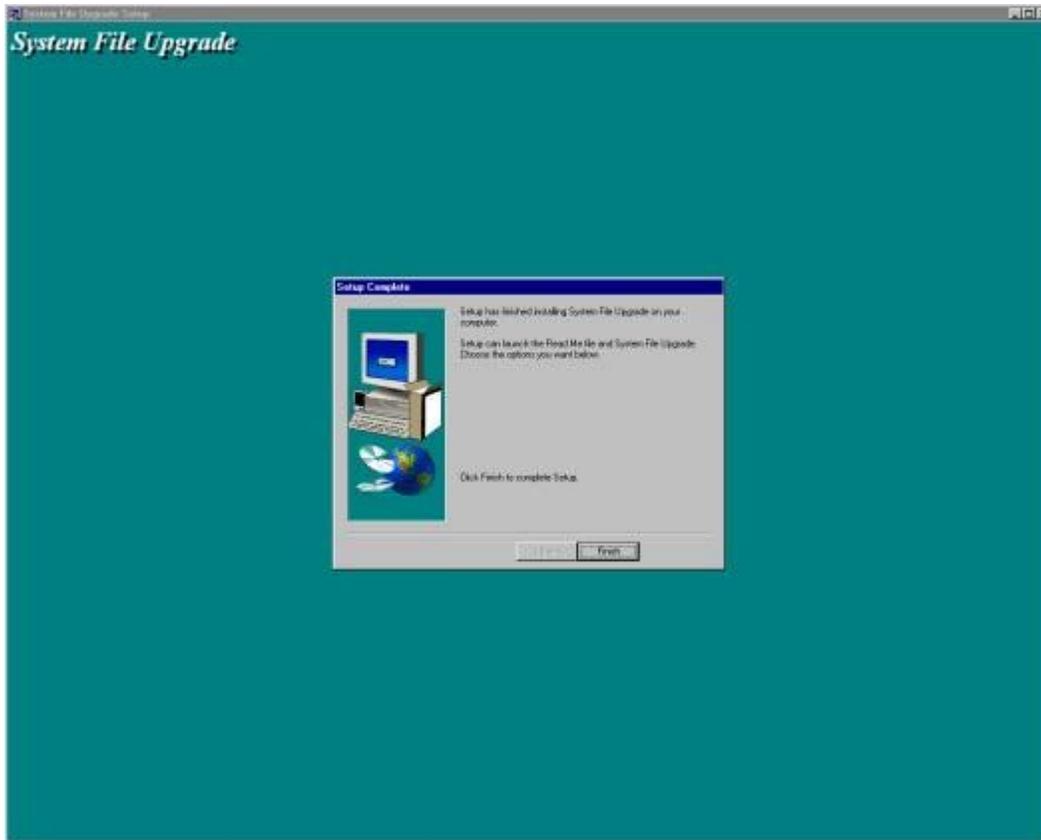
4. 「**Choose Destination Location**」ダイアログが表示されます。これらのファイルを、一時的なディレクトリーに入れることをお勧めします。「**Browse**」ボタンを選んで、ユーザーのディレクトリーを選択します。適切なディレクトリーを選択してから、「**Next>**」をクリックします。



5. 「System File Upgrade」処理が進行します。



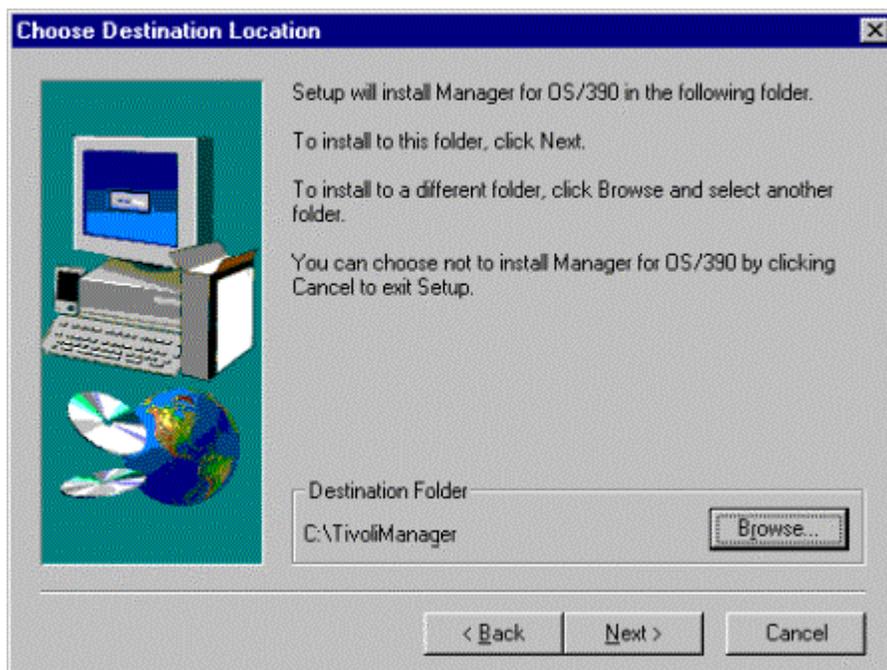
6. 「System File Upgrade」が完了しました。「**Finish**」をクリックします。



7. 「**Welcome to Tivoli Business Systems Manager Setup**」プログラムのダイアログ・ボックスが表示されます。このボックスには、インストールを停止する方法を含む、**セットアップ**・プログラムの基本情報が入っています。「**Next >**」をクリックします。



8. 「**Choose Destination Location**」ダイアログ・ボックスが表示されます。Tivoli Business Systems Manager アプリケーションのインストール先となるディレクトリーを選択します。選択されたパスは、「**Destination Folder**」に表示されます。適切なパスを選択してから、「**Next >**」をクリックします。



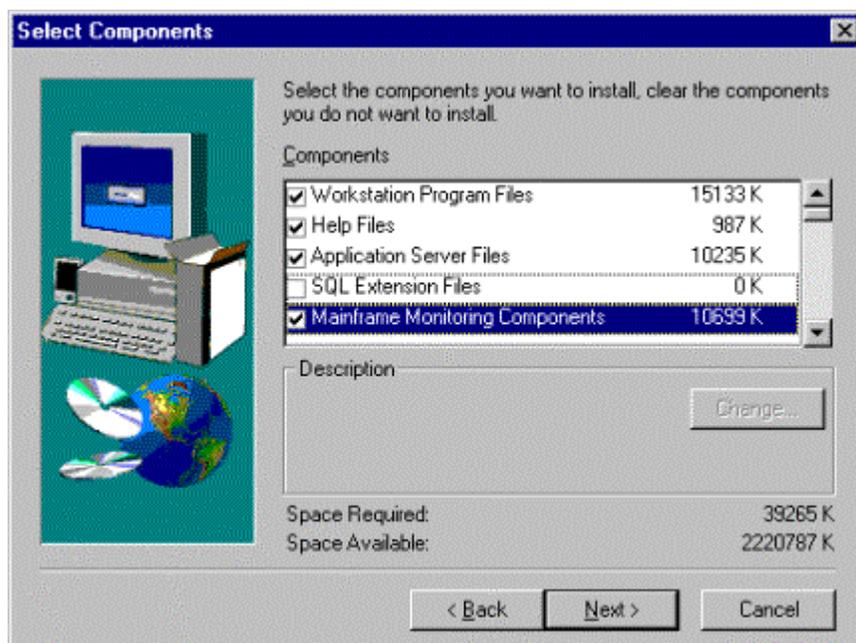
9. 「**Setup Type**」ダイアログ・ボックスが表示されます。「**C**ustom」を選択してください。「**N**ext >」をクリックします。



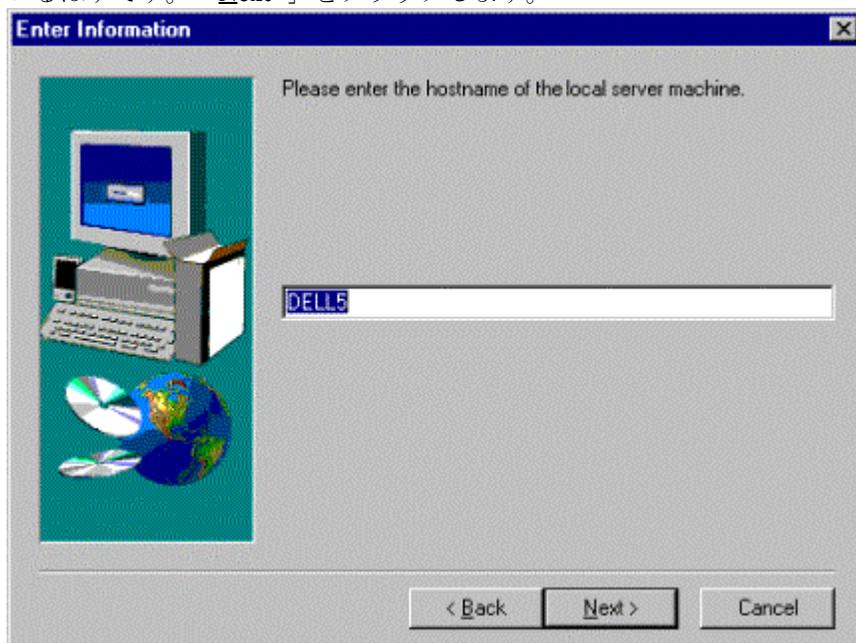
10. 「**Select Components**」ダイアログが表示されます。**Event Handler**のインストールに必要なコンポーネントを選択します。必要なコンポーネントには、以下のものがあります。

- **Workstation Program Files**
- **Help Files**
- **Mainframe Monitoring Components**
- **Tools and Utilities**

「**Next >**」をクリックします。



1. ローカル・サーバー・マシンの**ホスト名**を入力してください。この値はすでに取り込まれているはずですが、「**Next>**」をクリックします。



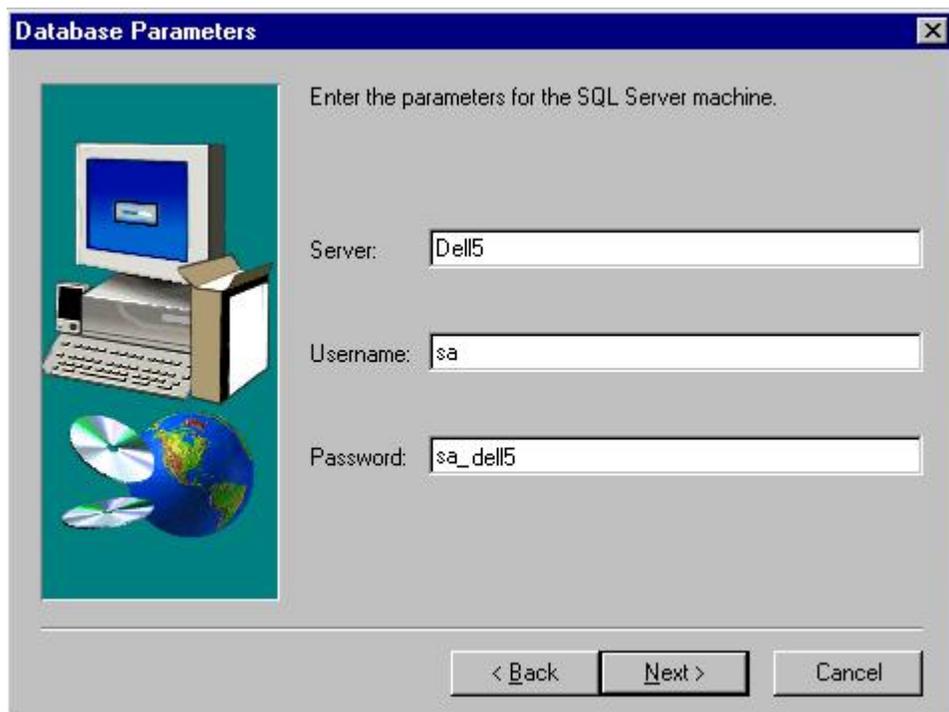
Enter Information

Please enter the hostname of the local server machine.

DELL5

< Back   Next >   Cancel

11. **SQL Server** マシンの**ホスト名**、SQL アドミニストレーターの**ユーザー名**および SQL アドミニストレーターの**パスワード**を入力してください。「**Next >**」をクリックします。



Database Parameters

Enter the parameters for the SQL Server machine.

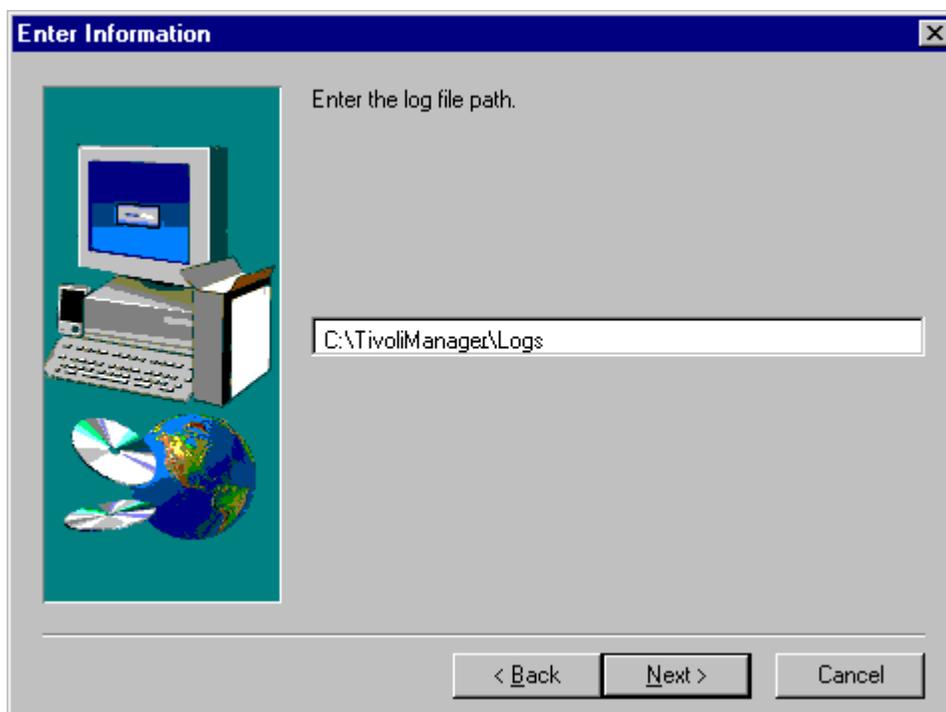
Server: Dell5

Username: sa

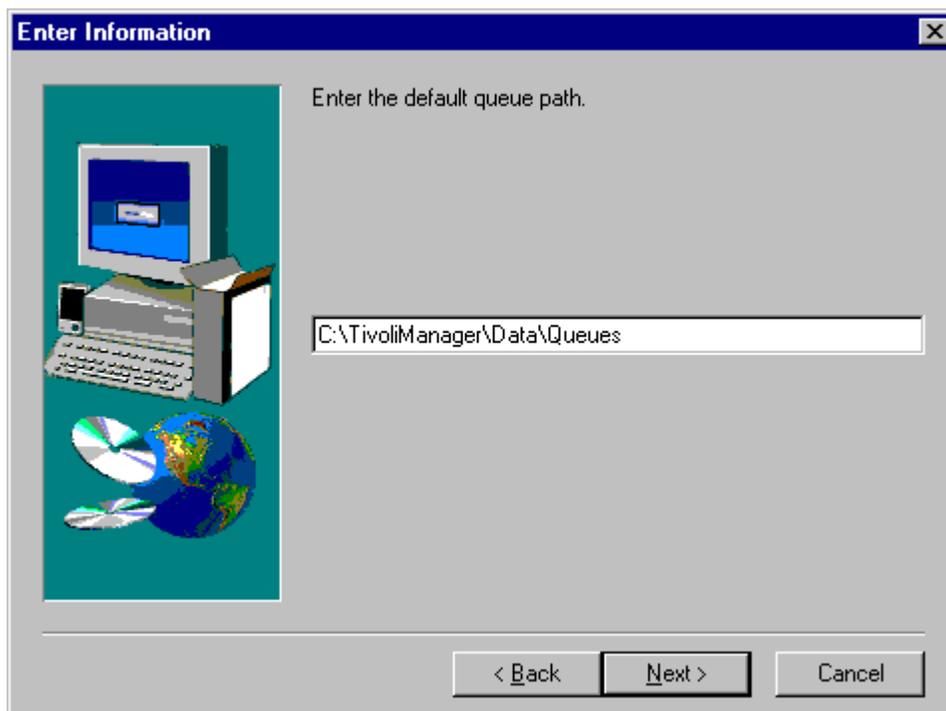
Password: sa\_dell5

< Back   Next >   Cancel

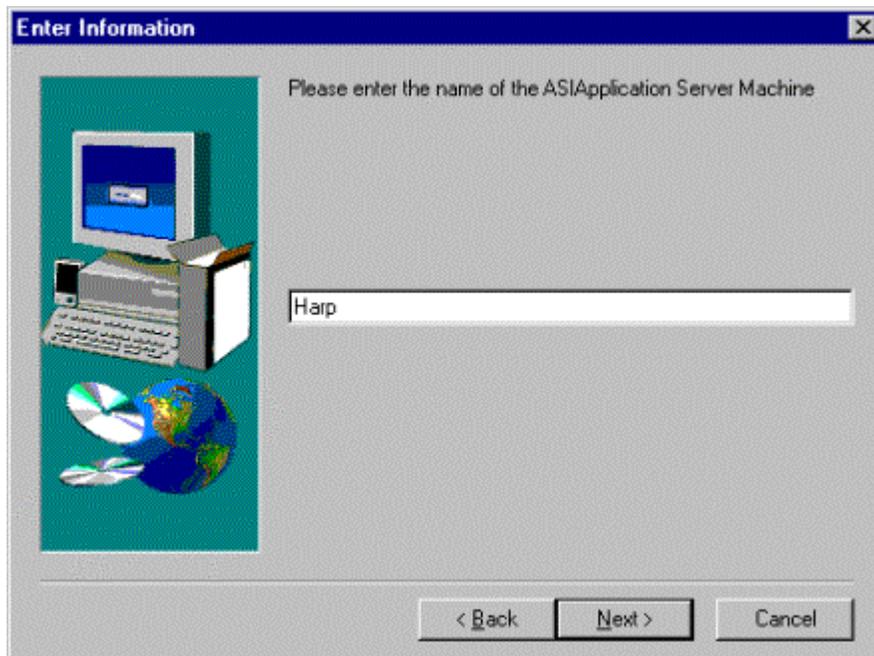
12. ログ・ファイル・パスを入力します。「Next >」をクリックします。



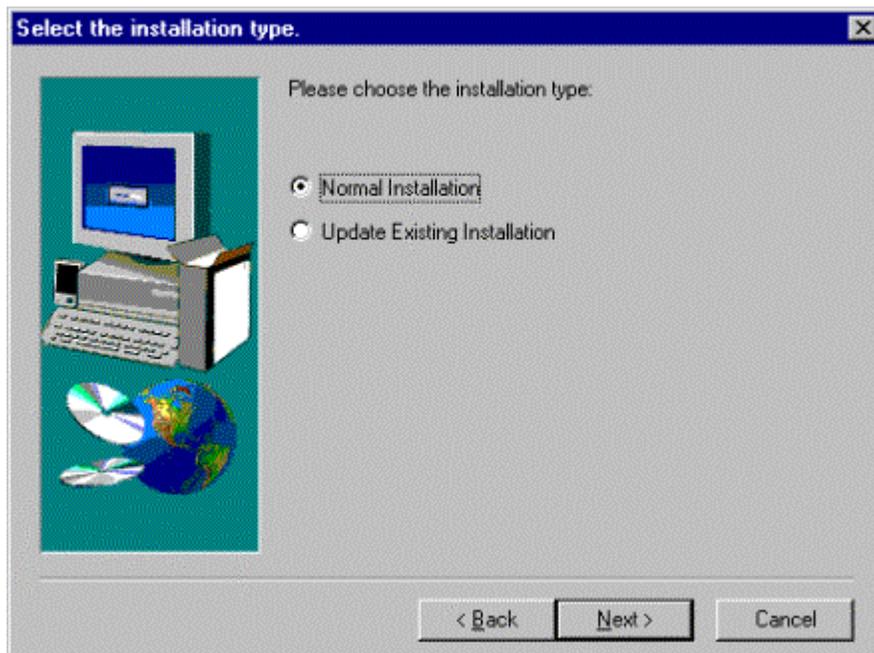
13. デフォルト・キュー・パスを入力してください。「Next >」をクリックします。



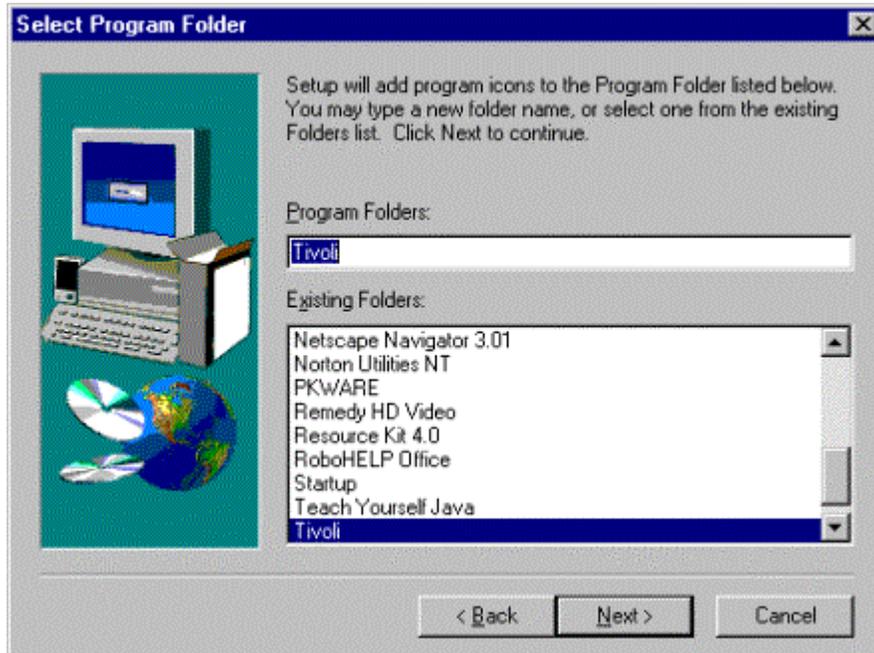
14. アプリケーション・サーバー・マシンの名前を入力します。「Next >」をクリックします。



15. インストール・タイプは、「Normal Installation」を選択します。(注:「Update Existing Installation」は選択しないでください。 ) 「Next >」をクリックします。



16. 「**Select Program Folder**」ダイアログ・ボックスが表示されます。すべてのアプリケーション・ファイルを入れるための「**Program Folder**」を選択します。「**Next >**」をクリックします。



ユーザーのマシンに、*Microsoft Data Access Component* の最新バージョンがインストール済みでない場合は、この時点でセットアップするようにプロンプトが出されます。

17. インストール処理が進行します。この時点でセットアップを終了したい場合は、「**Cancel**」をクリックしてください。

## Tivoli Business Systems Manager クライアント・ワークステーション

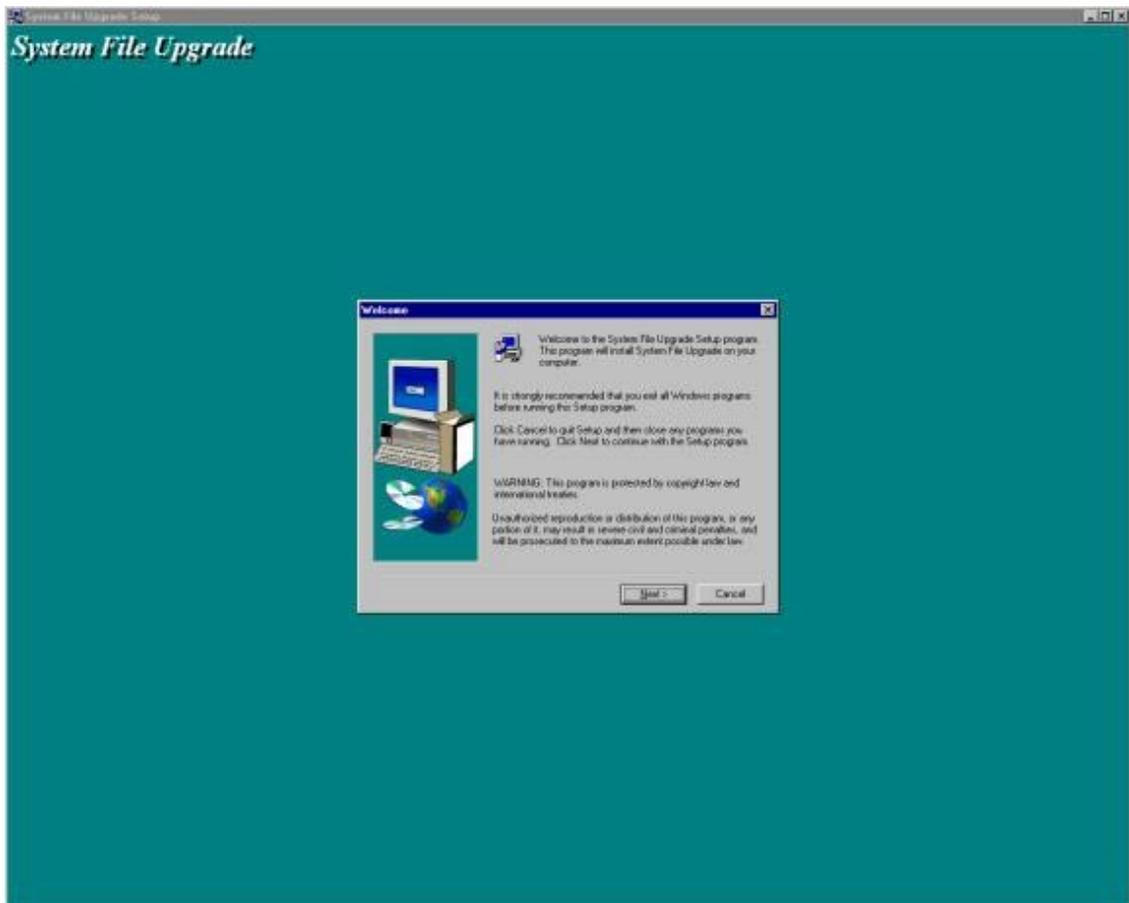
### インストール手順

注: すべての Tivoli Business Systems Manager と、SQL Executive および MS SQL Server を含む SQL Server サービスを停止してください。さらに、インストール処理を開始する前に、デスクトップ上の他のすべてのプログラムをクローズしてください。

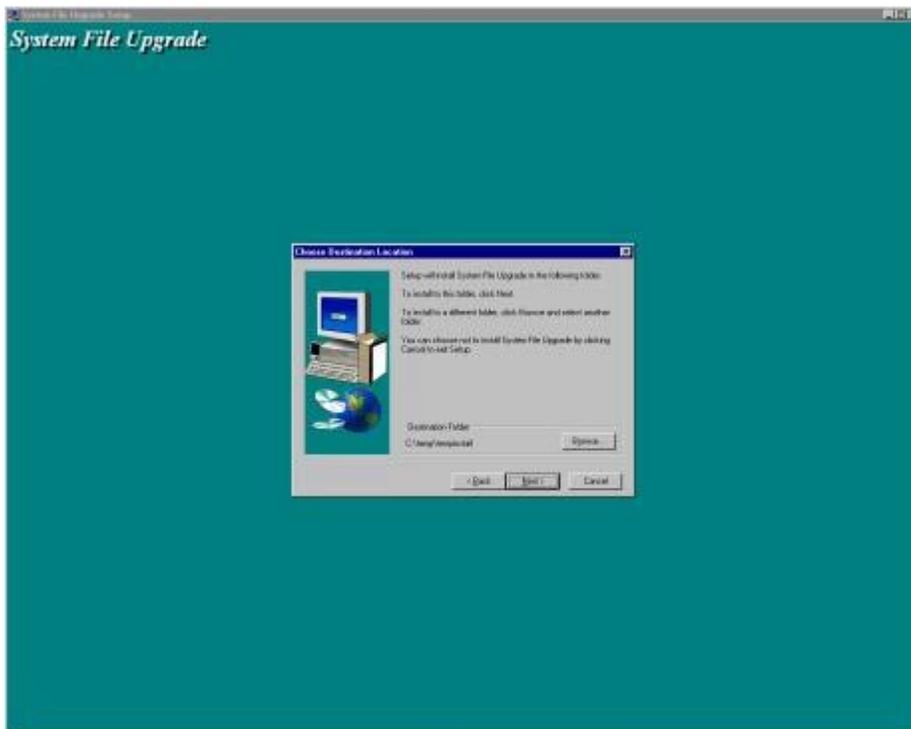
1. 「Setup.exe」が常駐しているディレクトリーを選択します。
2. 「Setup.exe」アイコンをダブルクリックします。



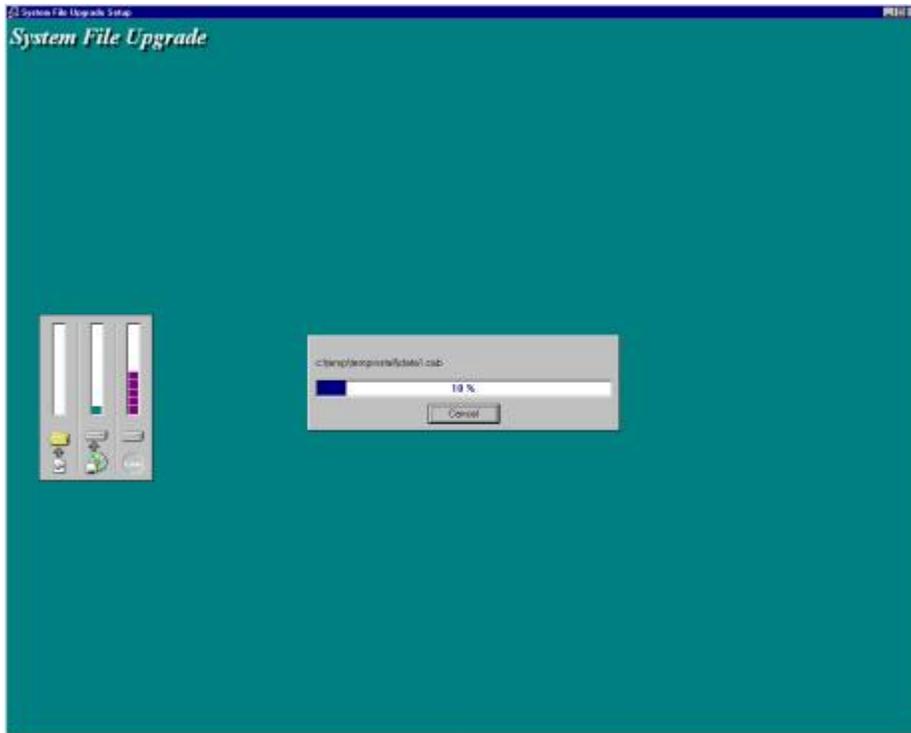
3. 「System File Upgrade」ダイアログが表示されます。「Next>」をクリックします。



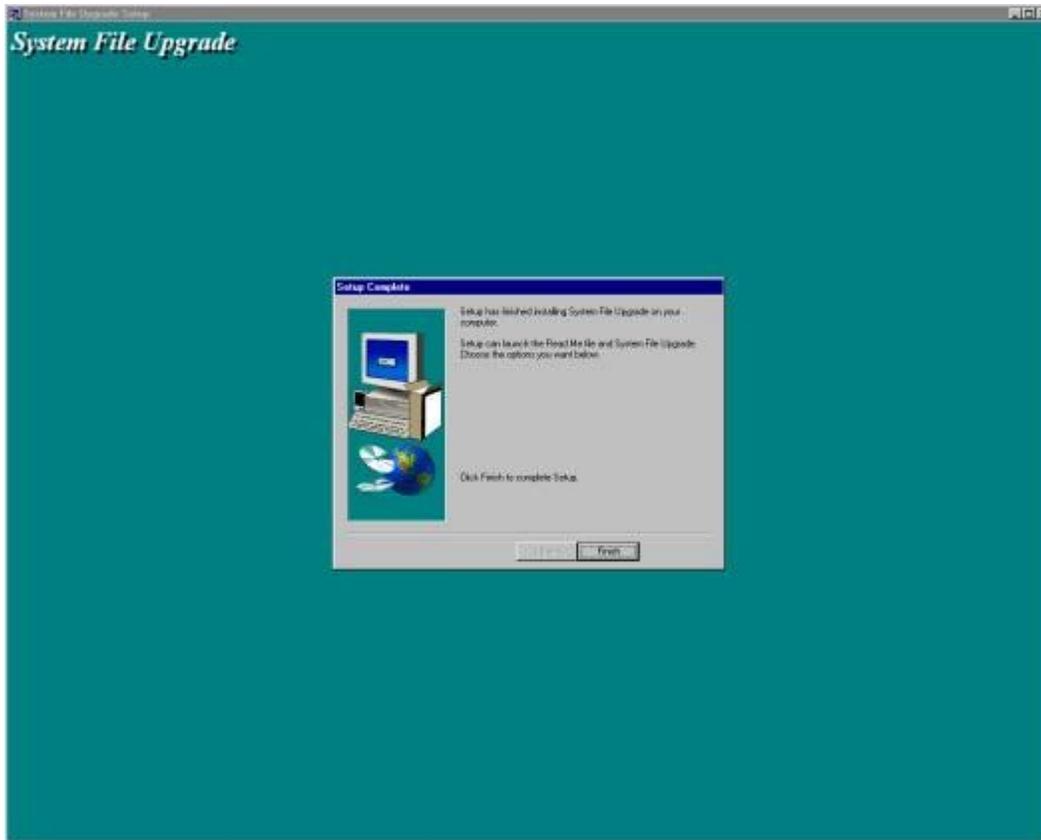
4. 「**Choose Destination Location**」ダイアログが表示されます。これらのファイルを、一時的なディレクトリーに入れることをお勧めします。「**Browse**」ボタンを選んで、ユーザーのディレクトリーを選択します。適切なディレクトリーを選択してから、「**Next>**」をクリックします。



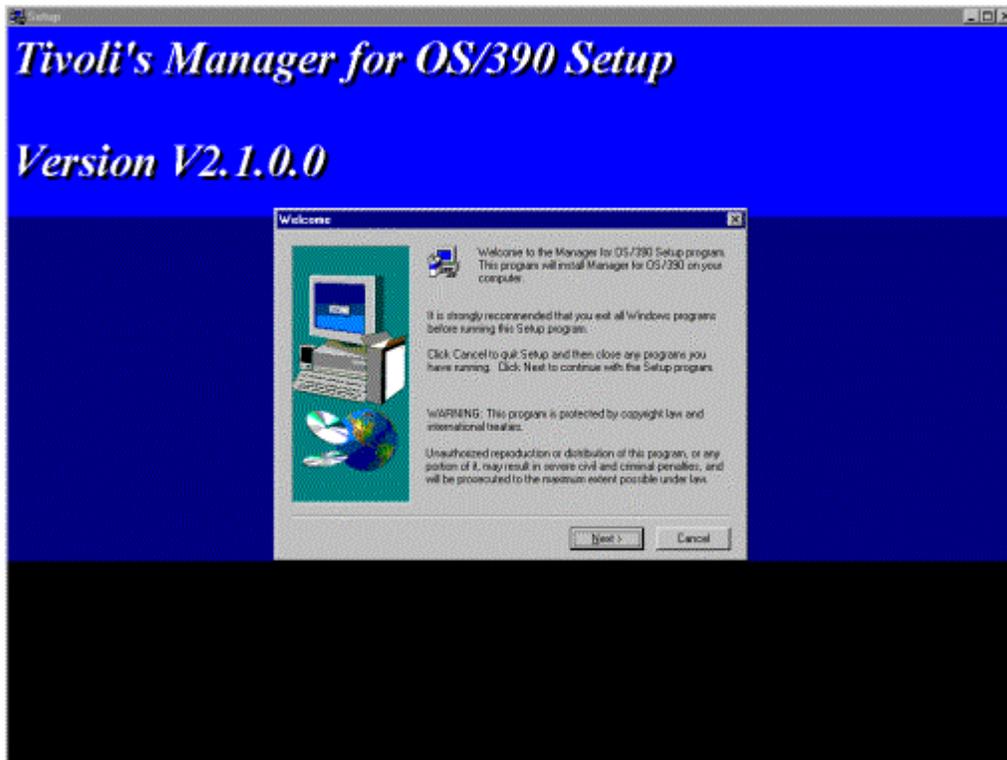
5. 「System File Upgrade」処理が進行します。



6. 「System File Upgrade」が完了しました。「**Finish**」をクリックします。



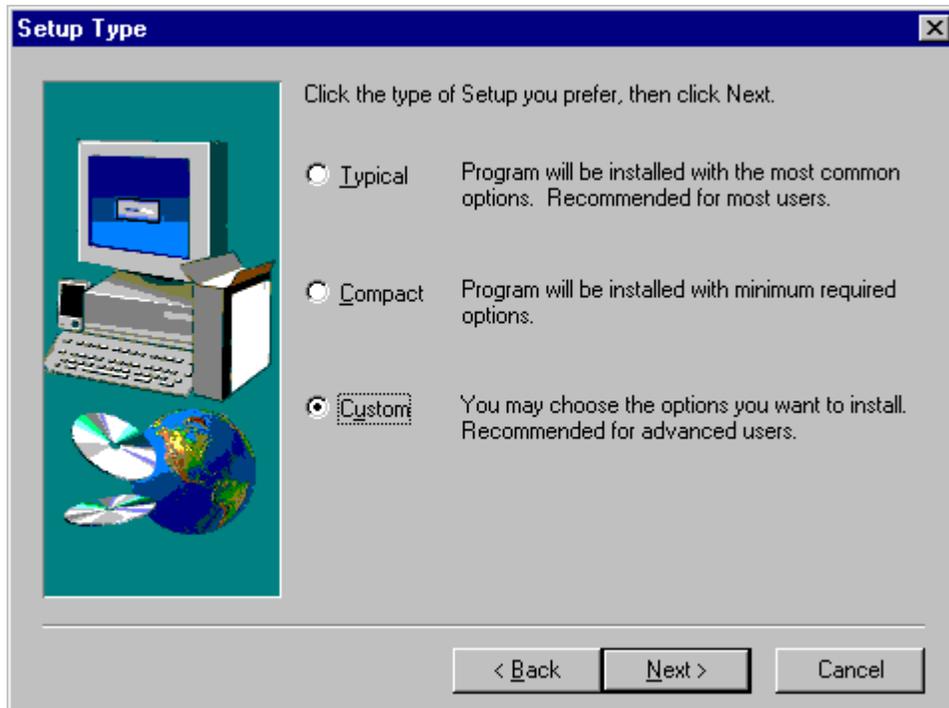
7. 「Welcome to Tivoli Business Systems Manager Setup」プログラムのダイアログ・ボックスが表示されます。このボックスには、インストールを停止する方法を含む、**セットアップ**・プログラムの基本情報が入っています。「Next >」をクリックします。



8. 「**Choose Destination Location**」ダイアログが表示されます。Tivoli Business Systems Manager アプリケーションのインストール先となるディレクトリーを選択します。選択されたパスは、「**Destination Folder**」に表示されます。適切なパスを選択してから、「**Next>**」をクリックします。



9. 「Setup Type」ダイアログ・ボックスが表示されます。「Custom」を選択してください。「Next >」をクリックします。

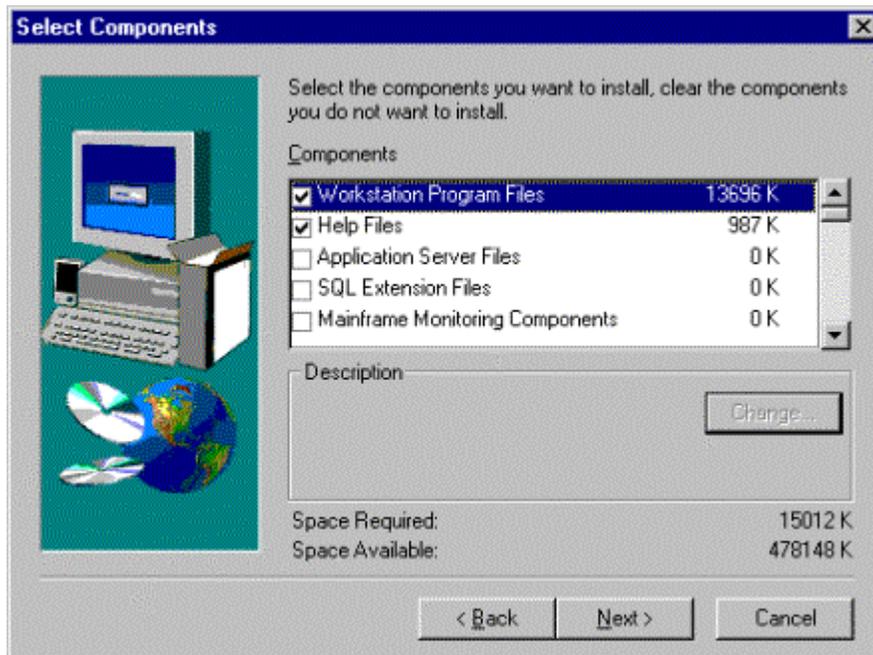


10. 「**Select Components**」ダイアログが表示されます。インストールされる必要があるコンポーネントが選択されます。

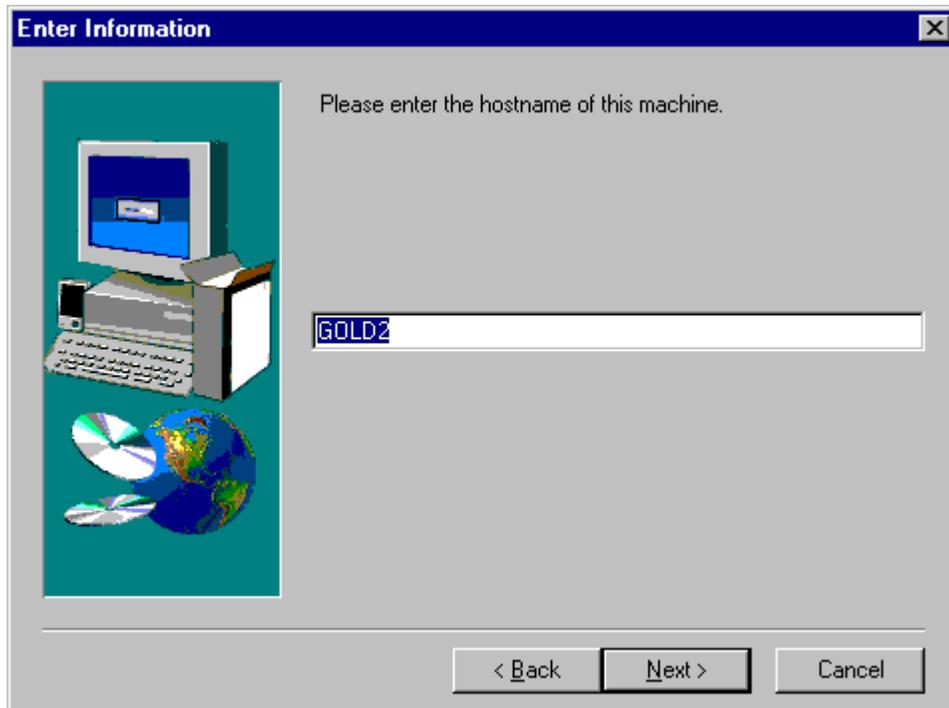
**Workstation Program Files**

**Help Files**

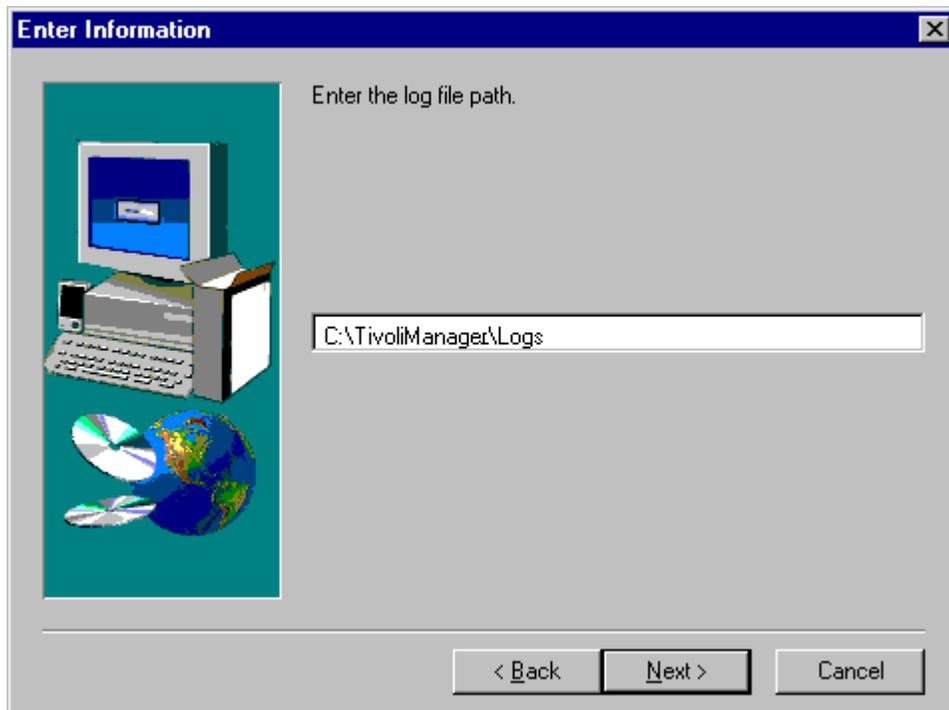
11. 「**Next >**」をクリックします。



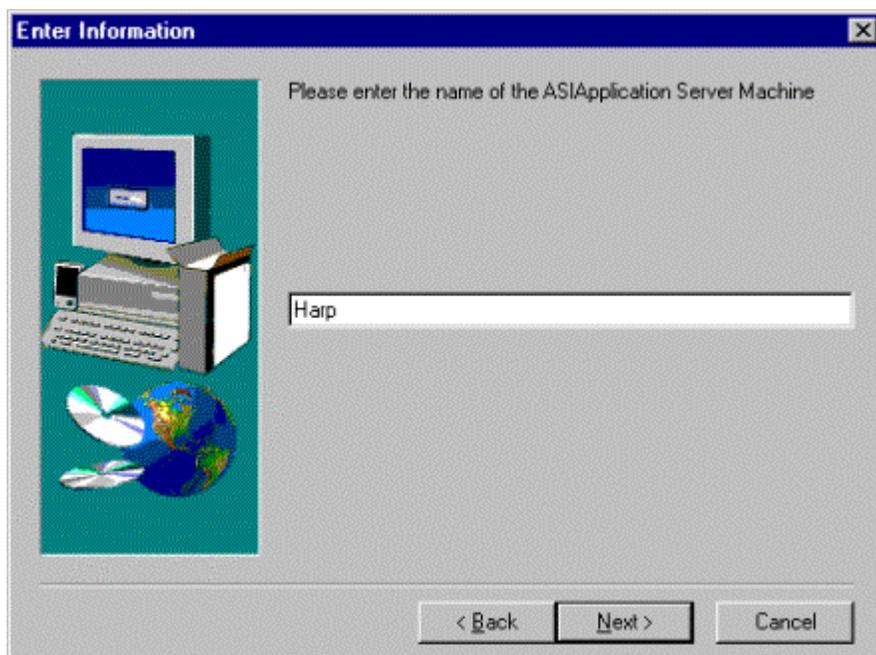
12. このマシンのホスト名を入力してください。この値はすでに取り込まれているはずです。  
「**N**ext >」をクリックします。



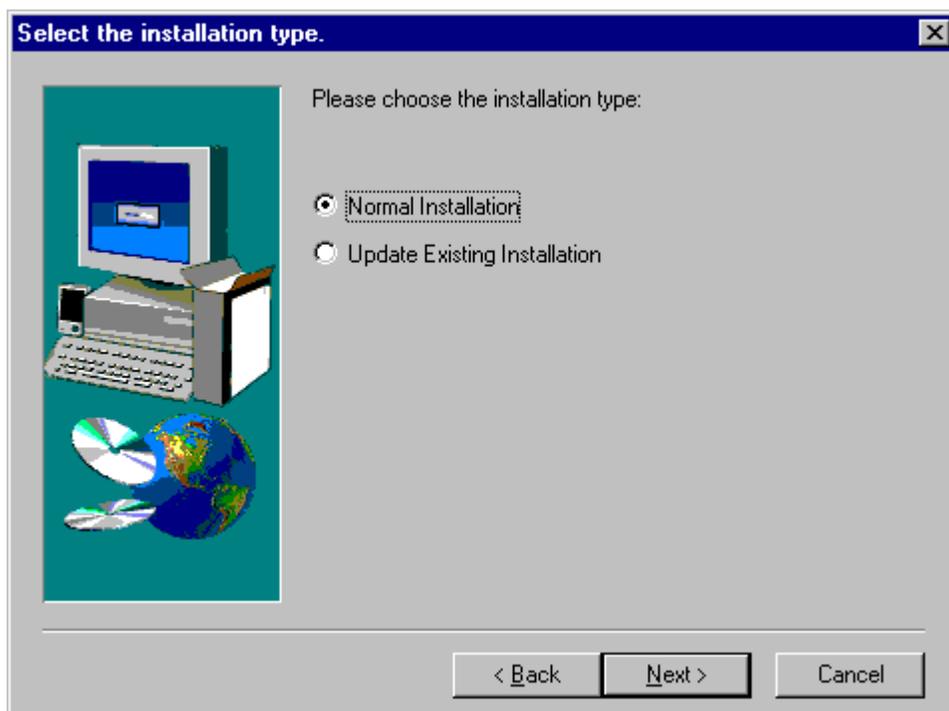
13. ログ・ファイル・パスを入力してください。「**N**ext >」をクリックします。



14. アプリケーション・サーバー・マシンの名前を入力してください。「Next >」をクリックします。



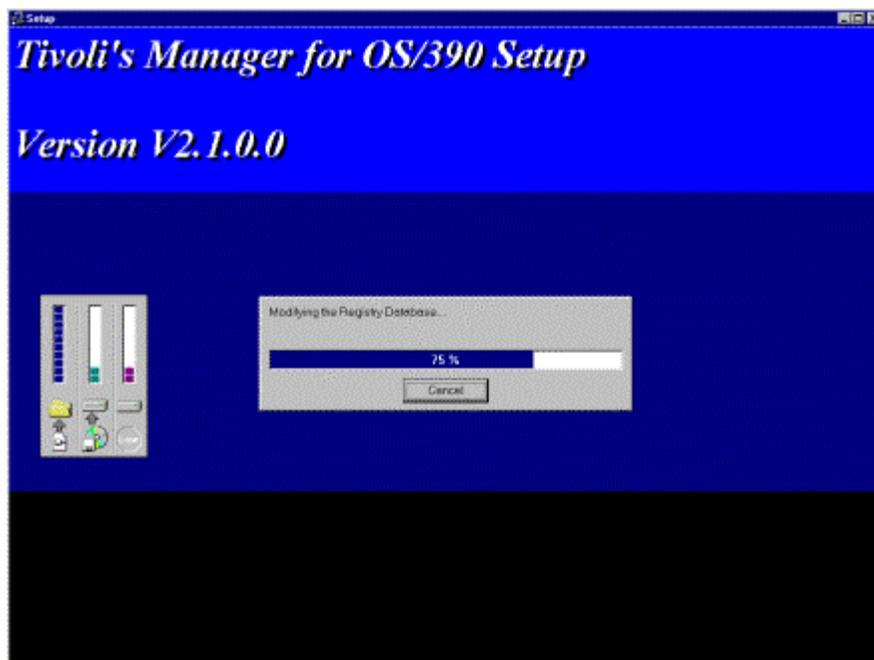
15. インストール・タイプは、「Normal Installation」を選択します。(注: 「Update Existing Installation」は選択しないでください。) 「Next >」をクリックします。



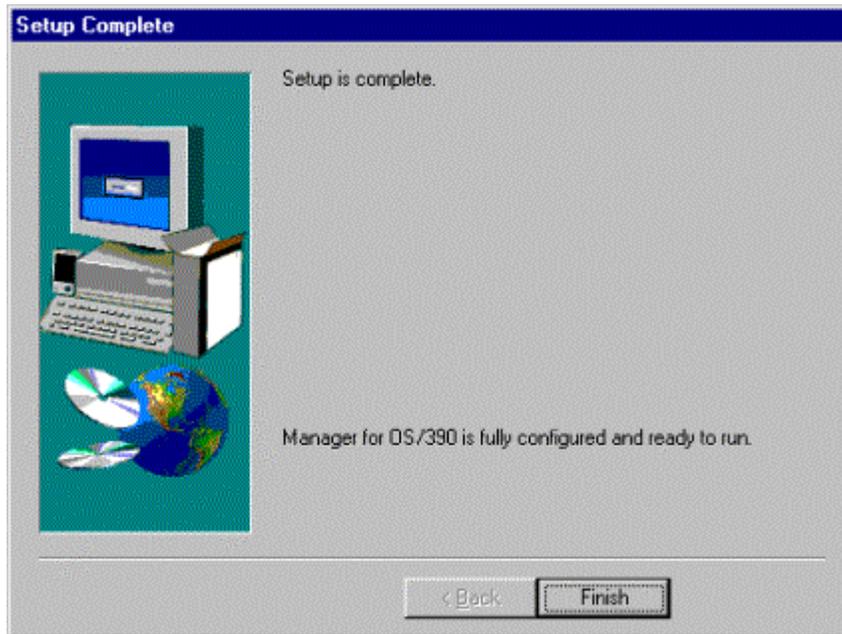
16. 「**Select Program Folder**」ダイアログ・ボックスが表示されます。すべてのアプリケーション・ファイルを入れるための「**Program Folder**」を選択します。「**Next>**」をクリックします。



17. インストール処理が進行します。「**Setup**」ダイアログ・ボックスが表示されます。インストールを中止するには、「**Cancel**」をクリックします。



18. 「**Setup Complete**」ダイアログが表示されます。「**Finish**」をクリックします。



19. クライアント・マシンをリブートするようプロンプトが出された場合は、この時点でリブートを行ってください。

## Tivoli Business Systems Manager NT サービス・リスト

### 表示される内容

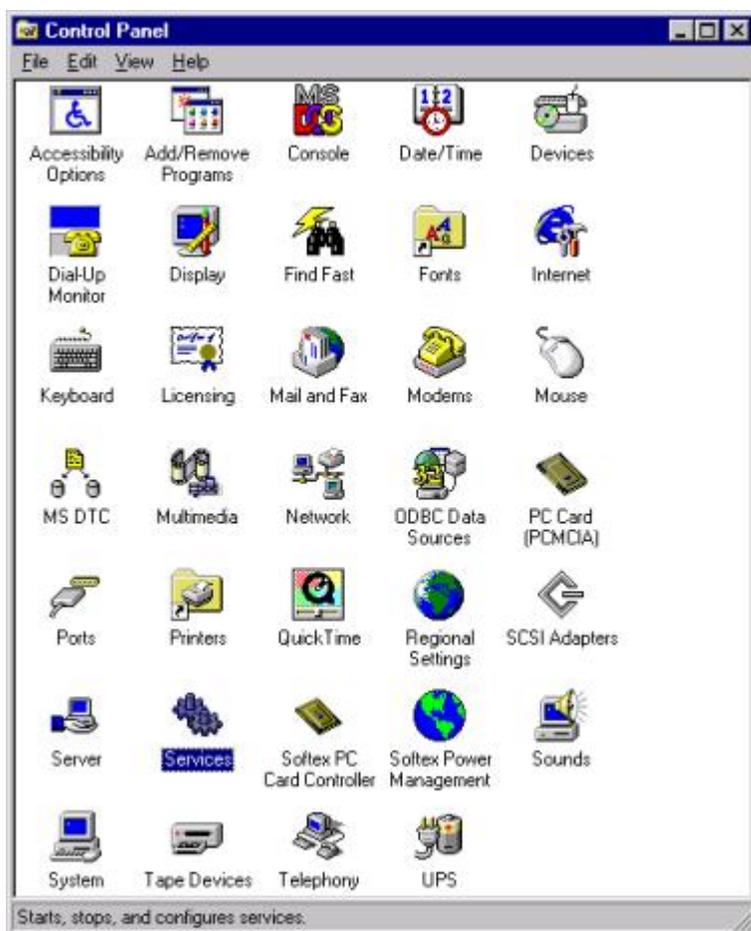
- Tivoli OS/390 アプリケーション・サーバー
- Tivoli OS/390 Enqueue Proxy Server
- Tivoli OS/390 EventHandler
- Tivoli OS/390 MVSEventHandler \*\*\*\*
- Tivoli OS/390 通知サーバー
- Tivoli OS/390 伝搬エージェント・ディスパッチャー
- Tivoli OS/390 リモート実行サーバー
- Tivoli OS/390 ルール・サーバー
- Tivoli OS/390 Staged Event Loader

---

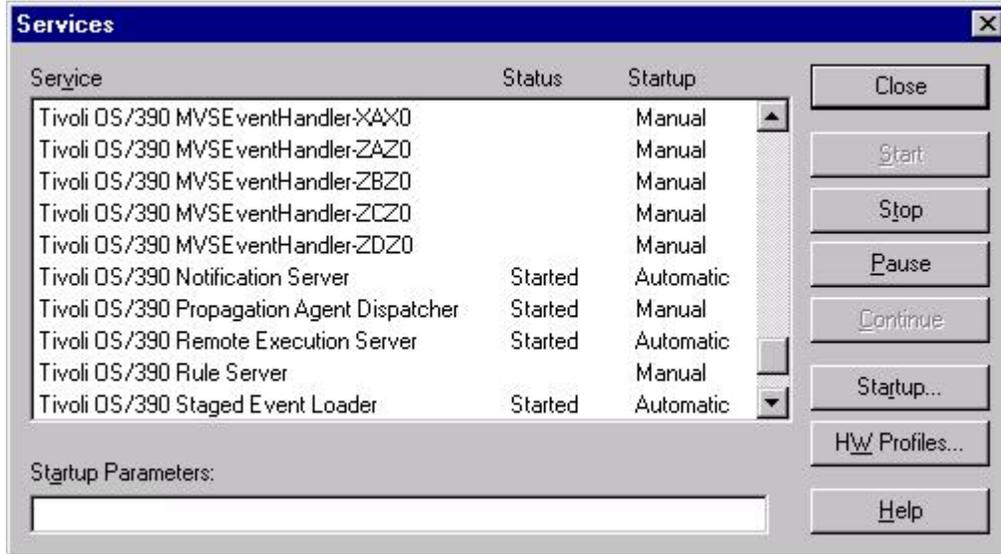
\*\*\*\* 注: Tivoli Business Systems Manager の諸サービスを停止する際には、必ず **Tivoli OS/390 MVSEvent Handlers** を最後に終了するようにしてください。

---

すべてのサービスは、「コントロールパネル」から開始および停止を行うことができます。「Services」を選択してください。

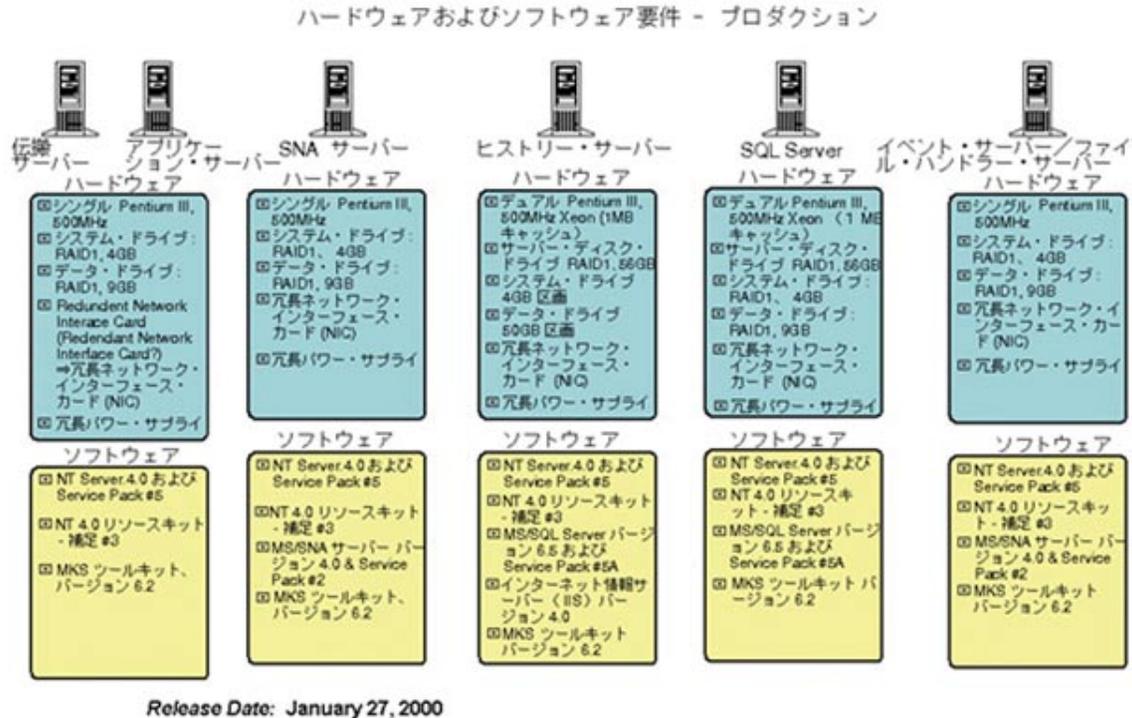


サービスを「Start」または「Stop」するには、リストからそれを選択して、該当するボタンをクリックします。



## Tivoli Business Systems Manager の構成

以下のテーブルは、IBM が推奨する最低限の Tivoli Business Systems Manager サーバー・ホストの構成を示しています。



IT 環境は目まぐるしく変化しているため、Tivoli Business Systems Manager のハードウェア要件およびソフトウェア要件も時々変更されることがあります。最新かつ正確な情報を入手するために、以下の弊社のホーム・ページで、ハードウェア要件およびソフトウェア要件を確認してください。  
[www.accessiblesoftware.com/implementation/configuration.htm](http://www.accessiblesoftware.com/implementation/configuration.htm)

さらに詳しい情報が必要な場合は、以下の電話番号によりインプリメンテーション・グループまでご連絡ください。

(973) 443-0400.

## Tivoli Business Systems Manager アイコン

### アラート・アイコン

アイコン	オブジェクト	説明
	<b>Red Alert</b> (レッド・アラート)	重大な問題の発生を通知するオーバーレイ・アイコン。
	<b>Yellow Alert</b> (イエロー・アラート)	警戒を要する事態を通知するオーバーレイ・アイコン。

## リソース・アイコン

アイコン	オブジェクト	説明
	<b>Enterprise (エンタープライズ)</b>	組織内のすべてのデータ・センターのマシンの集合を1つにまとめたもの。このオブジェクトは、Tivoli Business Systems Manager 階層モデルの最上部に位置している。
	<b>Complex (マシンの集合)</b>	定義されたマシンの集合体で、物理的または論理的に関連付けられている。
	<b>Machine (マシン)</b>	Tivoli Business Systems Manager でモニターすることのできる、定義済みのコンピューター・ハードウェア。
	<b>Logical Partition (論理区画) (LPAR)</b>	独立した外観と動作を備えたマシンの論理的な部分。—独自の OS で稼働し、独自のリソースを管理し、独自のアプリケーションを実行することができる。
	<b>Operating System (オペレーティング・システム) (OS)</b>	コンピューター・ハードウェアとその周辺装置を管理および保守し、アプリケーションを実行するためのプラットフォームを提供するソフトウェア。
	<b>Batch (バッチ)</b>	ユーザーとの対話なしに実行される、スケジュールされたプログラム。
	<b>Batch Job Set (バッチ・ジョブ・セット)</b>	スケジュールされていないバッチ・ジョブを表す集合オブジェクト。
	<b>Batch Schedule (バッチ・スケジュール)</b>	スケジュール、ストリームまたは、バッチ処理を表す。これは、同じスケジュールによって実行されるすべてのバッチ・ジョブを収納するコンテナです。
	<b>Batch Schedule Set (バッチ・スケジュール・セット)</b>	すべてのバッチ・スケジュールを含む集合オブジェクト。
	<b>CICS</b>	顧客情報管理システム (Customer Information Control System)。トランザクションをリモート端末から入力して、ユーザー・アプリケーションによって並行して処理することのできる、IBM の主力トランザクション処理システム。
	<b>IMS</b>	情報管理システム (Information Management System)。IBM の階層データベース・マネージャー。
	<b>Started Task (開始タスク) (STC)</b>	システム・レベルで開始され、通常はシステム・タスクを実行するために使用されるアクション。
	<b>Transaction (トランザクション)</b>	入力データの特定のセットで、特定の処理またはジョブの実行を起動させる。たとえば、あるアプリケーション・プログラムに対するメッセージ。

アイコン	オブジェクト	説明
	<b>File (ファイル)</b>	CICS におけるデータ・セット。
	<b>Database (DB) Connect (データベース (DB) 接続)</b>	物理的なデータベース接続。
	<b>Logical Unit (論理装置) (LU)</b>	論理装置。ユーザーおよびアプリケーションが SNA ネットワークに入ることができるようにする、IBM の通信リソース。
	<b>DASD</b>	直接アクセス記憶装置 (Direct Access Storage Device)。アクセス時間がデータの位置と効果的に独立しているデバイス。情報は、前にアクセスされたデータを参照することなく入力および検索されます。DASD には、固定ストレージ・デバイスと取り外し可能ストレージ・デバイスの両方があります。
	<b>Tape (テープ)</b>	磁気を感じ取る記録メディアで覆われた、細いプラスチック製の帯。
	<b>Dataset (データ・セット)</b>	オペレーティング・システムにおいて記憶および検索を行う主要単位。
	<b>DB2</b>	IBM のリレーショナル・データベース管理システム。
	<b>IDMS</b>	情報データベース管理システム (Information Database Management System)。DB2 に類似したリレーショナル・システム。
	<b>MQSeries</b>	同一または別のオペレーティング・システム・プラットフォームを介してアプリケーションが情報を交換できるようにするメッセージ交換ソフトウェア。
	<b>MQ Manager (MQ マネージャー)</b>	メッセージをキューに書き込んだりキューから取り出したりするためのキューイング・サービスをアプリケーションに提供する、システム・プログラム。
	<b>MQ Process (MQ プロセス)</b>	MQSeries のキュー・マネージャーで発生したトリガー・イベントに応答して開始されるアプリケーション。
	<b>MQ Channel (MQ チャンネル)</b>	同一または別のプラットフォームでメッセージを送信するための、2つのキュー・マネージャー間の通信パス。
	<b>MQ Queue (MQ キュー)</b>	MQ Manager (MQ マネージャー) によって管理されるメッセージを保管するデータ構造。

